

自治会アンケート調査結果

令和4年2月
江別市生活環境部市民生活課

—目次—

I	調査実施の概要	1
	1. 目的	
	2. 方法	
	3. 時期	
	4. 対象	
	5. 回答数	
	6. 集計上の留意事項	
II	調査結果の詳細	
	1. 自治会の役員構成、組織構成について	2
	2. 自治会長が担う業務について	9
	3. 自治会役員等の担い手について	14
	4. 自治会運営（活動）について	19
	5. 自治会への加入促進について	23
	6. 自治会回覧板について	28
	7. コロナ禍における自治会活動について	33
	8. 江別市への要望について	36
	9. その他について	37
III	アンケート調査結果からみられる課題と解決に向けて	40
	資料：記述回答全文	42
	資料：自治会アンケート調査票	71

調査実施の概要

I 調査実施の概要

1. 目的

市内の自治会は、それぞれ日常生活に必要な情報交換や安全確保などを行うとともに、地域での生活をより快適なものにするため、自主的、自発的に共同活動を行いながら、地域のまちづくり活動の中核を担っています。

しかしながら、核家族化や少子高齢化、人口減少化が進行するにつれて、ニーズの多様化や若年層の無関心化などから、地域の連帯意識や地縁関係が薄れつつあり、自治会の運営や活動に支障をきたす状況となりつつあります。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、「新しい生活様式」に則った自治会活動を求められるなど、自治会が抱える課題は以前よりさらに広範囲に広がっております。

そこで、市内の自治会の組織運営や活動内容に関する実態の把握を行うことで、自治会の抱える問題、課題を洗い出し、自治会の活性化に役立てていくとともに、市の今後の施策に反映させていくことを目的として、各自治会に対しアンケートを実施しました。

2. 方法

調査票を郵送による送付、市ホームページに掲載し、郵送による返送またはメールでの提出にて回収

3. 時期

令和3年9月17日から令和3年10月22日まで

4. 対象

市内の全自治会 160自治会（活動休止中を除く）

5. 回答数

133自治会（回答率83.1%）

6. 集計上の留意事項

複数回答可としている質問や、空欄で回答された質問があるため、回答数（133自治会）と一致しない場合があります。

また、%表示は小数点第2位を四捨五入して表示しているため、合計値が100%にならない場合があります。

調査結果の詳細

Ⅱ 調査結果

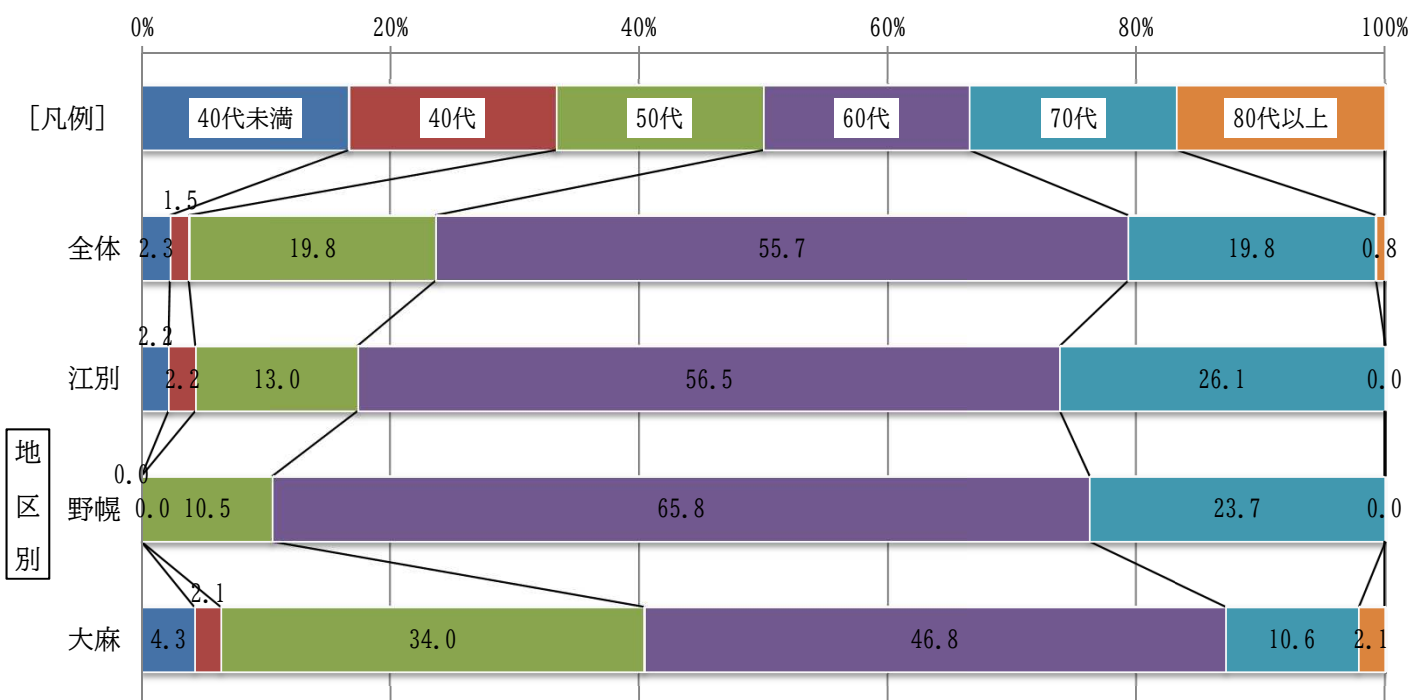
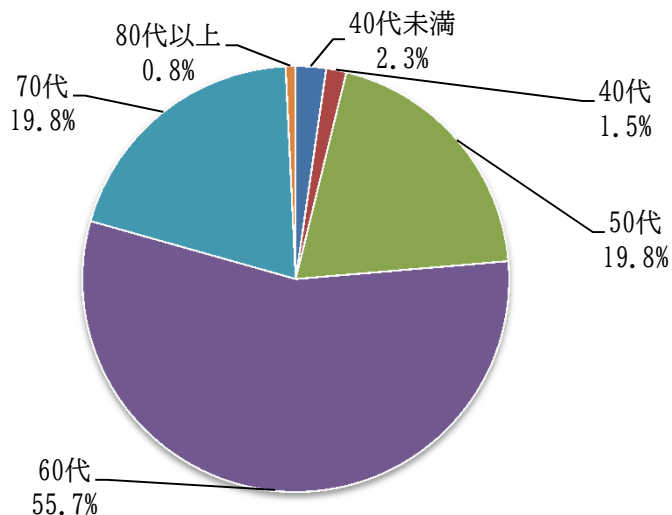
1. 自治会の役員構成、組織構成について

(1) 役員の年齢について教えてください。

ア 役員の平均年齢は何歳代ですか。

役員の平均年齢が60代から70代である自治会は75.5%

【全 体】



【全 体】自治会役員の平均年齢は、「40代未満」が2.3%、「40代」が1.5%、「50代」が19.8%、「60代」が55.7%、「70代」が19.8%、「80代以上」が0.8%となっている。「60代」、「70代」を合わせると75.5%となっている。

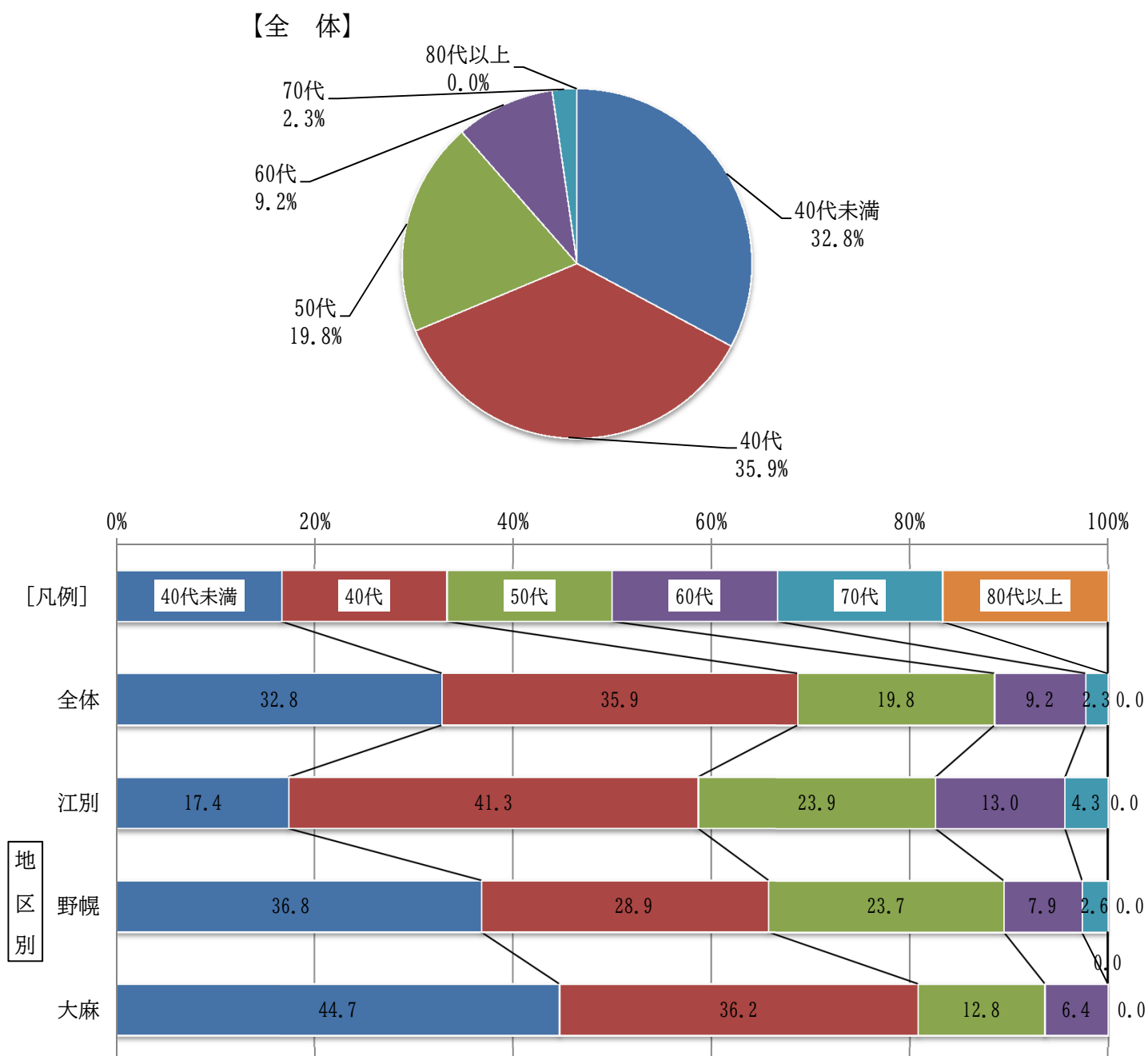
【地区別】大麻地区が「40代未満」が4.3%、「40代」が2.1%、「50代」が34.0%、合わせると40.4%と、ほかの地区に比べて平均年齢が低い自治会が多い。

1. 自治会の役員構成、組織構成について

(1) 役員の年齢について教えてください。

イ 役員の中で一番年齢が低い方は何歳代ですか。

役員の中で一番低い年齢の人が40代以下の自治会は68.7%



【全 体】自治会役員の中で一番年齢が低い人が「40代未満」は32.8%、「40代」は35.9%、合わせると68.7%、「50代」は19.8%、「60代」は9.2%、「70代」は2.3%、「80代以上」は0.0%となっている。

【地区別】江別地区が「40代未満」が17.4%と三地区の中で最も低く、大麻地区と比べると27.3ポイントの差がある。

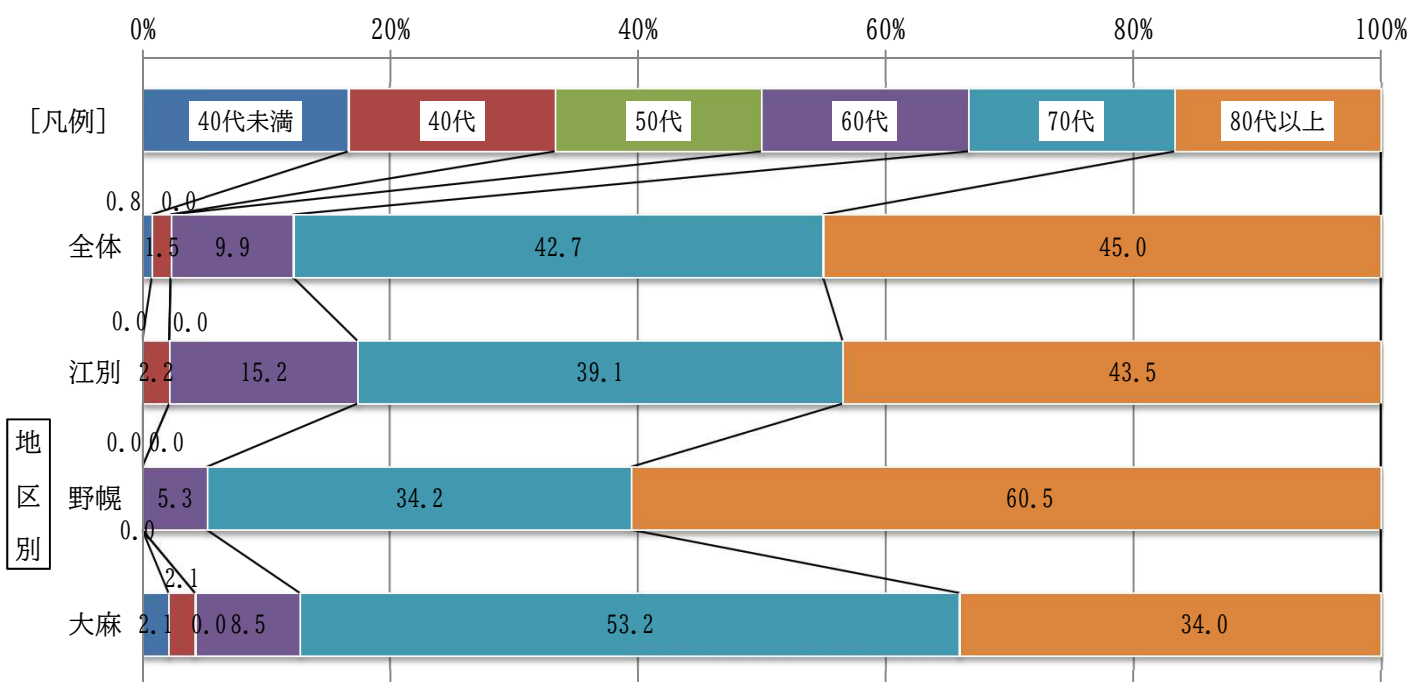
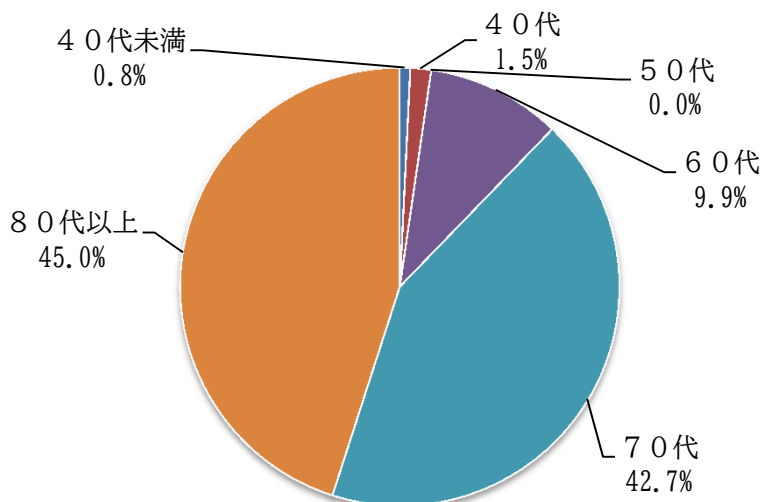
1. 自治会の役員構成、組織構成について

(1) 役員の年齢について教えてください。

ウ 役員の中で一番年齢が高い方は何歳代ですか。

役員の中で一番高い年齢の人が70代以上の自治会は87.7%

【全 体】



【全 体】自治会役員の中で一番年齢が高い人が「40代未満」は0.8%、「40代」は1.5%、「50代」は0.0%、「60代」は9.9%、「70代」は42.7%、「80代以上」は45.0%、70代と80代以上を合わせると87.7%となっている。

【地区別】野幌地区が「80代以上」が60.5%と三地区の中で最も高く、大麻地区と比べると26.5ポイントの差がある。

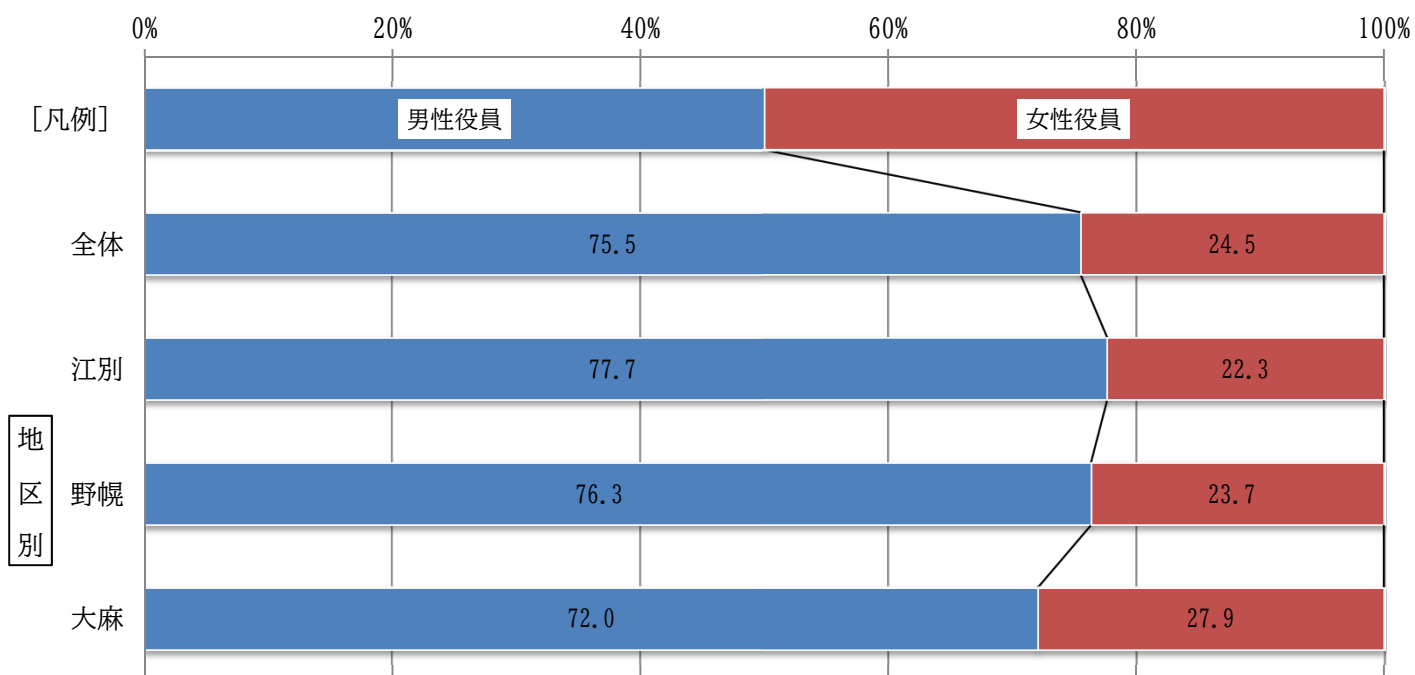
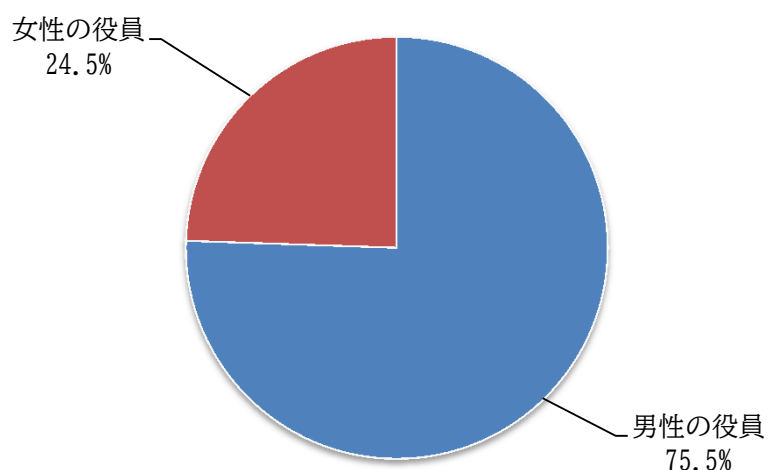
1. 自治会の役員構成、組織構成について

(2) 役員の男女比について教えてください。

ア 役員全体の中で女性は何人いらっしゃいますか。

自治会役員の中で女性の割合は24.5%

【全 体】



【全 体】 自治会役員の中で「男性役員」は75.5%、「女性役員」は24.5%となっている。

【地区別】 三地区ともに「男性役員」の割合が70%を超えている。

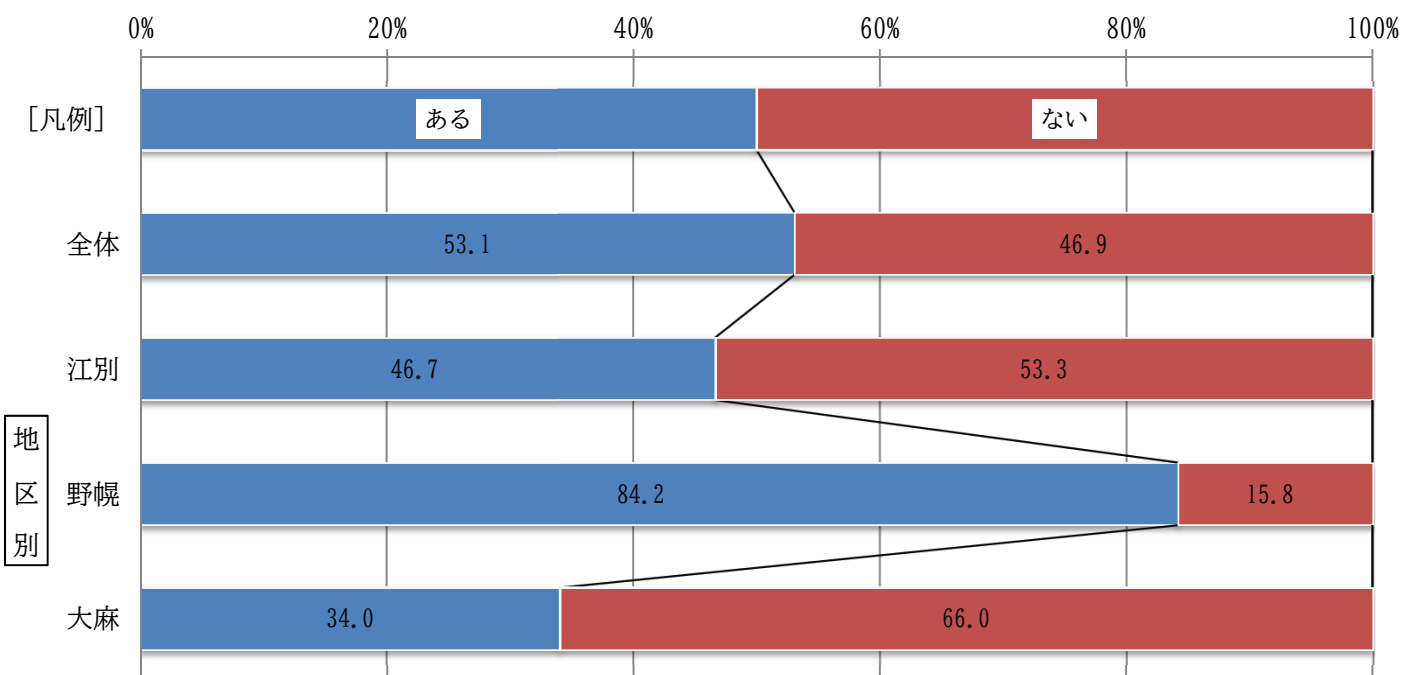
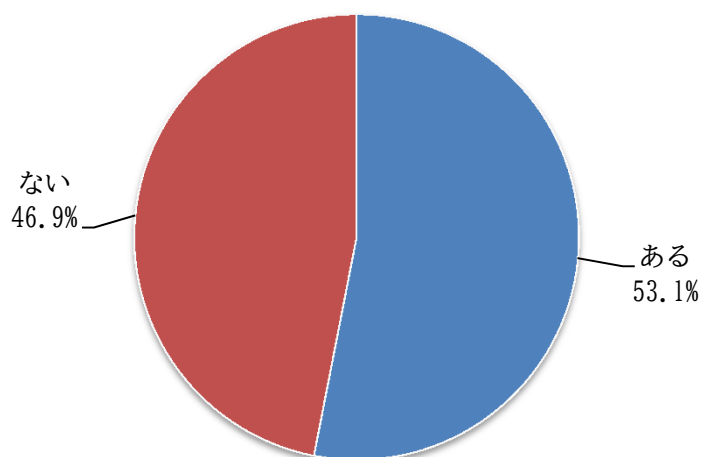
1. 自治会の役員構成、組織構成について

(2) 役員の男女比について教えてください。

イ 男性もしくは女性が必ず就く役職はありますか。

自治会役員で男性または女性の専用職がある自治会は53.1%

【全 体】



【全 体】自治会役員で男性または女性の専用職が「ある」自治会は53.1%、「ない」自治会は46.9%となっている。

【地区別】野幌地区は専用職が「ある」と回答した自治会が84.2%と三地区の中で最も高く、大麻地区と比べると50.2ポイントも差がある。

1. 自治会の役員構成、組織構成について

- (2) 役員の男女比について教えてください。
ウ ある場合、どのような役職か教えてください。

記述の回答は75件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「女性部」が44件と最も多く、次いで「婦人部」9件、「育成部」5件、「福祉部」4件と続いている。

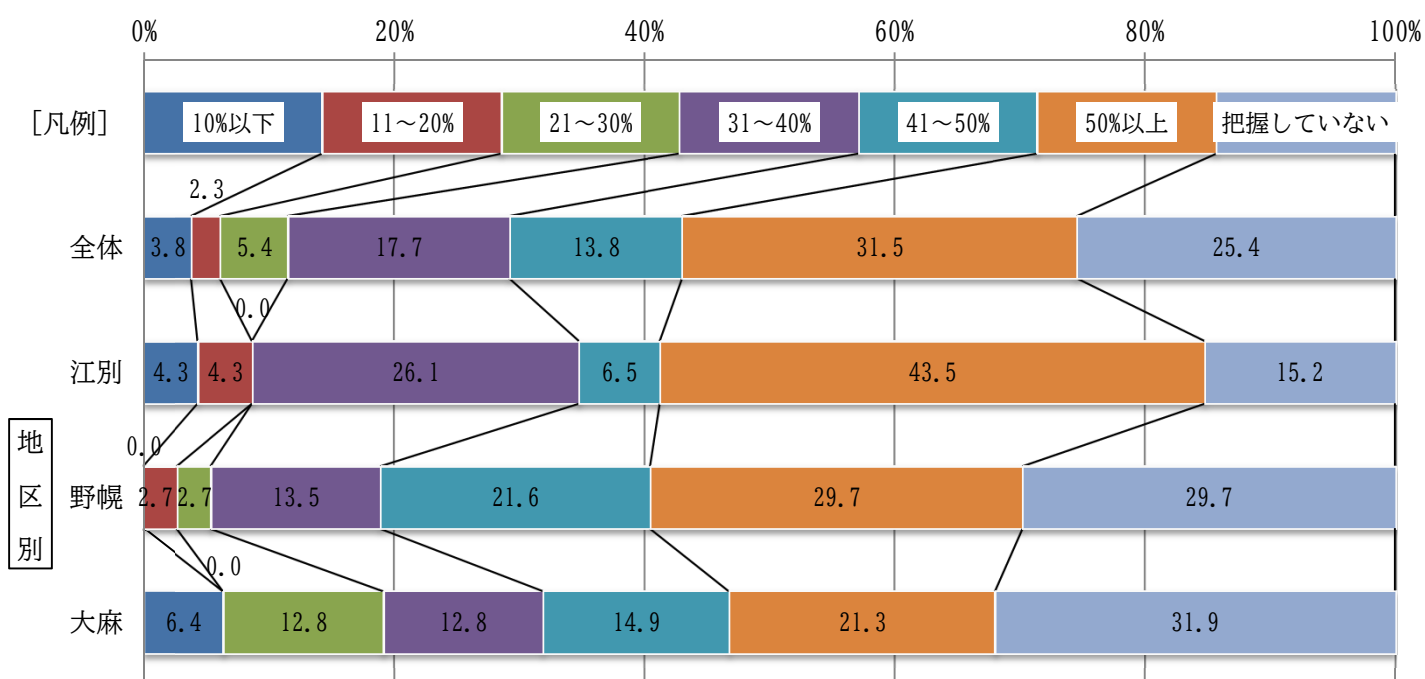
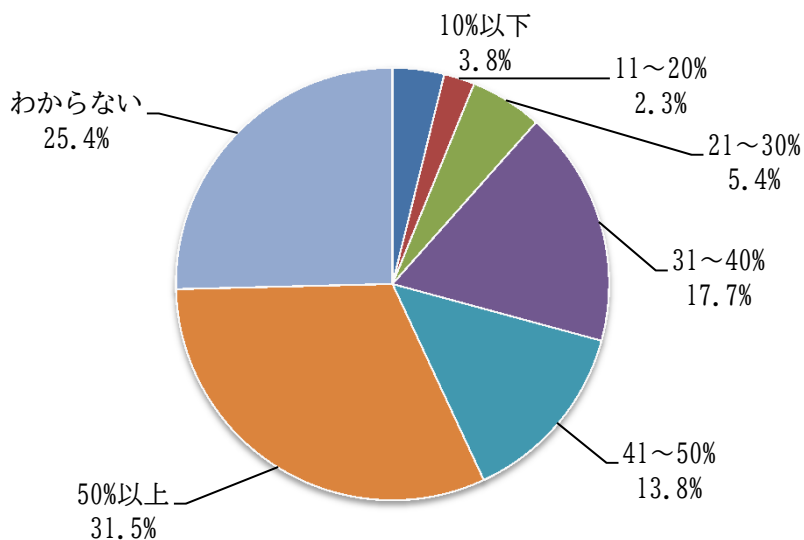
分類	件数	分類	件数
女性部	44件	事業部	1件
婦人部	9件	生活安全部	1件
育成部	5件	交通防犯部	1件
福祉部	4件	環境美化部	1件
会長	2件	副会長	1件
総務部	2件	常任理事	1件
会計監査	2件	その他	1件

1. 自治会の役員構成、組織構成について

(3) 自治会内で高齢者（65歳以上）の割合はどのくらいですか。

高齢者（65歳以上）が50%以上の自治会は31.5%

【全 体】



【全 体】自治会内で高齢者（65歳以上）の割合が「10%以下」が3.8%、「11~20%」が2.3%、「21~30%」が5.4%、「31~40%」が17.7%、「41~50%」が13.8%、「50%以上」が31.5%、「把握していない」が25.4%となっている。

【地区別】江別地区が「50%以上」が43.5%と、野幌地区と比べて13.8ポイント、大麻地区と比べて22.2ポイント高い割合となっている。

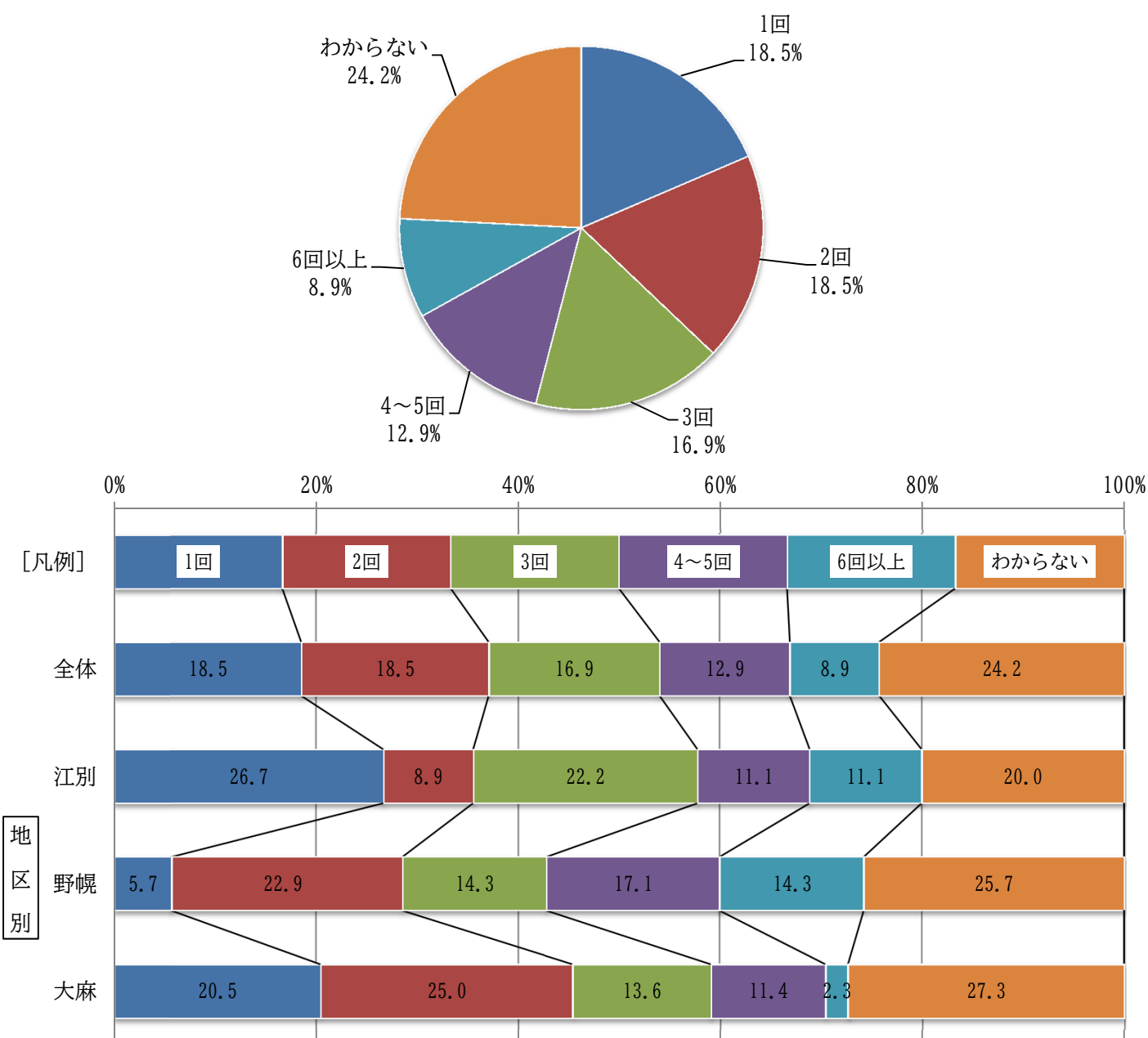
2. 自治会長が担う業務について

(1) 会長が出席する会議やイベント等（自治会、地区連、学校など）について教えてください。

ア 月平均でどれくらいありますか。（令和2年4月以前）

会長が出席する会議やイベント等のコロナ禍以前の回数（月平均）は各自治会ごとでばらけていた

【全 体】



【全 体】 会長が出席する会議やイベント等の月間平均回数（コロナ禍以前）は、「1回」が18.5%、「2回」が18.5%、「3回」が16.9%、「4~5回」が12.9%、「6回以上」が8.9%、「わからない」が24.2%と、各自治会でばらばらとなっている。

【地区別】 各自治会ごとでばらばらとなっている。

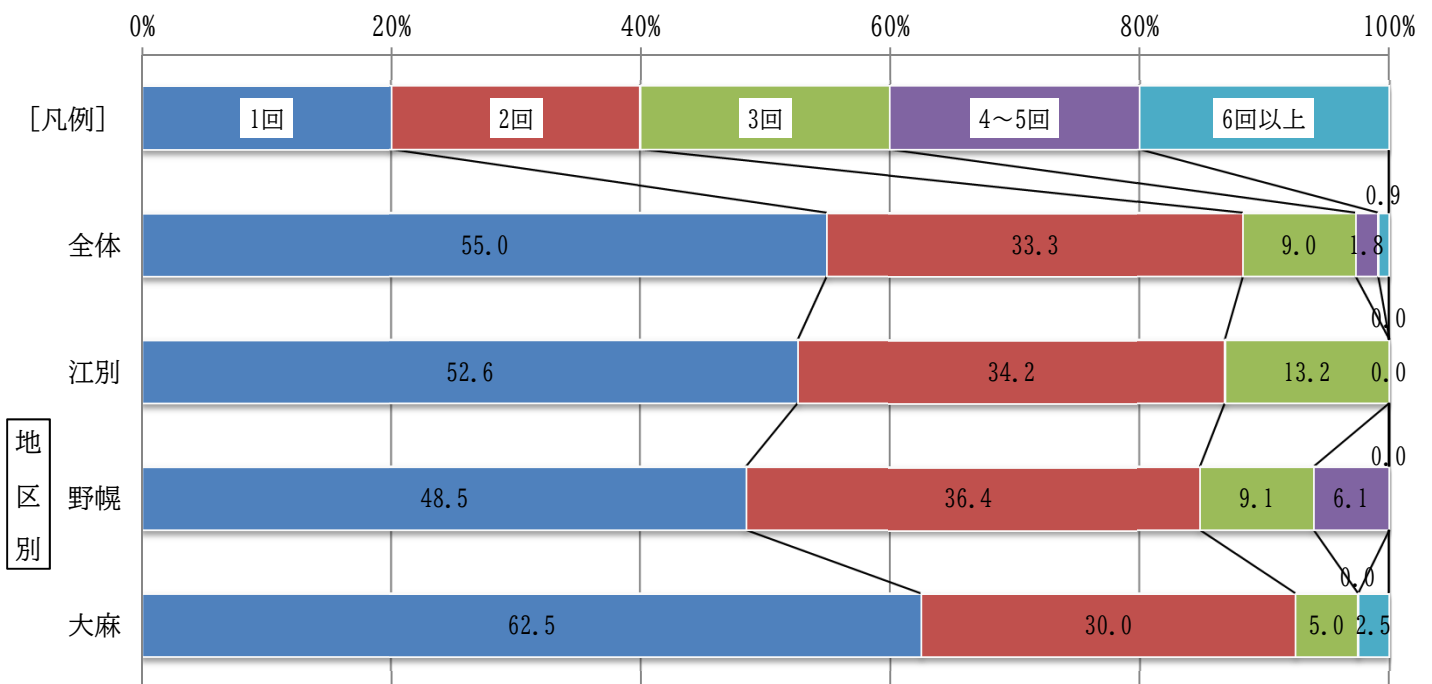
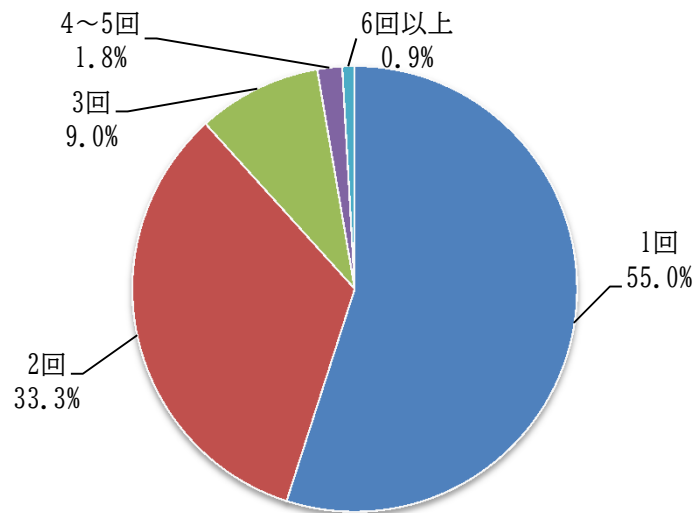
2. 自治会長が担う業務について

(1) 会長が出席する会議やイベント等（自治会、地区連、学校など）について教えてください。

イ 月平均でどれくらいありますか。（現在）

会長が出席する会議やイベント等のコロナ禍の回数（月平均）は1回が55.0%

【全 体】



【全 体】 会長が出席する会議やイベント等の月間平均回数（コロナ禍）は、「1回」が55.0%、「2回」が33.3%、「3回」が9.0%、「4~5回」が1.8%、「6回以上」が0.9%と、「1回」の自治会が半数以上となっている。

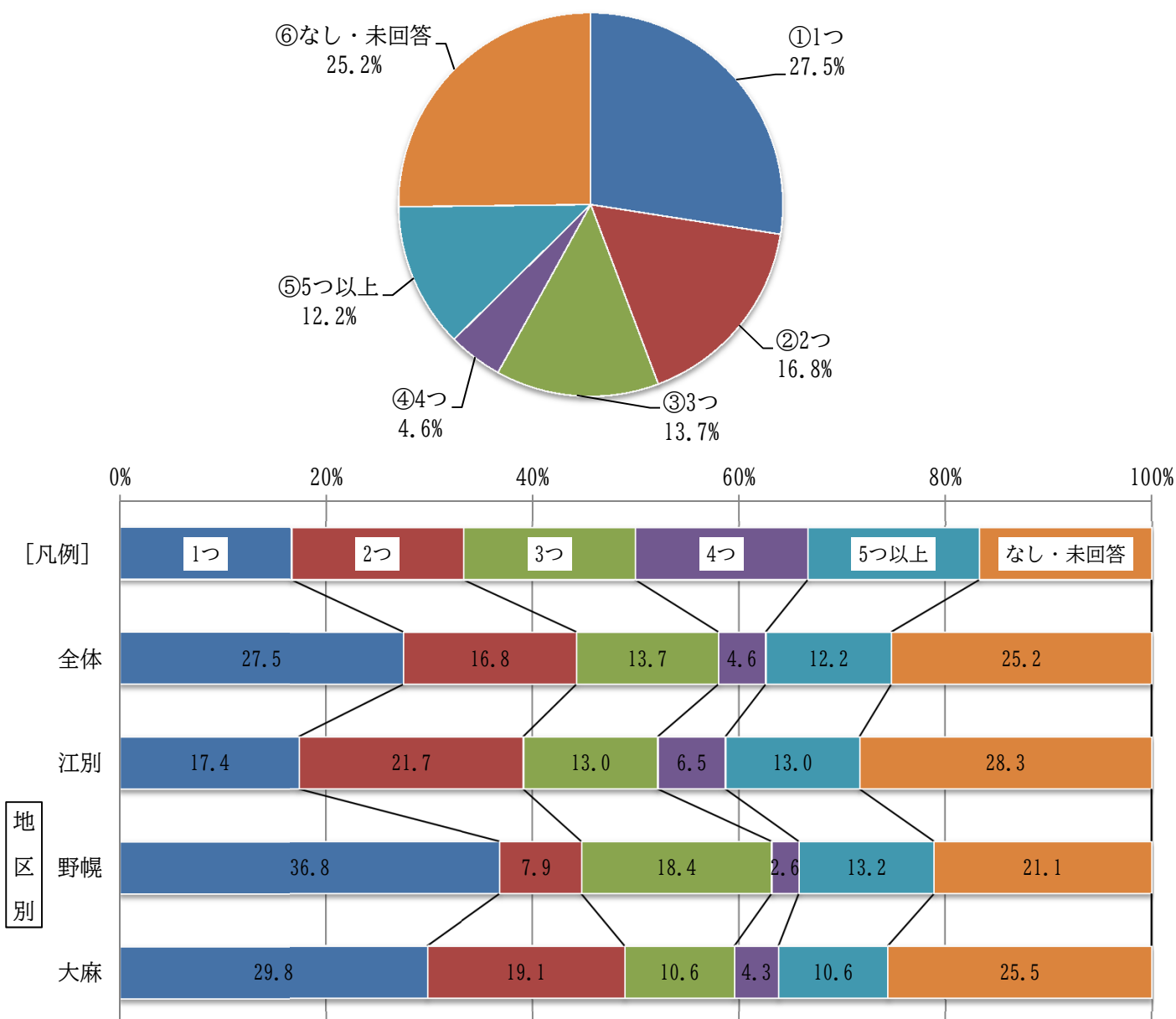
【地区別】 三地区ともに「2回以下」の自治会が80%以上となっている。

2. 自治会長が担う業務について

(2) 自治会の会長職以外に、他団体等の役職数（市審議会委員や地区連理事など）はどの位ありますか？

会長の中で1つ以上他団体等の役職を兼任している人は74.8%

【全 体】



【全 体】 自治会長職以外に他団体等の役職を「1つ」兼任している人は27.5%、「2つ」は16.8%、「3つ」は13.7%、「4つ」は4.6%、「5つ以上」は12.2%、合わせると74.8%、「わからない」は25.2%となっている。

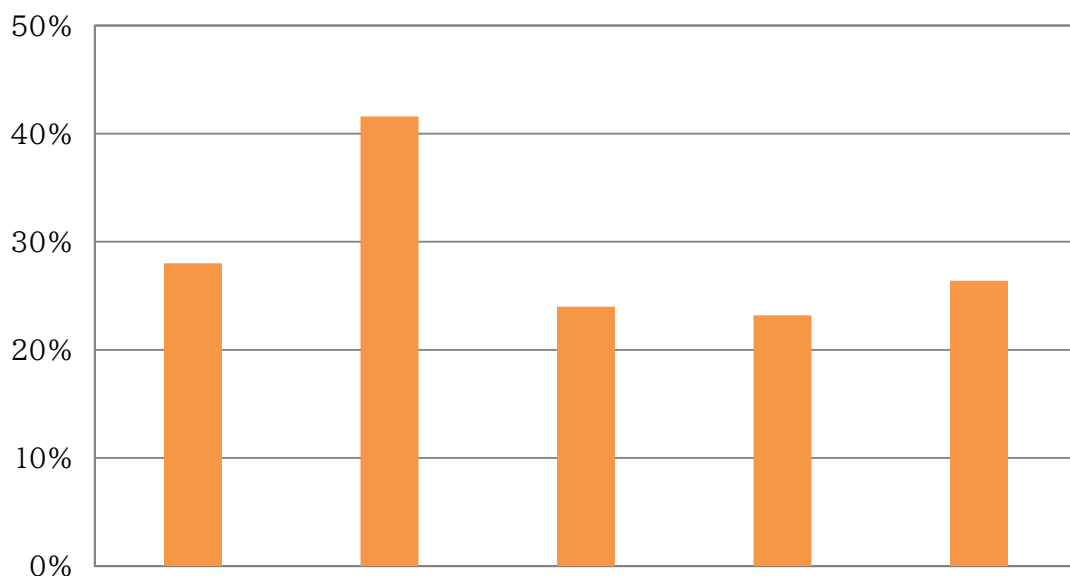
【地区別】 どの地区においても、1つ以上兼任している人は70%以上となっている。

2. 自治会長が担う業務について

(3) 自治会長の業務を行う上で、どのような点に負担を感じますか。(複数回答可)

「後継者がおらず引き続き会長をしなければならないこと」に負担を感じている自治会は41.6%

【全 体】



(%)	対象自治会数	会長職以外の役員に就任すること	後継者がおらず、引き続き会長をしなければならないこと	自治会の事業やイベントに参加者がいないこと	特に負担を感じない	その他
全体	125	28.0	41.6	24.0	23.2	26.4
江別	45	31.1	53.3	24.4	24.4	8.9
野幌	37	40.5	48.6	21.6	13.5	32.4
大麻	43	14.0	23.3	25.6	30.2	39.5

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 自治会長の業務を行う上で、「後継者がおらず、引き続き会長をしなければならないこと」に負担を感じている会長は41.6%、「特に負担を感じない」会長は23.2%となっている。

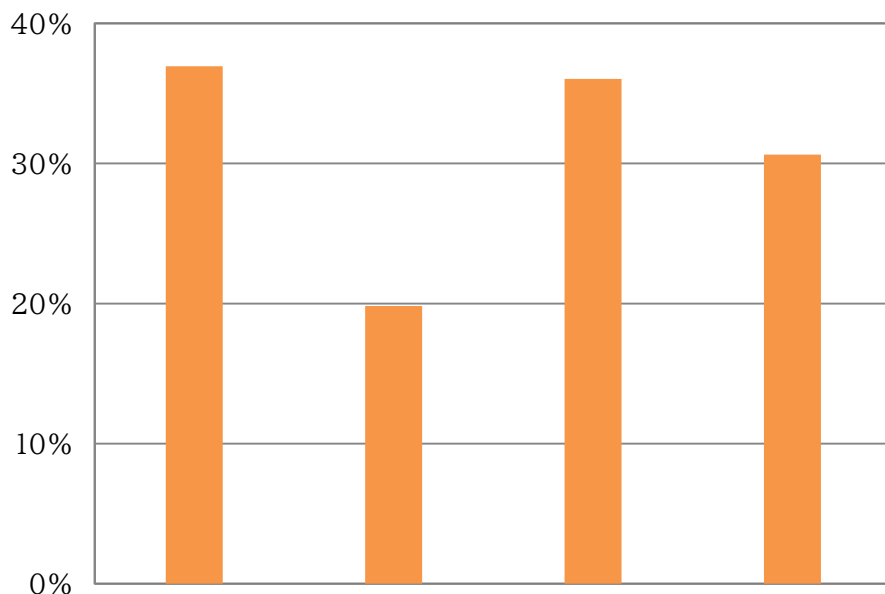
【地区別】 江別地区は「後継者がおらず、引き続き会長をしなければならないこと」が53.3%、野幌地区は48.6%で最も高い。

2. 自治会長が担う業務について

(4) 会長の負担を軽減するために、どのようなことが必要だと感じますか。(複数回答可)

会長の負担を軽減するために「自治会長以外の役職を減らすこと」が必要だと回答した自治会は36.9%

【全 体】



(%)	対象自治会数	自治会長以外の役職を減らすこと	他自治会長との意見交換を図ること	市が負担軽減に向けて支援すること	その他
全体	111	36.9	19.8	36.0	30.6
江別	39	46.2	23.1	25.6	28.2
野幌	34	29.4	14.7	52.9	29.4
大麻	38	34.2	21.1	31.6	34.2



対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「自治会長以外の役職を減らすこと」は36.9%、「市が負担軽減に向けて支援すること」は36.0%となっている。

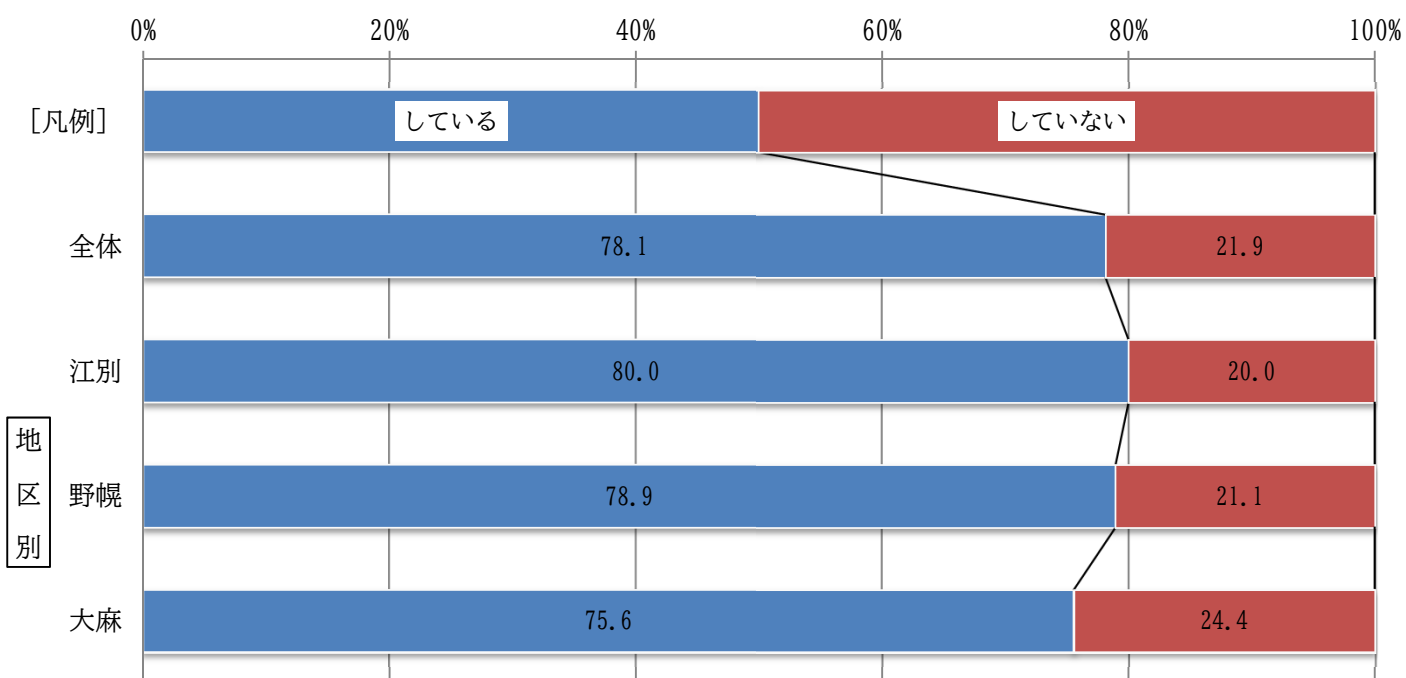
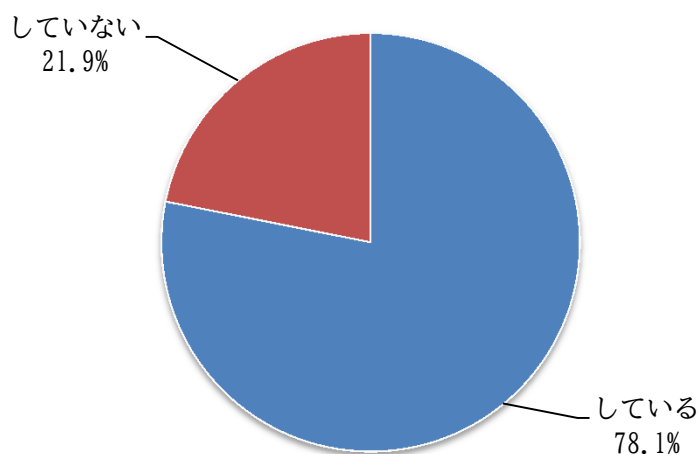
【地区別】野幌地区は「市が負担軽減に向けて支援すること」が52.9%と最も高くなっている。

3. 自治会役員等の担い手について

(1) 自治会役員等の担い手は不足していますか。

自治会役員等の担い手が不足していると回答した自治会は78.1%

【全 体】



【全 体】 自治会役員等の担い手が不足「している」と回答した自治会は78.1%、「していない」は21.9%となっている。

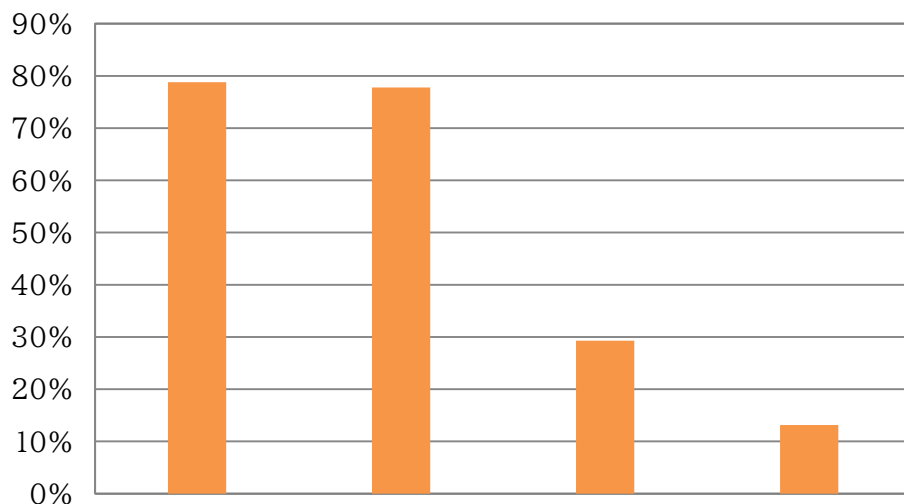
【地区別】 三地区ともに担い手が不足「している」が75%以上となっている。

3. 自治会役員等の担い手について

(2) ((1) で「している」と答えた方にお聞きます。) 担い手が不足しているのは、どの人材ですか。(複数回答可)

担い手が不足している人材は「会長後継者」と回答した自治会は78.8%

【全 体】



(%)	対象自治会数	会長後継者	会長以外の役員	イベントなどでリーダーとして活動する人材	その他
全体	99	78.8	77.8	29.3	13.1
江別	37	70.3	75.7	37.8	13.5
野幌	31	87.1	83.9	22.6	9.7
大麻	31	80.6	74.2	25.8	16.1



対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】担い手が不足している人材は「会長後継者」が78.8%、「会長以外の役員」が77.8%となっている。

【地区別】三地区ともに「会長後継者」および「会長以外の役員」の担い手不足している自治会は70%以上となっている。

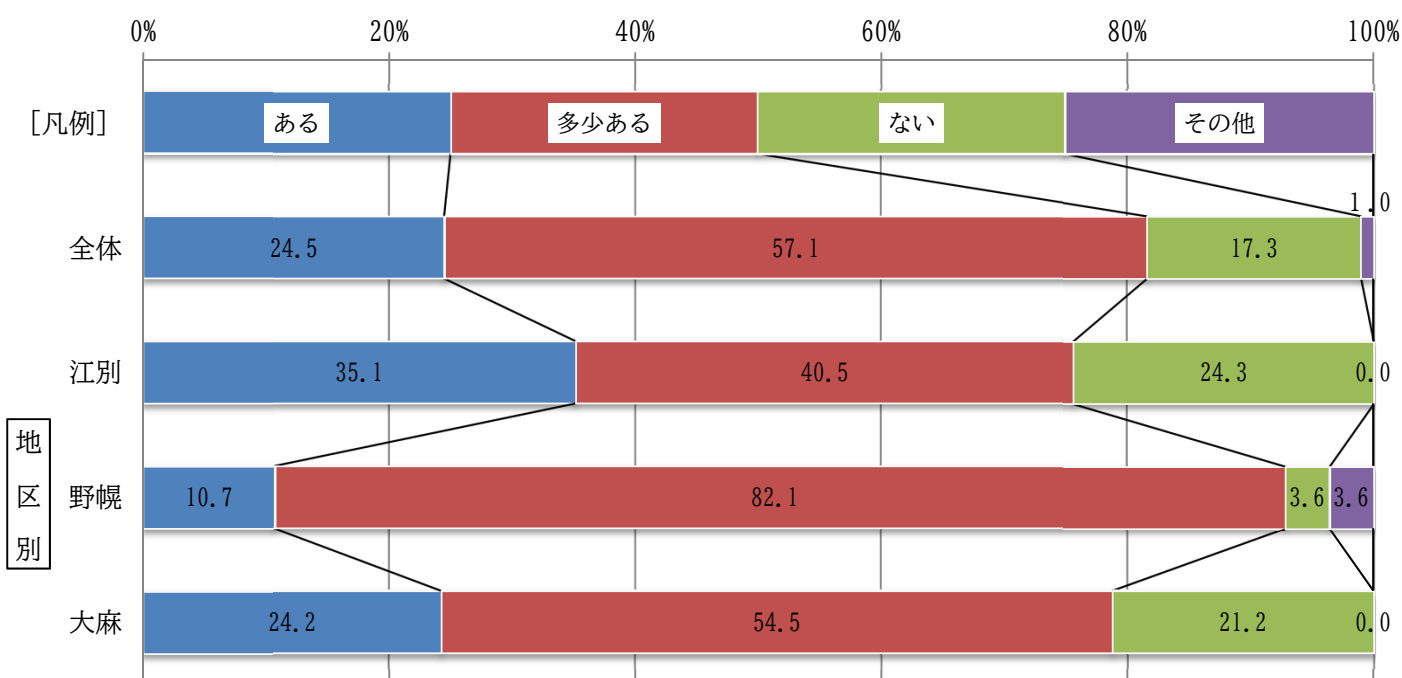
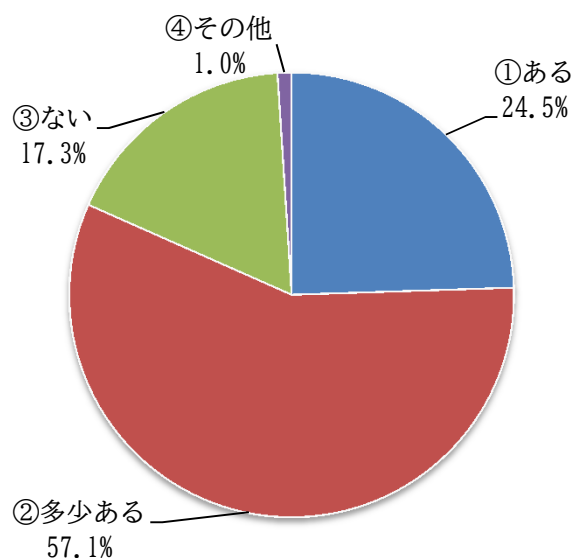
3. 自治会役員等の担い手について

(3) (1)で「している」と答えた方にお聞きします。) 担い手が不足しているために、自治会運営や活動に支障がありますか。

担い手が不足している自治会で、運営や活動に支障が“ある”と回答した自治会は81.6%

※ “ある” (「ある」+「多少ある」)

【全 体】



【全 体】自治会運営や活動に支障が「ある」は24.5%、「多少ある」は57.1%、合わせて81.6%、「ない」は17.3%となっている。

【地区別】野幌地区は運営や活動に支障が「ある」と「多少ある」を合わせると92.8%となっている。

3. 自治会役員等の担い手について

(4) 担い手不足を解決できる支援は、どのようなものがあれば良いと考えられますか。

記述の回答は79件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「広報・情報提供」が15件と最も多く、次いで「市の支援」10件、「連携」9件、「表彰・報酬」8件、「関心喚起」8件と続いている。

分類	件数	分類	件数
広報・情報提供	15件	負担軽減	7件
市の支援	10件	輪番制	6件
連携	9件	会員増	1件
表彰・報酬	8件	その他	15件
関心喚起	8件		

主な意見

【広報・情報提供 15件】

- ・市より広報誌、チラシ等の方法（インターネット）で積極的PR。
- ・市から特に若い方向けに自治会活動をPRするパンフレットを作り配布する。
- ・広報等で役員担い手不足を特集し「自治会存続の危機」を強く訴える。

【市の支援 10件】

- ・団地自体超高齢化しており若者が少ない。わずかにいる若者は自治会に入会していない。若者が入会したくなる施策を講じて欲しい。
- ・市職員の積極的な協力体制。
- ・市主導で地域ボランティア（地域貢献）意欲のある人材の確保してもらうことができればいい。自治会主導ではやりにくく実態としてどなたが地域貢献意識をもっているかを把握できず必ずしも意欲のある方に活動の場を提供できていない。

3. 自治会役員等の担い手について

(5) 担い手不足を解消するために取り組んでいることはありますか。

記述の回答は92件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「交流」と「輪番制」が11件と最も多く、次いで「広報・情報提供」9件、「会議・意見交換」8件、「負担軽減」8件と続いている。

分類	件数	分類	件数
交流	11件	関心喚起	4件
輪番制	11件	連携	4件
広報・情報提供	9件	後進育成	3件
会議・意見交換	8件	公募	2件
負担軽減	8件	その他	27件
継続・兼務	5件		

主な意見

【交流 11件】

- ・ 会員各位と出来るだけ機会をつくりコミュニケーションを取り、その中で町内会の現状や役員の仕事などについて話し合い、少しでも抵抗感をなくするよう努力している。
- ・ 地区連の連合会などで他の自治会の取組みの交流を通して参考にさせてもらっている。
- ・ 日常的に役員になった人が、周囲に話しかけるように心がけしようと話し合っている。

【輪番制 11件】

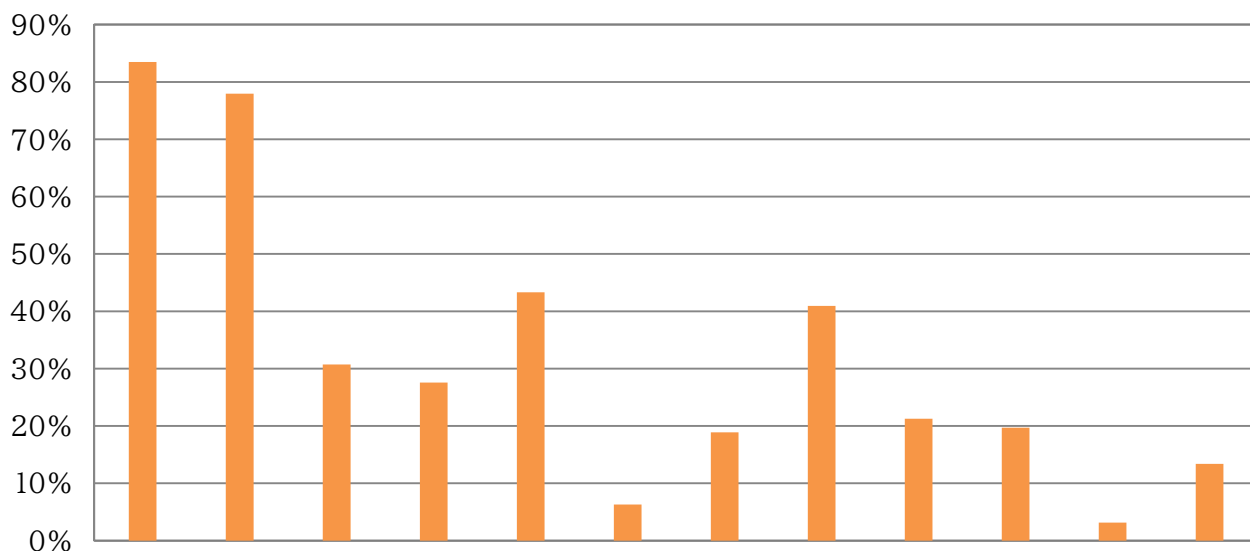
- ・ 役員の輪番制にしている。（輪番制にしても引き受けられない人がいるのでむずかしい）ごみステーションも輪番にしているので多少班のコミュニケーションに役立っているものと思われる。
- ・ 輪番制（候補者の事情も考慮のうえ）
- ・ 役員を輪番制にしている（会長も含む）

4. 自治会運営（活動）について

(1) 自治会運営において、どのようなことが課題だと感じますか。（複数回答可）

自治会運営において、「担い手不足」が課題だと回答している自治会は83.5%

【全 体】



	対象自治会数	担い手不足	会員や役員の高齢化	役員の負担増	イベントの参加者が少ない	イベント参加者が固定化	経常的に事業会計が赤字である	未加入者の増加	住民が自治会に対して関心がない	ごみの問題	空き家や空地の問題	課題はない	その他
(%)													
全体	127	83.5	78.0	30.7	27.6	43.3	6.3	18.9	40.9	21.3	19.7	3.1	13.4
江別	46	84.8	78.3	30.4	30.4	41.3	8.7	30.4	45.7	23.9	28.3	0.0	13.0
野幌	38	73.7	78.9	36.8	28.9	50.0	5.3	15.8	47.4	15.8	7.9	5.3	10.5
大麻	43	90.7	76.7	25.6	23.3	39.5	4.7	9.3	30.2	23.3	20.9	4.7	16.3

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い
 対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】自治会運営においての課題が「担い手不足」は83.5%、「会員や役員の高齢化」が78.0%となっている。

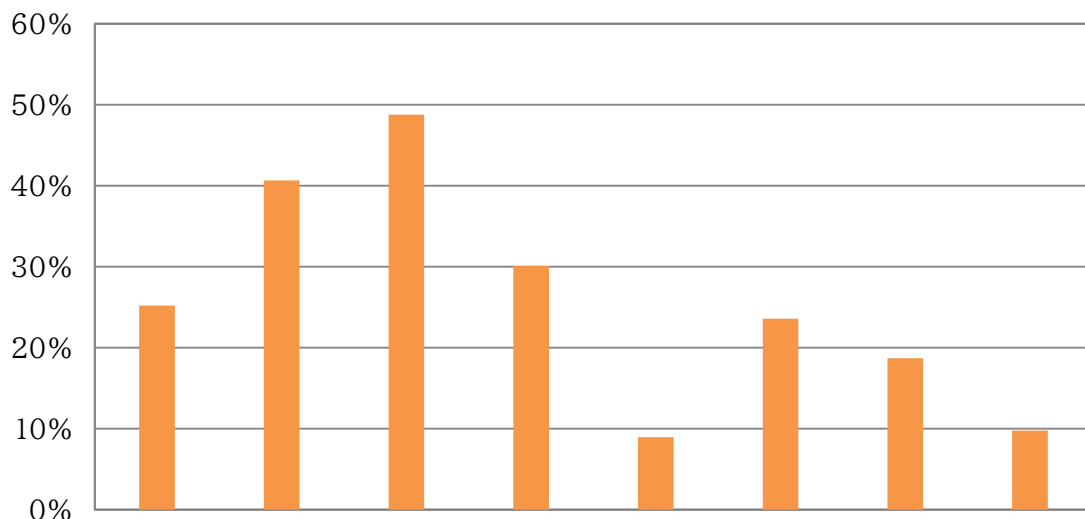
【地区別】三地区ともに「担い手不足」と「会員や役員の高齢化」が高い割合となっている。

4. 自治会運営（活動）について

(2) 課題解決に向けて取り組んでいることや検討されていることは何ですか。（複数回答可）

会解決に向けて自治会で取り組んでいることは「イベントや事業の見直し」が48.8%

【全 体】



	対象自治会数	組織のスリム化	役員の負担軽減	イベントや事業見直し	情報発信	ボランティアやサポート制の導入	担い手やリーダーの育成	特にない	その他
(%)									
全体	123	25.2	40.7	48.8	30.1	8.9	23.6	18.7	9.8
江別	44	22.7	43.2	40.9	38.6	4.5	25.0	20.5	2.3
野幌	36	27.8	44.4	58.3	27.8	5.6	13.9	13.9	11.1
大麻	43	25.6	34.9	48.8	23.3	16.3	30.2	20.9	16.3



対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「イベントや事業見直し」が48.8%、「役員の負担軽減」が40.7%となっている。

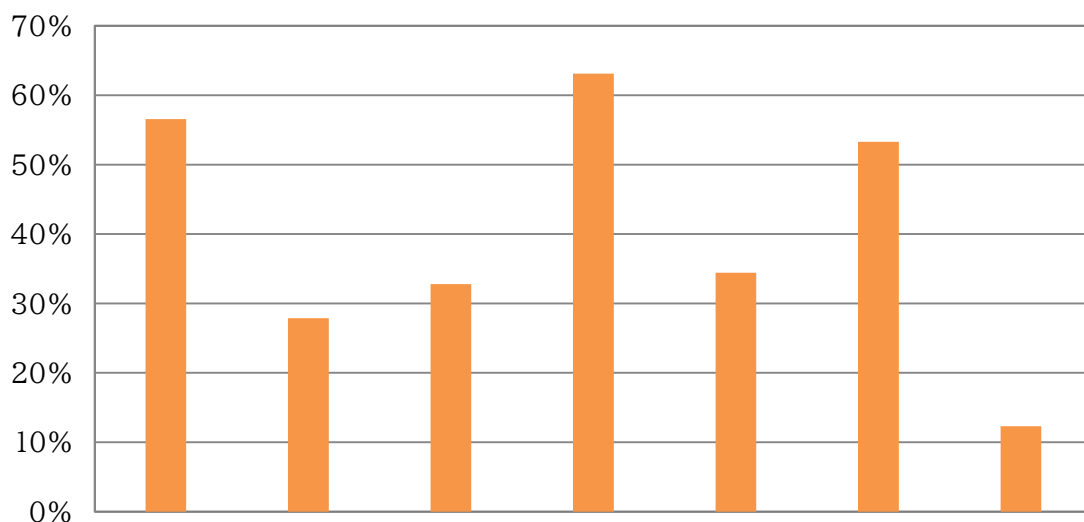
【地区別】三地区ともに「イベントや事業見直し」、「役員の負担軽減」が高い割合となっている。

4. 自治会運営（活動）について

(3) 今後の活動において、推進したい又は強化したい活動は何ですか。（複数回答可）

今後推進したい又は強化したい活動は「高齢者の見守り活動」が63.1%

【全 体】



	対象自治会数	防災活動	環境美化活動	児童の見守り活動	高齢者の見守り活動	憩いの場や交流の場づくり	誰もが参加しやすい仕組みや組織づくり	その他
(%)								
全体	122	56.6	27.9	32.8	63.1	34.4	53.3	12.3
江別	45	57.8	37.8	31.1	66.7	33.3	46.7	8.9
野幌	37	64.9	29.7	40.5	70.3	40.5	64.9	5.4
大麻	40	47.5	15.0	27.5	52.5	30.0	50.0	22.5

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「高齢者の見守り活動」が63.1%、「防災活動」が56.6%、「誰もが参加しやすい仕組みや組織づくり」が53.3%となっている。

【地区別】野幌地区において「高齢者の見守り活動」が70.3%と最も高く、大麻地区と比べて17.8ポイントも高い。

4. 自治会運営（活動）について

（4）自治会運営において工夫していること、課題解決に向けた具体的な活動、事例があれば教えてください。

記述の回答は102件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「会議・意見交換」と「広報・情報提供」と「負担軽減」が13件と最も多く、次いで「交流」8件、「環境整備」8件と続いている。

分類	件数	分類	件数
会議・意見交換	13件	意見の反映	3件
広報・情報提供	13件	人材発掘	3件
負担軽減	13件	後進育成	2件
交流	8件	経費削減	1件
環境整備	8件	雪	1件
イベントの工夫	7件	輪番制	1件
安全安心	5件	業務の明確化	1件
地域福祉	4件	規律	1件
連携	4件	その他	11件
加入促進	3件		

主な意見

【会議・意見交換 13件】

- ・役員会等での活発な意見交換の場を確保する。
- ・役員会の定期開催により、役員の意見プラス自治会員の意見をより多く聞く。

【広報・情報提供 13件】

- ・ほぼ毎月1回自治会だよりを全戸に配付して、諸行事や諸課題などを周知している。
- ・会員からのご意見、ご要望に対する自治会回答をスク립トQ&Aにて作成し、会員および未会員へ全戸配布（ゴミの維持管理、排雪に関してなど）

【負担軽減 13件】

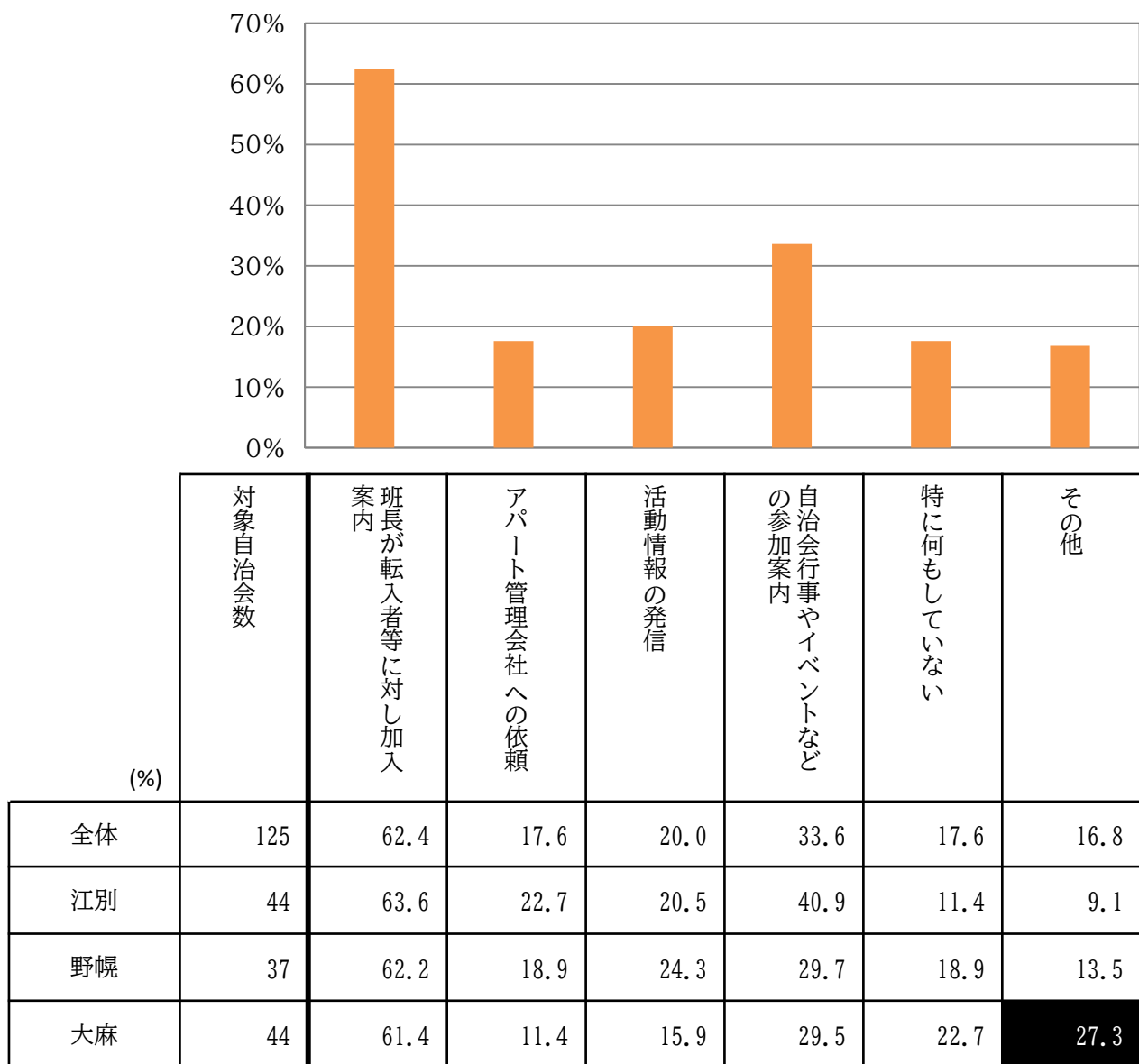
- ・毎月の定例会（役員会）における議題や報告等をメールやLINEを活用して、事前に役員会メンバーにお知らせし、情報共有を図ることにより、役員会進行の効率化を図っている。
- ・花壇整備（苗植えや水やり）は担当部だけで行わず、全体の部が協力して実施しました。

5. 自治会への加入促進について

(1) 自治会加入促進に向けて、どのような活動を行っていますか。（複数回答可）

自治会加入促進に向けて「班長が転入者に対し加入案内」をしている自治会は62.4%

【全 体】



対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「班長が転入者等に対し加入案内」が62.4%、「自治会行事やイベントなどの参加案内」が33.6%となっている。

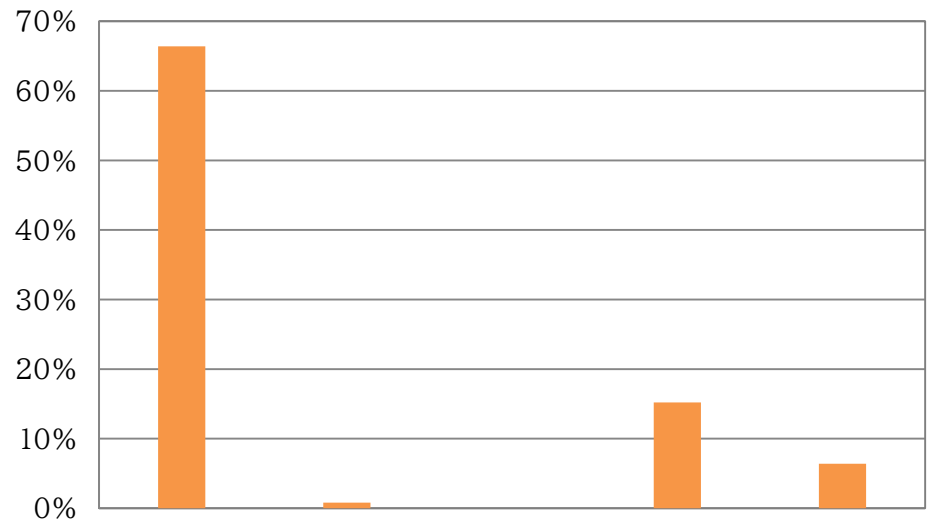
【地区別】三地区ともに「班長が転入者等に対し加入案内」が60%を超えている。

5. 自治会への加入促進について

(2) 会費等の集金で工夫していることがあれば教えてください。

会費等の集金で「一度に半年分や一年分など、まとめて会費を集めている」自治会は66.4%

【全 体】



(%)	対象自治会数	一度に半年分や一年分など、まとめて会費を集めている	銀行振込など、訪問以外の方法で集金している	外部の集金代行サービスを利用している	特になし	その他
全体	125	66.4	0.8	0.0	15.2	6.4
江別	43	67.4	0.0	0.0	11.6	2.3
野幌	38	71.1	2.6	0.0	7.9	5.3
大麻	44	61.4	0.0	0.0	25.0	11.4

	対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い
	対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「一度に半年分や一年分など、まとめて会費を集めている」が66.4%、「外部の集金代行サービスを利用している」は0.0%となっている。

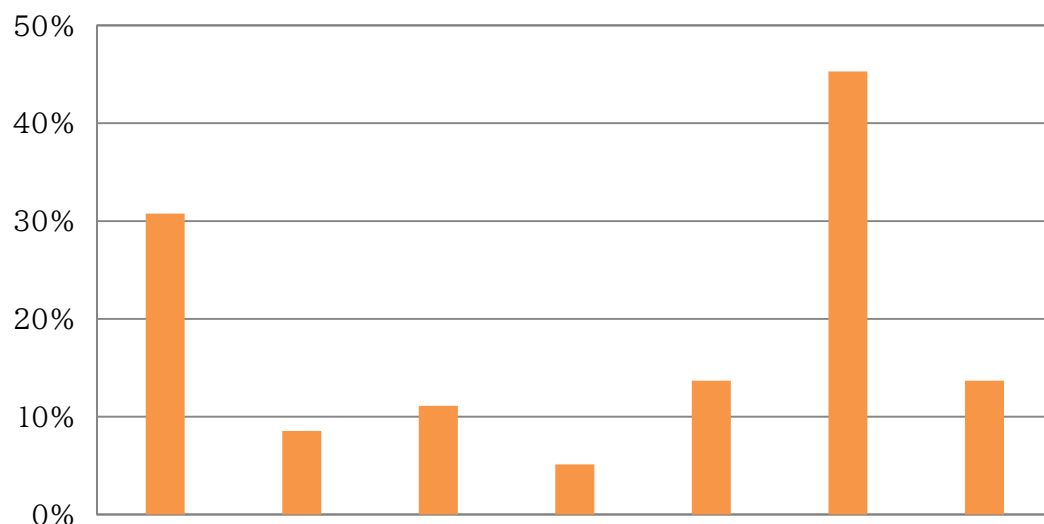
【地区別】大きな差は見られない。

5. 自治会への加入促進について

(3) 自治会加入促進に向けて、どのようなことに困っていますか。（複数回答可）

自治会加入促進に向けて、困っていることが「特にない」自治会が45.3%

【全 体】



	対象自治会数	拒絶されたり、苦情を言われたりする	役員等が加入促進に行きたくない	加入促進する役員がいない	会員が会費を払わない	現職のため多忙	特にない	その他
(%)								
全体	117	30.8	8.5	11.1	5.1	13.7	45.3	13.7
江別	40	42.5	10.0	12.5	5.0	10.0	25.0	20.0
野幌	35	25.7	11.4	8.6	8.6	17.1	45.7	8.6
大麻	42	23.8	4.8	11.9	2.4	14.3	64.3	11.9



対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 困っていることが「特にない」が45.3%、「拒絶されたり、苦情を言われたりする」が30.8%となっている。

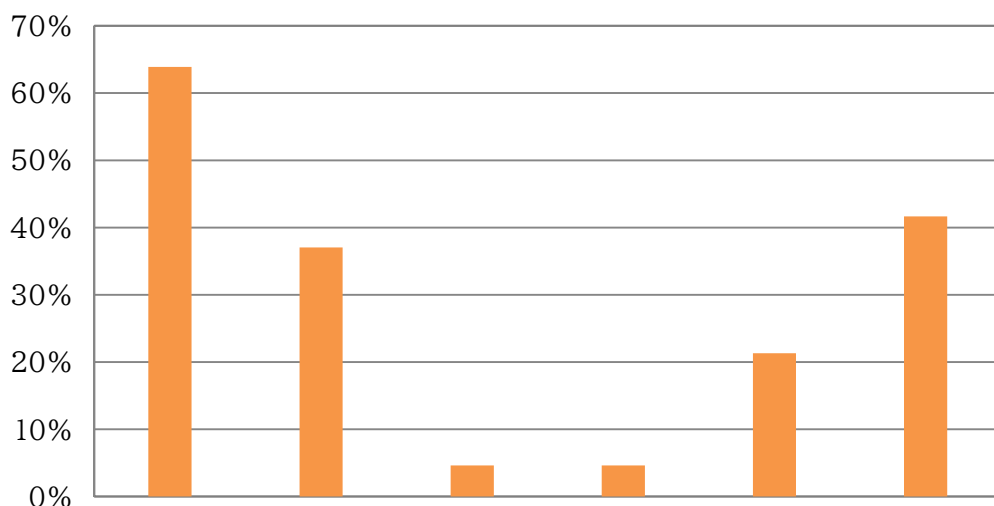
【地区別】 江別地区は「拒絶されたり、苦情を言われたりする」が42.5%と他の地区に比べ15ポイント以上高くなっている。

5. 自治会への加入促進について

(4) 自治会に未加入の方々が加入されない理由は何ですか。(複数回答可)

自治会に未加入の方々が加入されない理由は「自治会活動に興味がない」が63.9%

【全 体】



(%)	対象自治会数	自治会活動に興味がない	自治会活動が億劫だ	加入の案内をしていない	会費が払えない	近隣住民とトラブルがあった	その他
全体	108	63.9	37.0	4.6	4.6	21.3	41.7
江別	39	74.4	35.9	10.3	10.3	33.3	33.3
野幌	35	60.0	37.1	2.9	2.9	11.4	51.4
大麻	34	55.9	38.2	0.0	0.0	17.6	41.2



対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「自治会活動に興味がない」が63.9%、「自治会活動が億劫だ」が37.0%となっている。

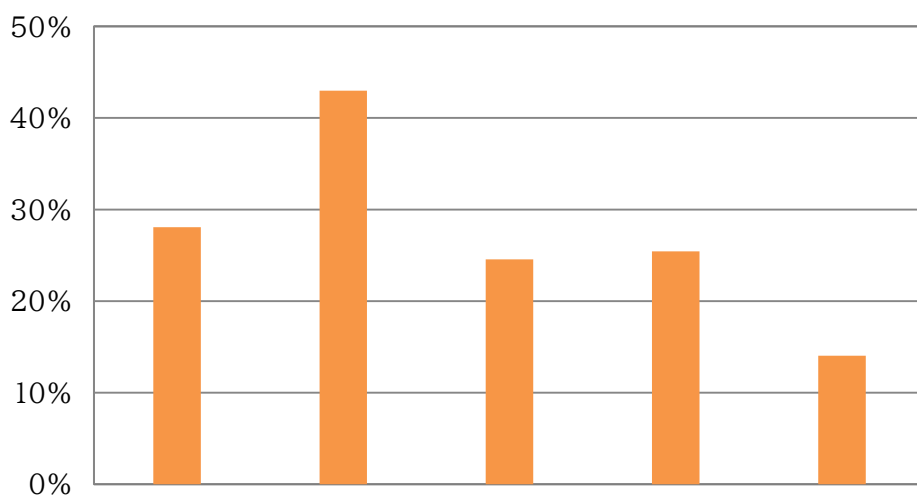
【地区別】江別地区は「自治会活動に興味がない」が74.4%と三地区の中で最も高い。

5. 自治会への加入促進について

(5) 自治会加入促進に向けて、必要な支援は何ですか（複数回答可）

加入促進に向けて必要な支援は「参考となる取組みの情報提供」が43.0%

【全 体】



(%)	対象自治会数	不動産業界との連携強化	参考となる取組みの情報提供	加入を働きかける会員への支援	特に必要なはない	その他
全体	114	28.1	43.0	24.6	25.4	14.0
江別	38	44.7	39.5	26.3	15.8	10.5
野幌	35	22.9	40.0	28.6	28.6	14.3
大麻	41	17.1	48.8	19.5	31.7	17.1

	対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い
	対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「参考となる取組みの情報提供」は43.0%、「不動産業界との連携強化」は28.1%、「加入を働きかける会員への支援」は24.6%となっている。

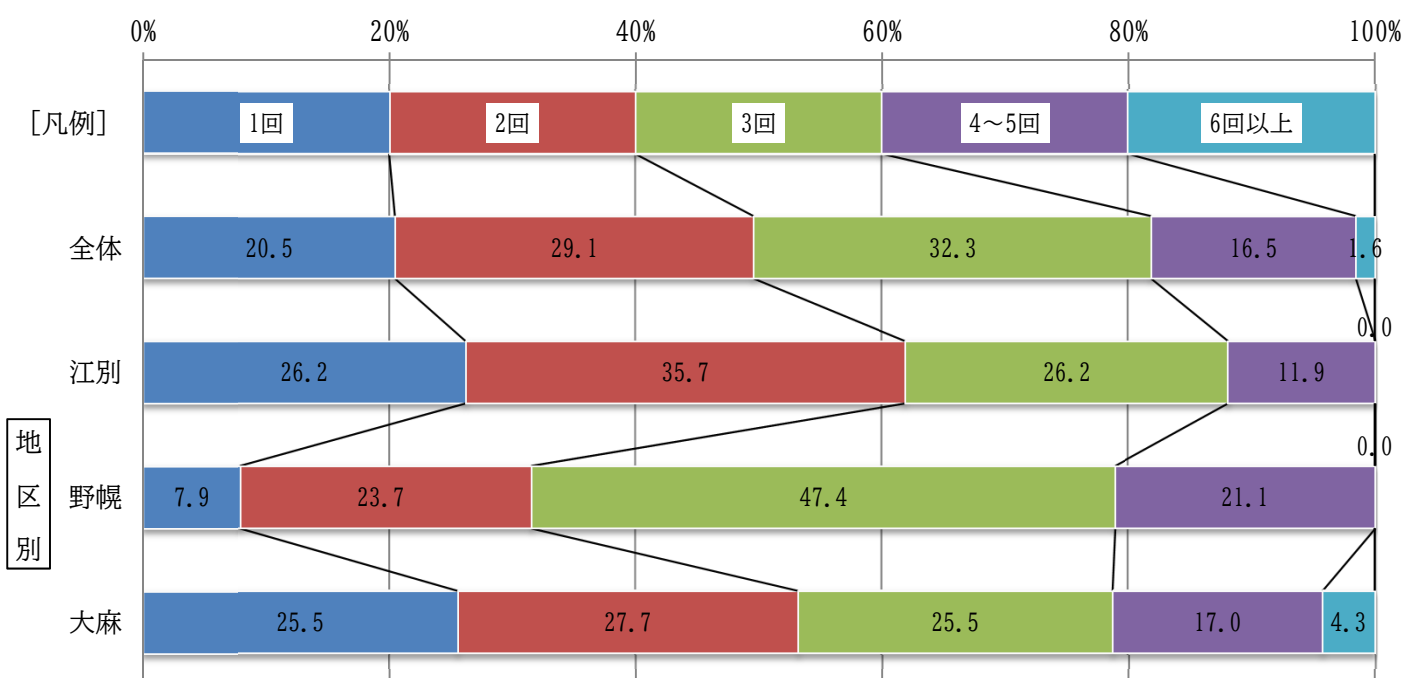
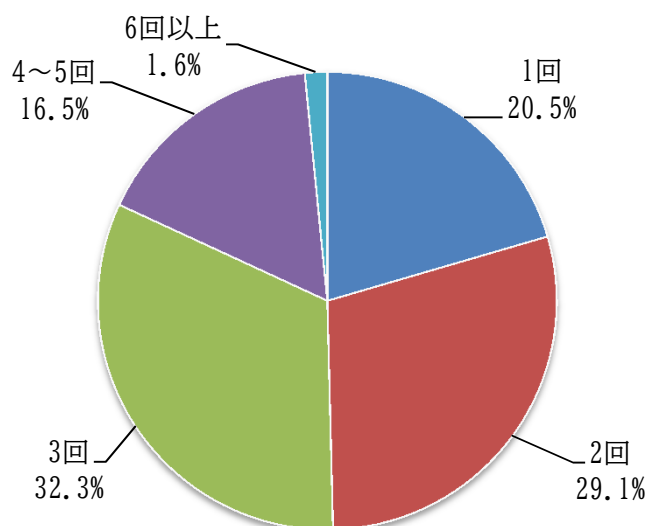
【地区別】江別地区は「不動産業界との連携強化」が44.7%と最も高く、大麻地区と比べて27.6ポイント高い。

6. 自治会回覧板について

(1) 行政や各団体等（例：江別市、女性協、学校）による回覧依頼は、月に平均して何回程度ありますか。

自治会への回覧依頼は月平均で「3回」と回答した自治会は32.3%

【全 体】



【全 体】 回覧依頼は月平均で「1回」が20.5%、「2回」が29.1%、「3回」が32.3%、合わせると81.9%、「4～5回」が16.5%、「6回以上」が1.6%となっている。

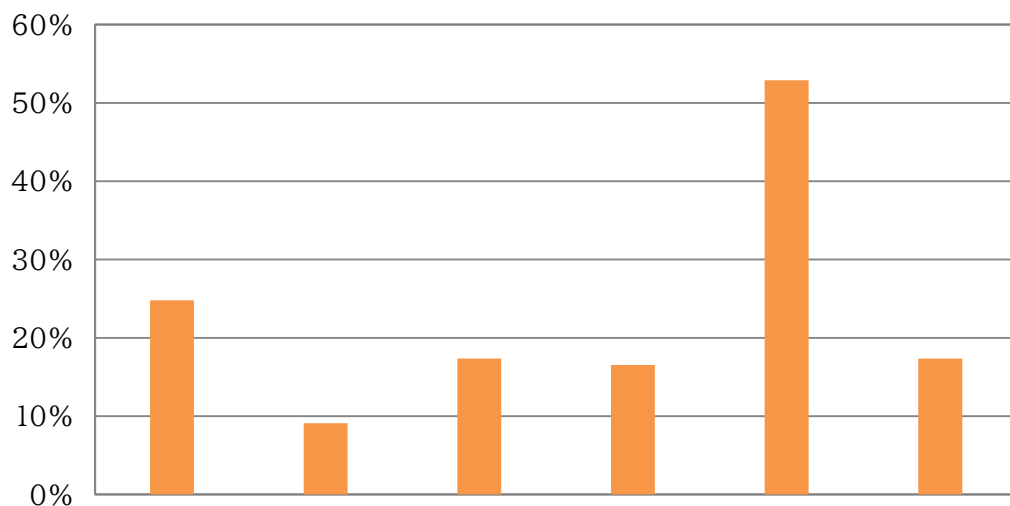
【地区別】 三地区ともに回覧依頼数が「1回～3回」を合わせると75%以上となっている。

6. 自治会回覧板について

(2) 回覧板を回すことについて、どのような苦情がありますか。(複数回答可)

回覧板を回すことについて、苦情は「特にない」が52.9%

【全 体】



(%)	対象自治会数	回覧回数が多い	回覧するのが面倒だ	回覧するのが負担だ	必要性を感じない	特にない	その他
全体	121	24.8	9.1	17.4	16.5	52.9	17.4
江別	43	14.0	9.3	18.6	14.0	58.1	14.0
野幌	36	36.1	5.6	19.4	19.4	41.7	19.4
大麻	42	26.2	11.9	14.3	16.7	57.1	19.0



対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い

対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】回覧に対する苦情は「特にない」が52.9%、「回覧回数が多い」が24.8%となっている。

【地区別】江別地区は「回覧回数が多い」が14.0%と、三地区のなかでも最も低い。

6. 自治会回覧板について

(3) 回覧板を減らすためにどのような取り組みをしていますか。また、代用となる手法はありますか。

ア 減らすための取り組みや代用となる手法について教えてください。

記述の回答は75件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「まとめる」が48件と最も多く、次いで「掲示板等の利用」9件、「選別」7件、「種類分け」2件、「特にしていない」2件と続いている。

分類	件数	分類	件数
まとめる	48件	会議での案内	1件
掲示板等の利用	9件	早く回す	1件
選別	7件	SNS利用	1件
種類分け	2件	その他	4件
特にしていない	2件		

主な意見

【まとめる 48件】

- ・ 急ぎではない回覧はまとまってから回すことを可とする。
- ・ 緊急性を判断して回覧している。回覧板を持って歩いている人を見かけるとなぜか安心感を感じる。回覧板を回すことで外に少しでも出ること運動になる。
- ・ 回覧内容の緊急性を確認し、分類し、「すぐ回覧」、「少々後でも良い回覧」と別々にまわす。緊急性の無い物はまとめる事になっている。又、会員の訃報やイベント等の忘れてほしくない連絡等は戸別に一部ずつ手紙を配布します。当日不在の会員でも後で読むことが出来る。

【掲示板等の利用 9件】

- ・ 自治会掲示板への掲示。
- ・ 各1Fエレベーターホールの掲示板を利用。
- ・ 当自治会には各班（入口）に掲示板があります。長時間（期間）見て、読んでほしいものは掲示板指定など、強めの案内でも良い。

6. 自治会回覧板について

(3) 回覧板を減らすためにどのような取り組みをしていますか。また、代用となる手法はありますか。

イ 取り組みをされていない場合、その理由を教えてください。

記述の回答は39件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「情報提供」が21件と最も多く、次いで「対策する必要なし」9件、「苦情がない」7件、「交流」1件、「安否確認」1件と続いている。

分類	件数	分類	件数
情報提供	21件	交流	1件
対策する必要なし	6件	安否確認	1件
苦情がない	4件	その他	6件

主な意見

【情報提供 21件】

- ・ 色々な世代や職業をお持ちの方々がお住いの方々への自治会情報を定期的にそして遅延なくお届けする方法としては、回覧板が1番良い手段だと理解しています。
- ・ 高齢の方が多いので、回覧板は助かるそうです。（自宅でゆっくり見れる等）ですので減らす取り組みはしていません。
- ・ 情報伝達のためには回覧板のメリットは大と考えるので、回覧の依頼文書は速やかに回覧するようにしている。

【対策する必要なし 6件】

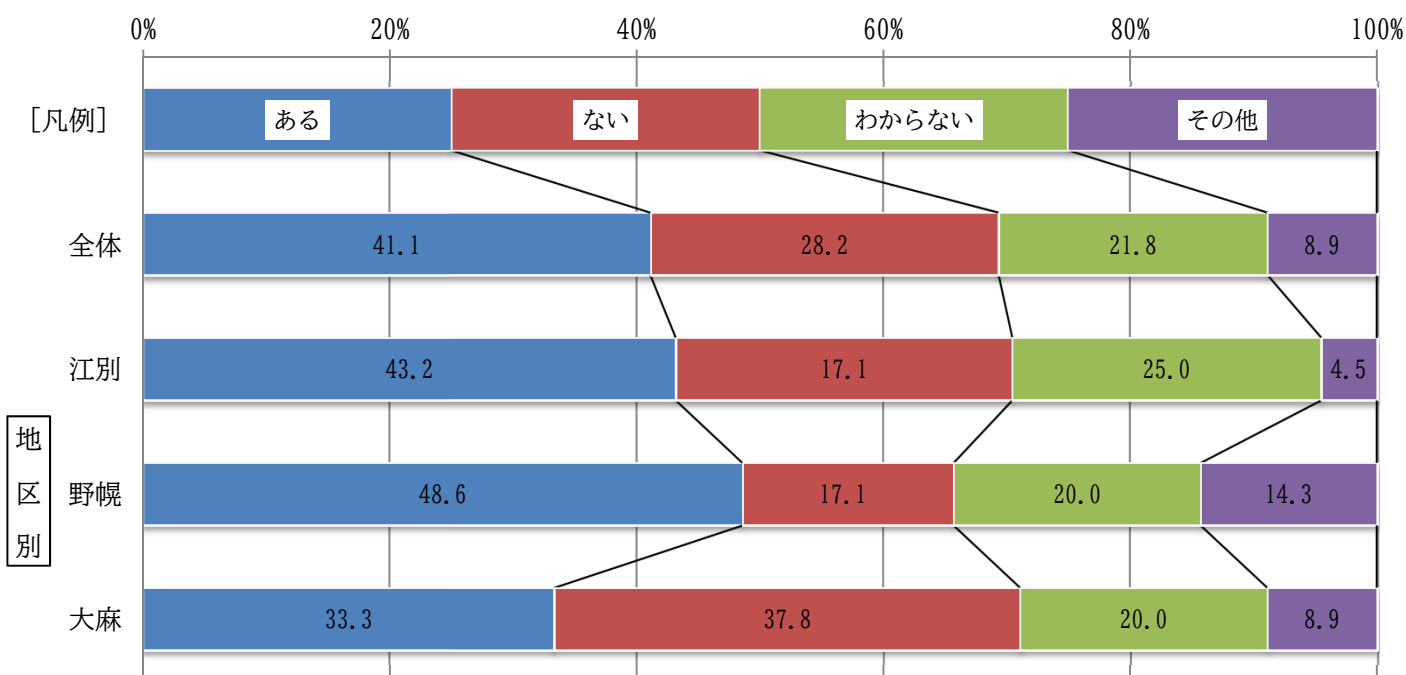
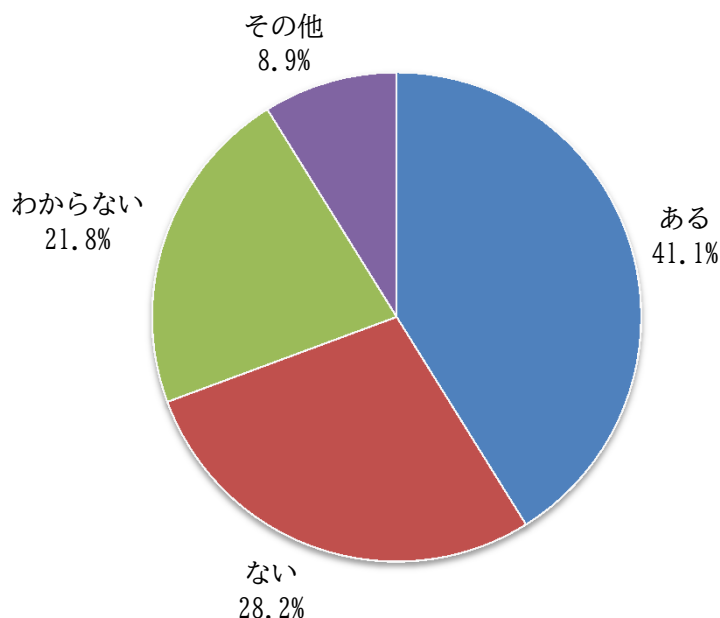
- ・ 特に取り組む必要性を感じていない。
- ・ 特に問題がない。
- ・ 負担がないため。

6. 自治会回覧板について

(4) 市からの回覧依頼は、広報えべつに情報を掲載している場合もあり、廃止すべきとの意見もあります。回覧板がなくなった場合、自治会（会員）又は自治会活動に支障はありますか。

回覧をなくすと支障が「ある」と回答した自治会は41.1%

【全 体】



【全 体】 回覧をなくすと支障が「ある」は41.1%、「ない」は28.2%、「わからない」は21.8%、「その他」は8.9%となっている。

【地区別】 大麻地区は支障が「ない」が37.8%と最も高い。

7. コロナ禍における自治会活動について

(1) コロナ禍における自治会活動で、どのようなことを課題に感じたり苦勞したりしましたか。

記述の回答は141件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「会議・行事の中止」が78件と最も多く、次いで「コミュニケーション」12件、「場所がない」12件、「活動の制限」7件、「余剰金」5件と続いている。

分類	件数	分類	件数
会議・行事の中止	78件	自治会館	3件
コミュニケーション	12件	見通しが立たない	3件
場所がない	12件	特に苦勞はない	3件
活動の制限	7件	情報収集	2件
余剰金	5件	地域福祉	2件
感染防止対策	5件	対面できない	1件
会員の理解	4件	その他	4件

主な意見

【会議・行事の中止 78件】

- ・町内会の行事（ラジオ体操、お楽しみ会等）は中止。人の集まる行事はしないようにしている。
- ・イベント会議が開けず活動がなかなかできない。

【コミュニケーション 12件】

- ・飲食ができないためコミュニケーションや情報共有が不足。
- ・必要な事案をアンケートで行うことがあったが、会員と直接顔を合わせることができないため、コミュニケーション不足を感じた。

【場所がない 12件】

- ・地区センター休館のため、役員会や自治会行事の関係者打ち合わせができず苦勞した。
- ・会場がなく、集会が開けず、話し合いが持てない。

7. コロナ禍における自治会活動について

(2) (1) の課題や苦勞をどのように解決しましたか。

記述の回答は94件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「書面・電話等で連絡」が28件と最も多く、次いで「ネットワークの利用」9件、「人数を減らす」8件、「解決していない」8件、「景品等の配付」6件と続いている。

分類	件数	分類	件数
書面・電話等で連絡	28件	なにもししていない	2件
ネットワークの利用	9件	情報収集	1件
人数を減らす	8件	情報提供	1件
解決していない	8件	声かけ	1件
景品等の配付	6件	行事の縮小	1件
会議の充実	4件	時間短縮	1件
屋外活動	4件	施設の休館	1件
会議・行事の中止	3件	飲食禁止	1件
備品購入	2件	理解を求める	1件
会議数の削減	2件	市の対応に合わせる	1件
密を避ける	2件	その他	7件

主な意見

【文書・電話等で連絡 28件】

- ・文書、ショートメール、電話などで意思疎通を図っている。
- ・2月、次期役員の役決め会議で、感染状況により会議は書面で行うことにした。4～9月の班長会議は書面で行う。緊急事態宣言解除の10月は対面で班長会議の予定。
- ・一斉清掃、交通安全旗の掲揚は文書の回覧と電話の連絡で行った。

【ネットワークの利用 9件】

- ・特定の役員間でのLINEでの連携。
- ・オンライン導入し、密を回避させることで、役員会や打ち合わせを開催出来るようにした。※他自治会と共同で対応。
- ・役員に対しては、SNS、グループウェアを活用している。（相互連絡が可能となった）

7. コロナ禍における自治会活動について

(3) 上記以外にコロナ禍における活動で工夫した点、新たに取り組まれた点はありますか。

記述の回答は57件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「物品の配付」が11件と最も多く、次いで「密を避ける」7件、「屋外活動」4件、「会議・行事の中止」4件、「地域福祉」4件と続いている。

分類	件数	分類	件数
物品の配付	11件	特になし	2件
密を避ける	7件	危機対策	1件
屋外活動	4件	外出自粛	1件
会議・行事の中止	4件	施設の休館	1件
地域福祉	4件	規約改正	1件
書面・電話等で連絡	3件	活動の軽減	1件
情報提供	3件	環境美化	1件
会費減額	2件	意思決定	1件
物品購入	2件	その他	6件
ネットワークの利用	2件		

主な意見

【物品の配付 11件】

- ・自治会費は集金している為、行事中止の分（わずか）自治会協力粗品としてマスク、消毒液を配布。
- ・密になる事業は実施出来ないため、例年実施している子供花火大会は、希望者に対して花火セットを配布することとし、家庭で楽しんでもらった。
- ・行事を中止したので、ゴミ袋を全戸に配布して還元した。

【密を避ける 7件】

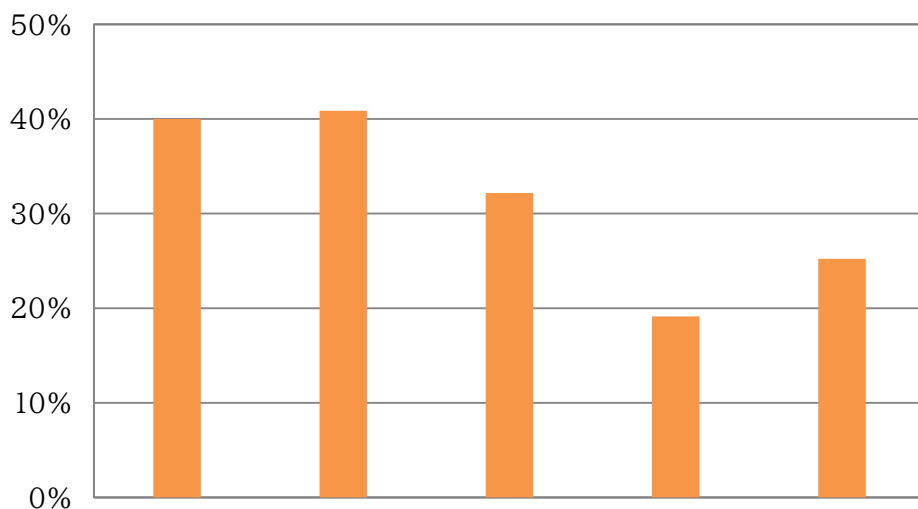
- ・3密にならない状況を作り、いたし方ない場合は、ソーシャルディスタンスをとり活動した。
- ・3密を避け、換気、消毒など、基本的な予防策を取るのみ。
- ・会議中は窓を開放するなど、換気に努めた。会館入口に手指消毒用アルコールを配備した。会議参加者にはマスク着用を求めた。

8. 江別市への要望について

(1) 市に望むことはありますか。(複数回答可)

市に望むことは「担い手不足に対する解決・支援」が40.9%

【全 体】



	対象自治会数	自治会に対する補助金の増額	担い手不足に対する解決・支援	会長など役職等の負担の軽減	特にない	その他
(%)						
全体	115	40.0	40.9	32.2	19.1	25.2
江別	42	47.6	23.8	28.6	23.8	28.6
野幌	35	45.7	54.3	34.3	11.4	20.0
大麻	38	26.3	47.4	34.2	21.1	26.3

	対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上高い
	対象自治会全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】市に望むことは「担い手不足に対する解決・支援」が40.9%、「自治会に対する補助金の増額」が40.0%、「会長など役職等の負担の軽減」が32.2%、となっている。

【地区別】野幌地区は「担い手不足に対する解決・支援」が54.3%と最も高い。

9. その他について

(1) 自治会と行政とのあり方や関係について、ご意見ご要望があればお聞かせください。

記述の回答は49件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「協力体制の強化」が8件と最も多く、次いで「情報提供」6件、「雪」6件、「意見交換」3件と続いている。

分類	件数	分類	件数
協力体制の強化	8件	自治会館	2件
情報提供	6件	集合住宅への対応	2件
雪	6件	市の支援	1件
意見交換	3件	現場目線	1件
手続き簡素化	2件	負担の解消	1件
危機対策	2件	空き家	1件
地域要望	2件	その他	10件
自治会回覧	2件		

主な意見

【協力体制の強化 8件】

- ・市民や地域住人の安全、安心、活力ある生活をサポートする意味では、行政と自治会のあり方については、本来より深くかかわる必要があると思います。
- ・自治会と行政は平常時からしっかり連携する必要があるとあり、特に自治会は行政の下部組織ではなく、最先端の組織という認識で対応願いたい。

【情報提供 6件】

- ・自治会の良い取組み、教訓、市が会長に周知すべき事例などは、可能な限り知らせてほしい。
- ・行政は一層適切な情報の提供、意見の聴き取り、結果のフィードバックに努めてほしい。

【雪 6件】

- ・自治会で取り組んでいる共同排雪への関与のあり方について、排雪費の値上げ等に関しては厳しい態度で望んでほしい。
- ・行政が進める協働のまちづくりの視点からの意見：昨年秋、江別環境整備事業協同組合から自治会排雪負担金の引き上げに関する提起があったが、自治会排雪事業における市の関わり・主体性が弱いと感じた。生活道路の排雪事業に対する市の役割と自治会の役割について改めて議論する必要があると考える。

9. その他について

(2) 江別市自治会連絡協議会に対して望むことはありますか？

記述の回答は33件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「特になし」が6件と最も多く、次いで「運営方法」5件、「情報提供」5件、「組織の簡素化」3件と続いている。

分類	件数	分類	件数
特になし	6件	市への意見	2件
運営方法	5件	雪	1件
情報提供	5件	加入促進	1件
組織の簡素化	3件	事業の軽減	1件
環境整備	2件	会費の軽減	1件
危機対策	2件	その他	4件

主な意見

【特になし 6件】

- ・ 特にありませんが、日ごろの活動に感謝申し上げます。
- ・ 別にありません。いまのままでいいと思います。

【運営方法 5件】

- ・ 江別地区53、野幌地区47、大麻地区63、合計163の各自治会を束ねる江別市自連協の役割は大きなものがあると思います。しかし、その中で具体的にどのような役割、目的をこの組織で果たしていくことができるかどうかは難しいことも多くあると思います。当組織が実質市の行政を円滑に運営するためのものだと思いますので、その運営にはより工夫が必要と思います。
- ・ コロナの関係もあり、書面会議で総会等が行われました。特に問題もないと思いますので、今後も書面会議で行うことを望みます。

【情報提供 5件】

- ・ 傘下の単位自治会における自治会活動の新しい取り組みや、それぞれ抱える課題の解決事例など情報提供があれば参考になります。
- ・ 各地区連、自連協で確認決定された内容を各単会に周知してほしい。協議された内容も含めて。

9. その他について

(3) 全体を通して、自由に意見をご記載ください。

記述の回答は64件の意見があり、下記のとおり分類整理した。「加入促進」が9件と最も多く、次いで「情報提供」5件、「会長・役員の業務」5件、「なり手不足」5件と続いている。

分類	件数	分類	件数
加入促進	9件	人口減少・高齢化	2件
情報提供	5件	公職	1件
会長・役員等の業務	5件	募金	1件
なり手不足	5件	市への申請	1件
負担軽減	4件	自治会回覧	1件
自治会の必要性	3件	危機対策	1件
ICT化	3件	協力体制構築	1件
花苗・水やり	2件	空き家	1件
活動自粛・制限	2件	市の支援	1件
自治会館	2件	情報収集	1件
交通安全	2件	その他	9件
雪	2件		

主な意見

【加入促進 6件】

- ・アパート等の賃貸集合住宅が多いため、加入率の低下傾向が進んでいる。賃貸契約時の自治会案内のみではなく、管理会社への自治会からのアプローチ方法で苦戦している。これは、加入増や自治会排雪負担の問題のみではなく、災害時における対応にも影響するため、急務であるが、自治会は一切の情報を有していない。
- ・若年者の自治会の役員の加入促進。

【情報提供 5件】

- ・高齢化が進む中、世中デジタル化に移行していますが、年寄りにもあった情報も発信してほしい。又、子供達が安心出来る生活環境を整えてほしいです。

【会長・役員の業務】

- ・会長は仕事をしている人では出来ないと思った。提出書類の届けがむずかしい。

【なり手不足】

- ・ボランティアで自治会役員をお願いすることに無理がある。（そもそもできる方が少ない。問題が起きたり、行事をするときなど役員以外の人の協力が非常に少ない）

アンケート調査結果からみられる課題と解決に向けて

Ⅲ アンケート調査結果からみられる課題と解決に向けて

アンケートの調査結果をもとに、自治会が抱える課題と解決に向けての検討事項を下記のとおりまとめた。

【課題1】 自治会員および自治会役員の高齢化

アンケート調査結果が、「会員の中で高齢者（65歳以上）の割合が50%を超える自治会」が31.5%（問1-（3））、「役員の平均年齢が60代以上の自治会」が76.3%（問1-（1））となっている。少子高齢化の流れとも考えられるが、住民・会員の“自治会に対する関心の薄さ”

（問4-（1）「住民が自治会に対して関心がない」40.9%）が要因の一つではないかと伺える。イベント参加者が固定化されている（問4-（1）43.3%）ことから、会員であっても活動に対して関心が薄く、特に60代未満の世代で“自治会離れ”が進んでいるのではないかと考えられる。

また、今後推進又は強化したい活動は「高齢者の見守り活動」が63.1%と高くなっている（問4-（3））ことから、高齢化が進んでいるものと考えられる。

【課題2】 会長・役員等の担い手不足

アンケート調査結果が、「後継者がおらず引き続き会長をしなければならない」が41.6%（問2-（3））、「役員等の担い手が不足している」が78.1%（問3-（1））となっている。要因として課題1同様に“自治会に対する関心の薄さ”や“負担が大きい”こと（問4-（1）「役員の負担増」30.7%）等が考えられる。各自治会としても解決に向けて、「役員の負担軽減」

（問4-（2）40.7%）や「イベントや事業の見直し」（問4-（2）48.8%）等に取り組んでいるが解決には至っていない。

また、担い手不足解消への求める支援として、「市から広報やチラシなどで自治会活動に関するPRをする」、「市職員が積極的に協力する、役員となる」、「役員等へ補助を」といった内容の回答が多数寄せられた。（問3-（4））

【課題3】 自治会への加入促進

アンケート調査結果では、加入促進に向けて困っていることは「特になし」が45.3%（問5-（3））であったが、約半数の自治会では課題を抱えている。自治会へ未加入である理由について「活動に興味がなく」（問5-（4）63.9%）や「活動が億劫だ」（問5-（4）37.0%）が高く、やはり興味関心がなく、“自治会の必要性”を感じていない人が増えていると考えられる。

【課題4】 自治会回覧

自治会回覧の実態として、「月に1～3回」と回答した自治会が81.9%（問6-（1））となっている。回覧に対する苦情は「特になし」が最も多い結果ではある（問6-（2）52.9%）ものの、「回数が多すぎる」（問6-（2）24.8%）、「負担だ」（問6-（2）17.4%）との回答も多い。「まとめて回す」（問6-（3））等の対策をしているが、苦情が出ているのが現状である。

一方で、回覧を無くすと支障がある（高齢者への情報提供や安否確認のために必要）と回答した自治会が41.1%（問6-（4））、支障がない：28.2%、わからない：21.8%）となっていることから、回数が多く負担ではあるものの、回覧は必要なものであるという認識となっていることが伺える。

Ⅲ アンケート調査結果からみられる課題と解決に向けて

課題の解決に向けて、以下のことについて検討したい。

- ① 自治会活動に興味を持てもらう
- ② 60歳未満の方や、仕事をしている方でも取り組みやすい環境を整える
- ③ 自治会の必要性を認識してもらう
- ④ 自治会回覧の仕組みを見直す

① 自治会活動に興味を持てもらう

課題1～3において共通して“自治会に対しての関心の薄さ”が要因の一つと考えられる。そこで、アンケートで多数回答があったとおり、広報誌やホームページ等で自治会についてPRをすることで、市民が自治会に対して興味・関心を持つきっかけを作りたい。

また市職員に対しても、庁内で自治会に関する情報を周知するなど、一市民として積極的に活動に参加するよう努める。

② 60歳未満の方や、仕事をしている方でも取り組みやすい環境を整える

役員や会員の負担を軽減することで、より活動しやすい環境を整え、担い手不足解消を目指したい。そのためには、役割の見直しや事業のスリム化、メールやLINEといったネットワークの活用等が必要と考える。自治会に対して、他自治会や他市町村での取り組み事例等、参考になる情報発信に努める。

③ 自治会の必要性を認識してもらう

①と同様に広報誌やホームページ等を利用し、自治会の担う役割等について広く周知し、自治会の必要性を認識してもらうきっかけを作りたい。また現在、江別市自治会連絡協議会および江別不動産協会と連携し、転入者がアパート等に入居する際に加入案内のチラシを配布しているが、その内容を見直すなどより必要性を認識しやすい情報発信に努める。

④ 自治会回覧の仕組みを見直す

市から各自治会へ依頼している回覧について、以前は月2回だったところを、現在は月1回にしたり、庁内で各課に対して必要な情報のみ回覧として依頼するように周知を徹底したりするなど、回数を減らす取り組みをしているものの、その回数や仕組み、手法等について再検討していく。

記述回答全文

【3-(4)】 79件

担い手不足を解決できる支援は、どのようなものがあれば良いと考えられますか。

<広報・情報提供 15件>

- ・自治会、町内会の存在(メリット性)を高めるPR活動。なぜないと困るのかを具体的に示す。以前台風でゴルフ場が倒壊した千葉県の場合、町内会が存在せず、補償等地域のリーダーがいらない場合、業者も大変、被災者も大変と新聞等で聞きました。あらゆる防災にも自治会は大いに役立ちます。
- ・自分以外の他人や地域に尽くし、そのことで他人が喜び自分が感謝されるという、「人間最後の喜び」を知らしめる。
- ・私共の自治会では現時点で有難いことに担い手不足があるとは思っていませんが、一般的には担い手不足がある自治会が多いと思います。つまり、現時点で60歳前の現役の方々が少しでも自治会の活動(市の行政と深くかかわっていると理解)内容を深めていただくため、市の方より自治会の活動の必要性、重要性を広く知らしめていただくことが重要だと思います。
- ・役員就任を輪番制にしているが、高齢や仕事上の都合などを理由に辞退する会員が増加しており、町内会に加入(する事も辞退する若い人も増加傾向)した場合、必ず役員に就任する事があると言う事を広報する方法はないだろうかと思う。
- ・市より広報誌、チラシ等の方法(インターネット)で積極的PR。
- ・市から特に若い方向けに自治会活動をPRするパンフレットを作り配布する。
- ・広報に「自治会加入しませんか」という記事を出しているが、これを継続するとともに、自治会に関する特集記事を組むなど、よりPRに努めていただきたい。
- ・自治会内の地域で役員を引き受けてくれそうな人の情報を市の方で持っていたら提供してほしい。
- ・現役世代にお願いしてもなかなか引受けてもらえず引退されてからと期待しているのですが…。他の自治会の役員の引継ぎはどのような方法でされているのか知りたいと思います。
- ・自治会活動についての情報発信を、会員にとってより関心の高いものにする必要がある。
- ・市からの日常的な支援体制の確立。自治会の魅力発信。
- ・お役立ちマニュアルに活動の活発な例だけでなく、高齢化等で活動が厳しい自治会の役員負担の軽減例や、生き残り作戦的なミニマム化例が載っているとありがたいです。
- ・広報等で役員担い手不足を特集し「自治会存続の危機」を強く訴える。
- ・住民への自治会の役割や必要性の啓発
- ・市役所からの支援:例えば個人情報にはなるが、自治会内に居住する市職員を紹介してもらう

<市の支援 10件>

- ・目先の対処だけでは解決にならない。市の長期に亘る、腰を据えた取り組みが必要だ。
- ・団地自体超高齢化しており若者が少ない。わずかにいる若者は自治会に入会していない。若者が入会したくなる施策を講じて欲しい。
- ・令和2年12月10日付2広第20号 江別市長→野幌自連協会長「要望書に対する回答について」中、8.自治会役員の担い手不足についての回答で職員派遣を実施してきたところ…とありますが、当自治会に市の職員の居る否もわかりませんが、この3～4年間会長を行っている間の支援等は一切ありませんし、声すらたててもらえません。職員に対し周知を図ってまいりたい…との事なら大いに率先して頂きたい。(個人情報のため非常に把握すれ難しいです。)
- ・自治会活動に対する研修会、講演会等の開催。
- ・市主導で地域ボランティア(地域貢献)意欲のある人材の確保をしてもらうことができればいい。自治会主導ではやりにくく実態としてどなたが地域貢献意識をもっているかを把握できず必ずしも意欲のある方に活動の場を提供できていない。
- ・市職員の積極的な協力体制。
- ・市の職員が積極的に自治会役員を引き受けるべき。忙しいのは皆さん一緒。市の職員は日程的にはめぐまれている。
- ・市職員の自治会役員への参加。
- ・自治会内居住の市の職員の方に市より自治会活動に積極的に取り組み、参加するよう促す等お願いしたい。
- ・その他市民活動者や市職員の積極的な参加

<連携 9件>

- ・協力し合うこと。
- ・交流～「愛ふれ」
- ・今は65歳を超えても働いている人も多く、現役の人でも自治会活動をしやすい環境を作ること。また地域で暮らしている大学生などが自治会のイベントなどにリーダーとして参加できるように市内の大学との連携を模索したい。
- ・自治会内での会員同士の連絡を密にする。
- ・イベント運営への人材支援:NPO法人を通じて、夏祭りにおける学生支援をいただいた実績あり。

-
- ・各区長(12名、毎月1回理事会を開催)との連携が大切である。
 - ・SNS、グループウェアを活用した自治会連絡網。
 - ・育成部では学校PTA等との連携
 - ・大学との連携:役員の役割を細分化して、分担した上で協力を仰ぐ
-

<表彰・報酬 8件>

-
- ・市長感謝状の表彰基準の見直し。現状10年以上が基準となっているが、やりがいを感じ、かつ評価を受けるといふ点からも、「5年」以上とするなど短縮をしてはどうか。また、「15年以上」は特別表彰など、2段階表彰などを検討願いたい。
 - ・自治会費を上げずに、多少の報酬が出せる様に、補助していただければ助かります。
 - ・支援金支給
 - ・役員手当としての市の補助金
 - ・学生役員への補助
 - ・市より役員手当
 - ・役員報酬のような物があると働きがいがあります。定年前で仕事、家庭を両立されている方は特に大変な思いをして就いてくれています。
 - ・役員への特典(物で釣るのは良くないですが、ボランティア精神だけに期待するのは厳しく、何か実感できるメリットがあると良いかと思う。)
-

<関心喚起 8件>

-
- ・やる気のある若手が多くなれば良いと思う。
 - ・自治会の中で現職で若い方々で青年会議等を立ち上げて、自治会のあり方を考えていただければ。
 - ・日常的に町内を廻り、若い人に声かけしている。
 - ・役員が楽しく、やりがいがある事業の推進。
 - ・会員の方々が何処に行っても、魅力のある自治会運営(活動)誰もが楽しい、嬉しい、手伝いたいなどと思える自治会。(理想かな)
 - ・魅力ある行事と日常の活動。
 - ・高齢化が進んでおり、役員を出来る方が少ない。担い手不足は、新規入居者を30代～50代くらいの方にすれば、多少は解消ができるかも…です。
 - ・年齢的60歳過ぎでないと男性群は参加が少ないです。同居している子供さん20歳過ぎていれば参加をお願いしています。
-

<負担軽減 7件>

-
- ・仕事内容の軽減、理解
 - ・町内会自体へwebの導入か、発信ツールを使用する事で、業務負担が減り取り組みやすい。
 - ・役員、班長会議の日程、時間を調整する事で出席しやすくする。
 - ・市の行事、説明会等の軽減。
 - ・手続き等はIT化により紙を廃していく、郵送も止めるなど簡素化、省力化を図ることで、手間はずいぶん省けると思います。会長を出来る人がいないというよりは、忙しくて面倒と思っているので。
 - ・江別市から依頼のある、回覧文書が多いのと自治連合会等からの依頼等が多いです。私は今年から、初めて会長になりまして、余りにも多いので困りました。定型の依頼等については、一覧表にさせていただくとありがたいです。私の自治会では、今後2年ごとに役員が全部入れ替わる予定です。なるべく、簡素な自治会運営ができるように考慮いただきたい。
 - ・会長になると他の会との連絡等いろいろありすぎる。統合したり、無くしたりしないとやっていけない町内会が出てくると思う。
-

<輪番制 6件>

-
- ・自治会が小さい場合は、会長を含め役員等の輪番制も選択肢のひとつとして考えられる。
 - ・自治会役員は各班で輪番制で選出しており、担い手不足はありません。
 - ・自治会役員の任期は当番制で1年であることから支援策を考えることが困難である。
 - ・最終的に輪番制
 - ・私の町内は約200世帯あるが、13班に分割している。班より役員を1名選出。選出方法は班毎にまかせている。くじ引き、輪番制、選出後話し合いにて役職を決める。
 - ・現在、班長は1年の任期としているが、副班長を付けていただき、次年度は副班長から班長へと継続できる体制をとる事で役員会にも継続的に参加していただく。(検討中)
-

<会員増 1件>

-
- ・他自治会との統合で世帯数を増やす。
-

<その他 15件>

- ・特になし。(わが自治会ではグループから役員を抽選で選出している現状です。しかし、抽選ではくじ運の悪い人は何回も役員で選出されます。よって最近規約を改正し、過去に1回も役員に選出されない人を選出しています。しかし、自治会活動に対する認識の低さを感じます。)
- ・人の役に立っている事を実感できる仕組み。取り組んだ事の成果などが確認できないと、続けたい人が減っていくと思う。
- ・解散している自治会もあるが、役員にされるなら脱会するとの声が多い！
- ・三役(会長、副会長、会計、総務)が、それぞれ責任を持って業務に取り組むことが必要。
- ・会員の意識改革が必要。
- ・民主的、共助の組織の構築と推進。
- ・市としての行政から見て質問されているのか良く分からないのですが。
- ・役員になってみたいと思う人のすくい上げ。
- ・支援策はありませんが、当自治会は自然に若い人が入居してきています。
- ・わからない。
- ・期間が定まっているなら、役員の担い手がいるかもしれない。
- ・会員の前職
- ・そもそも自治会活動に懐疑的な世代が自治会会員の中に増え、旧来の会員も高齢化してしまっている。中間的存在の会員(年齢的に)が不足している。
- ・現在コロナで活動が出来ない為。
- ・役員の任期期間にこだわらず、やっていただける方に、引き続きお願いをしています。(長い方で6年間役員をしていただいている。)

【3-(5)】 92件

担い手不足を解消するために取り組んでいることはありますか。

<交流 11件>

- ・機会があるごとに、若者に声をかけている。
- ・新規にサークル活動を提唱してます。いつでも誰とでも茶話会等でコミュニケーションを図る。従来の古い老人会等とは別の考え方で年齢は別に問わない仕組み作りを行う。
- ・交流～日常的な
- ・イベントなどを開催したいが、今はできない。
- ・会員各位と出来るだけ機会をつくりコミュニケーションを取り、その中で町内会の現状や役員の仕事などについて話し合い、少しでも抵抗感をなくするよう努力している。
- ・常日頃、若手に声かけしている。
- ・地区連の連合会などで他の自治会の取組みの交流を通して参考にさせてもらっている。
- ・イベントや行事の参加者に声掛けを行うなど、担い手の掘り起こしに努めている。
- ・自治会活動が楽しいアピールをする。常に笑顔、元気に声かけする。結局は人間関係だと思います。
- ・日常的に役員になった人が、周囲に話しかけるように心がけしようと話し合っている。
- ・現役員からの声かけ

<輪番制 11件>

- ・役員を輪番制にしている。(輪番制にしても引き受けられない人がいるのでむずかしい)ごみステーションも輪番にしているので多少班のコミュニケーションに役立っているものと思われる。
- ・当番制
- ・毎年各玄関から順番に班長をひとりずつ出し(計10人)、その中から役員を決めています。どうしても決まらない時にはジャンケンやくじ引きで決める年もあるそうです。
- ・理事により例年班長(一年交替、輪番制)の中よりその年の活動姿勢や意見を参考に可能性ある人材を選出しお願いしている。
- ・全世帯が転勤族なので順番で引き受けています。
- ・役員を輪番制にしている(会長も含む)
- ・平成30年度より総務部長、福祉部長、生活環境部長、交通防犯部長は4区2年間の輪番制とする。又会長、副会長、会計部長の任期は6年を超えての再任はしないとする等に規約を改正した。
- ・役員確保の為、原則任期一年で順番制としているが、積極的に動く人は少なく、その分会長、副会長(順番外)の負担増となっている。
- ・マンション住民の合意を得、担番制で役員を担ってもらっています。
- ・班長(9人)を輪番制にし、その中から正副会長以外の部長(4人＝役員)と副部長(4人)を振り当てている。任期はそれまでの2年から、令和2年以降は1年に縮小、負担を軽くした。また、正副会長については会則により、役員選考委員会で決め、任期も2年としているが、今後はすべてを輪番制にし、定年制を布くことで、公平、若返りを図るべきとの声も出ている。
- ・輪番制(候補者の事情も考慮のうえ)

<広報・情報提供 9件>

- ・班長会議の開催、回覧文書(町内会独自)の作成、配布
- ・普段から会の実情を伝えておく。
- ・毎年掲示板で呼びかけをするが反応ない。又適任と思われる方への依頼も全て断られる。
- ・広報を一新し明るくカラーにし、写真を多く取り入れる。SNS、ツイッターも始めた。
- ・「自治会だより」での呼びかけ。
- ・自治会会員への活動内容を理解してもらうために、簡単な自治会だよりを発行している。
- ・月1回発行している「自治会だより」の紙面の工夫。
- ・SNS、グループウェアの活用。
- ・各種子供関連イベントの開催と自治会加入促進チラシの配布

<会議・意見交換 8件>

- ・情報交換
- ・会議等で他役員と会った際、業務や困っていることを聞き、必要であれば支援し合いながら活動する。
- ・対策会議
- ・役員、班長会議で、出来るだけ多くの皆さんの意見を聞くようにしている。
- ・会議を役員会ではなく、拡大役員会(班長以上)を毎会開催し、事業計画等を周知している。
- ・積極的に会議、訪問しての役員の勧誘(自治会の存続を強調)。
- ・役員並びに会員とのコミュニケーション、情報交換。
- ・役員改選の都度、候補者となり得る会員の情報収集。

<負担軽減 8件>

- ・負担軽減策、意見交換
- ・LINEの活用による会合、会議の削減。
- ・役員会に自宅からリモートで参加できるようにして、役員の負担を軽減させた。自宅からリモートで参加できるようにしたことで、子育て中や介護中の方でも役員会に参加できる状況となった。
- ・現職でも無理なく参加できるよう、毎月の役員会は原則第3日曜日18時と決めてある。
- ・当自治会でも似たような状況で、今現在手間がかからないように整備を進めているところです。更に、会長の負担軽減を目指して、他の役員の役割についても再検討を行っています。
- ・自治会の部門やその他関係する会議の回数の削減や簡略化をする。
- ・役員の負担を少なくするように、新年会、夏の交流会、総会終了後の懇親会などを行っていません。以前役員がなかなか決まらないことがあり、自治会を存続するか否かを自治会全員にアンケートした結果、新年会等の親睦会をやめて、なるべく役員の負担を少なくして存続することになりました。また、役員人数を減らすため、副会長以外は副部長をなくしました。
- ・自治会活動の見直し。①現役世代が参加可能な自治会活動。②無理をしない自治会活動の計画をする。

<継続・兼務 5件>

- ・特に担い手不足は感じていないが、1人ひとりが自覚を持って仕事をする必要がある。(1人で何役もやる)
- ・任期を2年と決めないでできる人は何年もしてもらっている。なかなか役員をやってくれる方がいないので。
- ・不文ではあるが役員の任期を定めている。
- ・複数の役職を兼務とし、役員数を減らしている。
- ・役員には幹事と班長を選出していますが、特に班長の任期を長期化する取り組みを行っています。班によっては高齢化が進んでいる地域もあり、また役員の定年制(85歳以上は免除)を設けたことから、数年～十年程度で再度選出される場合が生じます。班長の任期は1回3か月としていましたが、これを6か月もしくは1年に延ばし、任命回数を減らすことで、拒否や辞退を減らしていけるような取り組みを考案中です

<関心喚起 4件>

- ・イベントや区班長会議などに参加した比較的若い方に、極力声掛けなどをして、コンタクトを取るようになっているが、コロナ禍で機会を持てないでいる。
- ・自治会活動に関心を持ってもらう(会員のすそ野を広げる)
- ・実質的に自治会活動を担う部長、区長となる人材を育てるために、転入後比較的日子が浅い方に、班長を引き受けてもらい、自治会への理解を深めてもらう。

・若い方に声かけて、親睦会の時などに参加していただき雰囲気を感じて色々話をしたりしていますが、世間話など楽しんでもらいますが、仕事があるから、子供に手がかかると理由をつけてダメです。役員の皆様も仕事をしているし、子供がいる人もいますが、自治会に対して関心がないのでは、うまくできません。

<連携 4件>

・地域内で問題事項が発生し、役員だけでは解決不可能の場合などの時、今後のため協力してほしい方に直接会い、協力をお願いし理解してもらって行く様にしている。
・マンパワーについては長年に亘り高齢者クラブに多大な協力と支援をいただいております、自治会としてクラブの活動に対し助成金を拠出している。
・他自治会と共催の夏祭りにおいて、大学と連携しながら学生援助を受けた。※ジモ×ガク 学生地域定着推進広域連携協議会 実績：平成30年8月、令和元年8月の2回
・江別市青少年サークルの活用。(育成部)

<後進育成 3件>

・これは近い将来起こり得る会長、副会長職を中心とした世代交代に備える人事です。私共自治会では70代前半が5人、65～70歳代が5人と幸いにも世代が分かれています。今年4月よりの役員改選に当たり、前述の65～70歳代の方々にはそれぞれの役職の部長職に加えて、自治会全般の業務を経験していただく観点から、それぞれ総務副部長職を兼務していただいております、将来の世代交代に備える布陣を引いています。
・担い手となってもらうための働きかけ及び育成。
・子育て世代の方々には育成部の活動に参画して頂き、自治会運営の一端を担ってもらう体制作り。

<公募 2件>

・役員の公募。(応募なし)声かけしているが。
・役員を募集している。

<その他 27件>

・自治会規約上、役員は2年任期とし、1年目は班長、2年目は会長以外の役員(専門部の部長、副部長など)とし、活動可能な方に就いていただき、一応自治会役員体制は、機能しています。
・班長さん(1年交替)の中で、自治会活動に興味を持ってもらった人たちを選出しています。
・現在のところありません。
・次の世代の役員候補として期待している者においしいワインを贈って、仲良くする様心掛けています。
・時々後継者、人選検討をしている。
・役員のなり手不足やマンパワー不足の解消を目指し、現在の自治会行事の範囲と規模を見直すアンケート調査を実施中である。担い手不足の解消と自治会財政の立て直しのため、アンケート調査結果に基づき経費削減策を総会に提案する運びとなっている。
・イベントで結びついた人を一本釣りするしかない。
・町内会の高齢化で難しい。
・自治会員は、役員の話をするこすらタブー視しており、取り組むことすらできません。
・役員会でのお願いと、個別にお願い。
・特になし。地域的に40代、50代の役員になりうる人が少ない。
・役員や班長(連絡幹事)が取り組むべき活動への支援。
・説得、ねばり強く説得。
・ありません。
・令和4年度から組織の改革を考えている。しかし、担い手不足の解消にはつながらない。
・今のところはない。
・高齢者、障がい等で担務できないときはパスしている。
・コロナ禍で活動が思うようにいかず。
・役員として活躍してもらうキッカケをつくる。補う分は他の役員が協力する様にしています。役職をあてがうだけでは活動は無理です。
・気軽に来館できる自治会館の雰囲気づくり。
・役員経験者等により運営審議会を組織し、後継役員の選定をお願いしている。
・当町内会では80歳以上は役員を除外して実施しているが、年齢層が高くなっている現状で、今後考えていかなければならない。
・特にありませんが今後担い手となる方を選出して長期(3～5年)参加してもらい、後にスムーズにバトンタッチしていけるように考えていきたい。

- ・特に決め手はなく、自治会での住民台帳を基に役員候補をリストアップして会長、副会長で役員就任をお願いしているのが現状、過去にはAさん宅に「そろそろ自治会の役員として貢献するべきではないですか」の出所不明の文書が個人宅に投函され犯人探しがあった事例もありました。
- ・以前は役員選考委員会の立ち上げも検討したが小規模自治会なので無理がある。
- ・最近特にリタイアした後何らかの仕事に就く人が多く、それを理由に断られるケースあり。
- ・人づてに役員のなり手を探る。

【4-(4)】 102件

自治会運営において工夫していること、課題解決に向けた具体的な活動、事例があれば教えてください。

<会議・意見交換 13件>

- ・コロナ禍ですが、毎月1回感染防止に留意して16人の役員会を開催して意思疎通を図っている。また、部長会議を年5回、副部長を入れた全体役員会を3回予定している。
- ・我が地域は、参加人数が多い高齢者団体の会合等が月1回あるため、できるだけ自治会内の報告、又意見があれば聞き入れる様にしている。
- ・役員会、三役会(会長、副会長、総務部)、四役会(会長、副会長、総務部、会計部)は必定的ですが、当自治会はこのほかに区長会並びに専門部長会を行っています。また各専門部においても課題やイベント内容等を協議し役員会で提案しております。近隣とのトラブル等、野良猫、カラスへの餌付け、キツネ問題などが有りますが、役員会で協議し乍ら自治会として対応できないものは行政の関係部署または専門家に相談し、その解決策や意見を取り入れるなど、区長並びに三役でその会員と話し合います。
- ・役員会について:区長8人を加えて22名で役員会が組織されているが、これまでにいきなり役員会だったものを、事前に部長以上7名での打ち合わせ会を開き、事前に意思疎通を図っている。
- ・役員会等での活発な意見交換の場を確保する。
- ・毎月役員会を開催している。
- ・毎月の会議の中で情報を共有し、課題があれば解決に向け協議を行っている。
- ・役員会の定期開催により、役員の意見プラス自治会員の意見をより多く聞く。
- ・役員間の情報交換、意見交換。
- ・定例打合せ等、市、関係機関からの通知内容等の周知、報告等を事細かく行うよう心掛けています。各役員からも住民情報を発言してもらうなど開かれた自治会を目指し活動しています。また、マンション特有の活動と思いますが、管理組合の理事が自治会役員を兼ねていますので、活動しやすい環境であると思います。
- ・業務量の均等化、スムーズな次年度への申し送り、積極的な意見交換をしています。
- ・定例役員会はほぼ中止、会長、副会長での打ち合わせを頻繁に行っている。
- ・役員会に参加された方々からの意見を多く出していただきたく、議事進行にも気を使っています。身近な問題を掘り起こすことで役員共通の取組みにする様にしています。(今年はゴミステーションのカラスからの被害をなくす為に皆さんと議論して自治会からダストボックスの設置を実施しました。)

<広報・情報提供 13件>

- ・ほぼ毎月1回自治会だよりを全戸に配付して、諸行事や諸課題などを周知している。
- ・自治会の合言葉の精神が浸透する様に毎年呼びかけている。
- ・回覧文書(町内会独自)の作成、配布
- ・イベント参加の呼びかけ。
- ・ごみ問題:分別徹底、カラス被害軽減、ゴミステーション利用における注意喚起回覧、利用者間の維持管理に対する話し合いの調整など。
- ・会員からのご意見、ご要望に対する自治会回答をスクリプトQ&Aにて作成し、会員および未会員へ全戸配布(ゴミの維持管理、排雪に関してなど)
- ・令和2年6月より毎月「自治会だより」を発行し情報発信をしている。
- ・自治会ホームページを充実させ、QRコードを宣伝して普及に努めている。
- ・情報発信…年4回「自治会だより」を発行。
- ・随時、情報提供や、協力要請について自治会だより(全戸配布)を年4回～6回発行しています。
- ・役員間の情報の共有(会長に寄せられる意見を役員会で報告)。月1回の自治会だよりに必要なものは掲載する。
- ・自治会便りの発行。
- ・非会員も行事参加を促すためのイベント配布

<負担軽減 13件>

- ・5部ある専門部の業務洗い直しを実施。平均的な行事内容に実施。
- ・花壇整備(苗植えや水やり)は担当部だけで行わず、全体の部が協力して実施しました。
- ・担い手不足の中事業をスリム化した。その中でも結構頑張っている方だと思ふ。
- ・webミーティング、クラウドでのデータ管理など。

- ・毎月の定例会(役員会)における議題や報告等をメールやLINEを活用して、事前に役員会メンバーにお知らせし、情報共有を図ることにより、役員会進行の効率化を図っている。
- ・自治会役員会の前に四役会を持ち、議題や原案の検討をするようになって、比較的スムーズに役員会の運営が進むようになった。
- ・自治会として実施すべきことは毎年決まっていることから如何に問題なくスムーズに実施できるかが一番大切でありそのことが担い手の確保に繋がると思う。ついては役員の中で班長以外の理事会メンバーによる企画立案と意見の一致が不可欠となる。当自治会では理事会には「熟年会」事務局及びメンバー相互の信頼関係とコミュニケーションが重要と思います。また、班長会議は事務局を担っている副会長により会議資料の提供と議事進行により効率的且つ短時間(30分目処)で終了するようにしている。自治会活動において問題を生じさせないことが大切であり、それには理事会民生委員も入ってもらい班長会議の前に事前の打ち合わせをして臨んでいる。
- ・役員、班長会議の回数を減らすことをしていきたい。自治会は147戸と少ないので班長も入れて会議をしています。
- ・会長、会計、婦人部長等、全て単年度で交替しています。その分誰がやってもわかるように仕事の簡略化や申し送り事項の文書化をやっています。
- ・コロナ禍でも負担に思わずに役員活動ができるよう、役員会はあまり開かず必要に応じて文書、メール、電話等で意思疎通を図り、スムーズな運営を心がけている。
- ・班長業務の負担軽減を図っている。「赤い羽根、日赤社資」の募金を自治会としての予算化も検討したい。但しその場合、今行っている個別募金より募金額は半減すると思います。コロナ後回覧は他人が触れたものとして敬遠される傾向から必要最低限にしている。
- ・事業の見直しの検討を進め、負担の軽減を議論
- ・各部事業の担い手不足のため全役員の参加で対応

<交流 8件>

- ・一昨年から「元気アップサロン」と称して年3回自治会館で懇親、懇談等を進めている。(現在はコロナで中止)
- ・2年に亘るコロナ禍で、自治会の活動は大幅に削減されています。しかし、会員の皆様がこのような状況下でも少しでも参加していただけるよう、今年度は、今迄に①歩道上の花壇の花苗及びそのメンテナンス作業(定期的な水やり、雑草取り)、②10日間のラジオ体操を行いました。これら①、②の活動にはご年配の世代だけでなく、何組もの若いご家族の方々を参加いただいております、一定の効果はあったものと判断しています。
- ・会員が多く集う事業等を増やしたい。
- ・自治会活動に関心を持っていただく、自治会内のコミュニケーションを図ることを目的としたイベント開催(オータムフェス、ウィンターフェスティバル、秋の大抽選会など)
- ・高校生との交流、行事の手伝い等。
- ・ラジオ体操での体調確認、情報、夏休子供ラジオ体操で世代をこえた交流、七夕祭りや古本(絵本)交換市。
- ・ゴミステーションの更新の補助により、利用者の確認と利用者間の交流を図っている
- ・誰でもが気軽に参加し、楽しむことができる催物の企画を考える。

<環境整備 8件>

- ・町内会所有のパソコンを検討している。役員はパソコンがないと引き受けられない。パソコンを使えない人がいる。→パソコン担当役員の検討。
- ・金属製のごみ箱の設置により、カラスやキツネの被害が減っている。
- ・周知連絡事項を電話でのやりとりで行っていたが、仕事等の理由で電話に出られないことがあったので、LINアプリでグループを作成し連絡をすぐ行える環境を作った。
- ・防犯灯管理の一環として行っている街灯のLED灯取り付けの比率は、現時点で83%を超えており、来年度中には100%を目指しています。
- ・自治会役員全員がメールアドレスを共有するとともに、会長と副会長(各区区長)、役員それぞれのメーリングリストを作成し、情報共有に努めている。
- ・役員間のラインをつくり連絡している。
- ・ICTを活用した連絡網の構築。
- ・LINEやwebサイトを立ち上げ、情報提供と間口の拡大を図った。実際、昨年の新規転入者には事前にwebサイトを見て自治会を検討した方もいた。しかし、古くから在住者はほとんど活用していない様子。

<イベントの工夫 7件>

- ・役員が現場の担当者に押しつける形で、事業が行われることがないように注意している。一方で、現場の担当者が不安を抱えている場合は、役員全体でサポートしている。→以下は事例、コロナ禍が続く中、この夏休みのラジオ体操について実施主体である育成部の一部役員から不安の声が出た。ラジオ体操の実施に向けて地域の小学校等から了解を得たうえで、役員がラジオ体操の運営に関わり、育成部をサポートしながら、感染対策にもしっかり取り組み、ラジオ体操を予定通り実施した。
- ・コロナにより、特に子どものイベントが中止になっているため、イベント毎にお菓子、花火などを配付し喜ばれている。(イベントを中止にした代りに)
- ・特に今年に関しては、コロナの影響もあり、役員会議を対面式から書類回覧による開催にするなど工夫しました。
- ・中学生以下の子供に対するナゾナゾ大会。ゴミ袋の配布。
- ・会員の一人が長年主宰し、隣接する公園で毎朝開かれている「ラジオ体操」を自治会として積極的に支援している。使用するラジオの管理保管、夏休みに参加する児童、生徒への記念品など年間1~2万は補助しています。1昨年からその主宰者が高齢(90歳以上)になったため、代わりに自治会役員ら3人が勤めている。老若男女が集い、周辺の他自治会員も一部参加するこの「ラジオ体操」は、当自治会の基本方針である住民の活発な交流の実践の場ともなっている。コロナ禍であったが、マスク、距離など十分な対策を講じて昨年度、今年度も例年通り続けている。
- ・子供花火会に輪投げ大会を組み入れたりしている。
- ・総会に多くの人々が参加してほしいため総会后、参加者全員が当たるくじ引き会で景品を出す等行っている。

<安全安心 5件>

- ・交通安全旗立て。入学時は青少年部、町内の旗立ては環境部の様に縦割にせず、目的にあった業務分担をしました。
- ・通学中の子供の見守りについて、ほかの3つの自治会と連携を取りながら積極的に行っています。4自治会の行う共通期間(7月~翌2月)に加えて、私共自治会は4~6月、翌年3月も独自の期間に加え、年間を通して活動を行っています。
- ・防災訓練の継続実施。いつ災害が発生するかも知れず、平常時から訓練の必要性を感じているが、参加者は決して多くはない。以前3カ年は年2回訓練を実施したが、その後は中止するのではなく、人数少ないながらも継続することが必要と考え、年1回の実施を続ける考えです。
- ・子供が増え自転車の暴走があるので、下り坂のT字路に一時停止の標識を交番に申請。
- ・各種イベントと事業がコロナで実施できない分、予備費の形で膨らんでいて、その分を災害積立等の特別会計として備蓄することを考えている。

<地域福祉 4件>

- ・高齢化、一人暮らしの方々が增多していることを踏まえ、5人の民生委員の方々を中心に日々見守り活動を行っています。
- ・高齢者の見守り活動を強化したいため、愛ふれ活動に工夫したい。
- ・高齢者対策(65歳以上の独居世帯)に向けて、高齢者等の見守りネットワークづくりに取り組んでいる。
- ・マンションでは管理組合と自治会があり役割分担をしている。自治会ではソフト面、要支援者の見守り、65歳以上一人暮らしの見守り(M-net会)、各行事を主催。

<連携 4件>

- ・大学生と交流し自治会の運営に話し合い。
- ・自治連合会との提携…防災訓練、地域横断的な問題の解決。
- ・ボランティアグループとの提携、支援…高齢者見守りなど。
- ・隣接自治会との共同…お祭り、子供みこし、盆踊り

<加入促進 3件>

- ・会社(法人)等を会員又は準会員として勧誘(企業のイメージアップ)。
- ・マンション等には管理費以外に自治会費として住人から徴収しているのにもかかわらず、自治会に連絡のなかった業者があった。住人から苦情が来て準会員として入会した。
- ・班長さんを対象にした自治会加入促進及び役割説明の研修会実施

<意見の反映 3件>

- ・小さな要望を聞き、反映する。
- ・自治会メールアドレスを作り、意見をいただくようにしている。
- ・出された改善案を積極的に評価し、次の活動に結びつけている。

<人材発掘 3件>

- ・地域活動、自治会イベント時に積極的な人材を発掘する。
- ・担い手不足解決のため役員候補リスト(未経験者、80歳以上の高齢者、体調不良者、長期間役員経験者)の策定。
- ・役員改選が2年毎のため、途切れてしまう。継続して活動してくれる人材を探す事が、町内活動を推進していく上で重要と考えられる。

<後進育成 2件>

- ・各役員(特に部長、副部長)に活動を通じ、自治会の仕組みや連携、協力によって、会を運営していく事を体験してもらい、担い手を育てていく。
- ・役員は2年毎、役員選考委員を設置して選出するが、班長は輪番制としており、班長業務に積極的な人を発掘して役員候補に育てる。

<経費削減 1件>

- ・令和4年度から排雪費用が20%の大幅値上げと見込まれ、自治会財政の逼迫が懸念されることから財政立て直しのため、まずは経費削減を優先課題として行事費の見直しを図ることとし、アンケート調査を実施中。

<雪 1件>

- ・除排雪経費の値上げ、除排雪の方法…市予算で対応願いたい。

<輪番制 1件>

- ・会長、役員を輪番制にしているためスムーズな運営ができている。

<業務の明確化 1件>

- ・専門部は自主性を確立し、業務分担を明確にしている。

<規律 1件>

- ・「自治会文書マニュアル」を作成、令和2年4月から実施。これまでは書類の整理は各役員の裁量に任せられ、大量文書の引継ぎ、重要書類の廃棄が行われてきた。各部門の文書を機密、対外秘、一般に区分し、保存期間(永年、10年、5年、1年)の規定と照合し保存、廃棄を行うこととした。

<その他 11件>

- ・6か月毎で班長の交替及び会費の集金。
- ・現在はない。将来的には団地223世帯が全体的に顔の見れる様な団地になってほしい。
- ・自治会活動を今後も安定して継続していくには、担い手不足、成り手不足への対応が大きな課題と考えている。このため、会員が長期に亘って役員を引き受けること、また、役員が複数の役職を兼務することを避けるなどの取り組みが必要と考えている。
- ・週に2回(水曜日の午後、土曜日の午前)事務局の駐在日(事務局開設日)を設け、会費の受け取りと区長や班長の相談相手となっている。事務局長、事務局次長(2名)が対応している。
- ・当自治会館の維持等の諸問題。(金と人)
- ・会長になったばかり、コロナ禍で行事も行えず活動していないので分からない。
- ・サステナブルな自治会活動。
- ・役員同士助け合って、なんとかやっている。
- ・自治会費の値上げをすれば、問題解決の近道ですが、電気(公共用分)、草刈り、配管清掃など値上がってきている事にどの様に向き合うかが一大事です。
- ・高齢化に伴って自治会活動に参加したくてもできない方が増えていること、無関心な新会員もいること。
- ・芝刈り機を購入して自前で刈り取り安くやっていますが、刈った草処分を安価にしてほしい。

【6-(3)-ア】 75件

回覧板を減らすためにどのような取り組みをしていますか。
また、代用となる手法はありますか。

<まとめる 48件>

- ・なるべく文書をまとめて回覧するようにしている。
- ・町内会、行政回覧、学校(小中2校)のみの順、自治会承認の4団体(身体障がい者団体等)、役員会で協議して最小限のもののみ回覧してます。
- ・必要な周知文書のみ回覧する。
- ・文書をまとめて回覧する。
- ・できるだけまとめる。

- ・月末に広報えべつと一緒に回覧する。
- ・自治会だより、学校だより等は毎月25日に発行し、月末に回覧している。
- ・回覧は原則月2回(1日、15日)としているが、回した後、間もなく次回にできないものがあつた場合、すっきりしない。
- ・緊急性のない回覧板は貯めておき、効率よくする。
- ・回覧はまとめて行っている。
- ・急ぎではない回覧はまとめてから回すことを可とする。
- ・今後については電子回覧板のようなサービスを導入できないか役員会で議論していく。
- ・期間に特に定めのない物は可能な限りまとめる。
- ・月1回にしてから各班長の負担が減った。
- ・各班長へ、ある程度まとめて回覧対応のお願いをしている。
- ・緊急でないと判断した場合は、1週間のうち回覧してもよいと申し上げてます。(回覧を減らすのではなく、回数を減らすようにしている。)
- ・緊急性を判断して回覧している。回覧板を持って歩いている人を見かけるとなぜか安心感を感じる。回覧板を回すことで外に少しでも出ること運動になる。
- ・月末にまとめて回覧している。
- ・回覧文章(チラシ、パンフレット)等の集約配布に充点を置き、回数の減を計る。
- ・回覧内容の緊急性を確認し、分類し、「すぐ回覧」、「少々後でも良い回覧」と別々にまわす。緊急性の無い物はまとめる事にしている。又、会員の訃報やイベント等の忘れてほしくない連絡等は戸別に一部ずつ手紙を配布します。当日不在の会員でも後で読むことが出来る。
- ・急がない回覧はまとめて回覧することを区長、班長に呼びかけている。
- ・急ぐものとそうでないもののメリハリをつけて、急がないものはある程度まとめて回覧する。
- ・当自治会は10区(1区辺り100世帯前後)あり合計班数が61班あります。回覧日数は概ね1週間から2週間に要します。今までは、送付等されてきたものはその都度回覧していましたが、区長、班長の負担軽減のため、内容により締切日や開催日程等を考慮し、月2回程度とした広報と一緒に回覧しております。数年前より福祉団体等からの通販冊子はとりやめております。
- ・何日に来ても15日と1日に回す。
- ・なるべく少なく、まとめるよう心づもり。
- ・急がないものはなるべくまとめて回数を減らしている。
- ・「市民活動センター・あい」の利用→「広報えべつ」でのPRが必要。商品販売等必然性のないものは中止→班長宅へ送らない
- ・緊急度等に応じてできるだけ集約する。
- ・急がない回覧をまとめて他の回覧と一緒に回す。
- ・班長の負担を軽減するため、緊急性がある文書を除いて、まとめて回覧する方法を勧めている。
- ・回覧物は住区からと、市から各班長への直送ルートがあり困惑、住区に一本化し回覧の回数をできるだけ減らしたい。
- ・各団体等の回覧依頼をできるだけまとめてから回覧し、回数を減らしている。
- ・毎月発行している「自治会だより」の発行日(毎月1日)に合わせる。それ以外は、第2土曜日の役員会で、各区に配付している。
- ・昨年度まで回数が多く、面倒等苦情が有り。今年度より市の回覧は会長へ送ってもらうことにしたので、ある程度たまってから班長さんへ渡す様にしたら、苦情が全く無くなった。
- ・月始めと中間の15日に集中して回覧を回している。
- ・班の世帯構成により回覧の需要が異なるので、班長の判断で回覧物をまとめるなど、頻度を変えている。
- ・回数を少なく、合理的に束ねて回す。
- ・件数はともかく、回覧回数は減らしたい。(2回/月程度)月末、中旬にまとめられると助かる。
- ・学校(小学、中学)等、会長宅に届く回覧文書等、まとめられる物があればまとめて回覧する。
- ・回覧予定文書の回覧予定時期に合わせてまとめて回覧する。
- ・緊急性のないものは、まとめて回覧するようにしている。
- ・日付を見て、月2～3回にまとめて回覧するようにしている。重要な回覧は、年6回発行している「自治会だより」に再掲載(アレンジ)するようにしている。
- ・多すぎるので、まとめるようにしている。(特に急がないもの)班長が回覧させている。高齢になって階段を登るのが少し無理になってきた場合、班長にならないようにしている。
- ・回覧回数を月1回とする。
- ・自治会発行分は必要最小限を心がけている。
- ・市からの回覧は月1回にすべきと思います。
- ・随時回覧をやめて、月2回(中旬、下旬)にまとめて回覧する事にした。(※ ワクチン関係等広報等の真に必要なものや緊急回覧は除く)なお、回数を減らしたが、1回に沢山の情報があるとやっぱり読みづらい又は見ない人もいる様子。

・可能な限り、取りまとめて回覧を行う

<掲示板等の利用 9件>

・自治会掲示板への掲示。
・市HPなどへの掲載、市や該当団体が直接郵送する。
・団地の各玄関に設置して読むことができるようにしている。
・掲示板にチラシ、パンフレット等のはりつけ。
・中心部の公園に掲示板を設置し、周知をはかるようにしている。(市や各団体等はそれぞれの役割分担して業務をしているが、それから自治会への依頼はすべて自治会一つに集中する。縦割り行政の矛盾。)
・スーパー、コンビニ、医療機関に置く。
・各戸に個別に通達の必要ない事項については各棟一階の掲示板に表示している。
・各1Fエレベーターホールの掲示板を利用。
・当自治会には各班(入口)に掲示板があります。長時間(期間)見て、読んでほしいものは掲示板指定など、強めの案内でも良い。

<選別 7件>

・回覧依頼の文書の精選をお願いしたい。〇〇の講演などは不要。
・工事等の回覧で大きな影響が無ければ回覧しない。(道路工事の回覧が多すぎる)
・内容により、対象世帯のみ回覧する。
・内容によっては回覧しない(自治会全体にあまり関係ないなど)
・福祉回覧(商品販売系)はお断りしている。
・市発行分は内容を吟味して極力減らす方向をお願いしたい。(広報で代用等々)
・福祉団体の回覧(特に商品販売)は江別に本部、支部があるものに限定している。

<種類分け 2件>

・自治会の会報、催事、行事ごとに回覧。
・班においては月初めに役員会の議事次第(内容も含めて)自治会独自のイベントの案内等もありますので、市他回覧と分けて回していただいています。

<特にしていない 2件>

・特に減らす必要はなく、現行で良い。
・特に問題なし。

<会議での案内 1件>

・区毎の会議による案内。

<早く回す 1件>

・隣近所の連絡を早めにする。

<SNS利用 1件>

・役員に対する回覧はSNSを利用している。

<その他 4件>

・広報えべつや社協等でほとんどの情報は得ることが出来るが、「具体的」な中身の部分は個別の情報でなければ無理なので必要。
・小学校の会報は通学しているお子さんは学校から直接受取っていると思うので回覧の必要はないかなと思うのですが…
・学校の回覧は必要なしとの声はあるが「子どもは地域で育てる」ものと協力依頼している。安否確認のため手渡しを推めている。
・回覧板は苦痛というより必要なものと考えている。

【6-(3)-イ】 39件

取り組みをされていない場合、その理由を教えてください。

<情報提供 21件>

・高齢者に情報を届けるため。
・情報伝達のためには回覧板のメリットは大と考えるので、回覧の依頼文書は速やかに回覧するようにしている。
・色々な世代や職業をお持ちの方々がお住いの方々への自治会情報を定期的にそして遅延なくお届けする方法としては、回覧板が1番良い手段だと理解しています。

- ・高齢者に情報を届けるため。
- ・高齢者に情報を届けるため。
- ・会員の死亡連絡など至急回覧を必要とするものもあり、必要。
- ・回覧は広報誌とまとめて月一回月末に配布。高齢者は広報誌だけでは不十分。
- ・高齢者に情報を届けるため。
- ・高齢者に情報を届けるため。
- ・高齢者に情報を届けるため。
- ・高齢者からは情報を得る貴重な機会といわれることもよくある。
- ・高齢者に情報を届けるため。
- ・情報の要・不要の判断は班長の立場ではできないため、班長宅に送付されたものは班長の判断によりまとめて回覧するケースはあるが最終的には回覧文書等は現行通り全て回覧している。
- ・情報を共有するため、回覧板を減らそうと考えたこともない。
- ・高齢者に情報を届けるため。
- ・高齢者に情報を届けるため。
- ・自治会も含め、会員により多くの情報を届ける事が重要だと思う。
- ・各班共有の掲示板等がないため、各班で回覧板を回しています。
- ・必要な回覧は(たとえば市)すぐに回しますが、カタログ、学校(小、中)は一緒に広報と班長にわたしています。
- ・高齢の方が多いので、回覧板は助かるそうです。(自宅でゆっくり見れる等)ですので減らす取り組みはしていません。
- ・公民館や住区会館は、他の自治会内にあり遠方で利用できない高齢者は、ネットを使った配信だと ①そもそもネットを見ない又は使えない②スマホはできても字が小さい又は字数多いと読めないまた若い人は、プッシュ通知で無ければ見ない又はなれるとスルーする事がある。なので、回覧は数を減らして実施する事にしている。

＜対策する必要なし 6件＞

- ・現状において、特に必要性を感じていない。
- ・特に取り組む必要性を感じていない。
- ・行政等からの回覧は、必要不可欠な事項と会長として考えており、前任者のように選択(?)しての回覧はしておらず、現在の班長等も一部を除き協力的であるので、現行通り行いたい。
- ・特に問題がない。
- ・負担がないため。
- ・特に理由はなし。

＜苦情がない 4件＞

- ・会員が情報を共有するため現行通り。特に苦情等はない。
- ・回覧で苦情はあまり聞かない。班の回覧は2週間ほどかかってもどってくるので、なるべく早く回すよう日を入れて回している。
- ・特に苦情も意見も出ていないため。
- ・苦情はない。

＜交流 1件＞

- ・回覧板を回すことが地域のコミュニケーションにもなるので、減らすことは考えていない。

＜安否確認 1件＞

- ・閲覧した印は安否確認にもなる。また幹事会、役員会で決まった案件や最新情報を即座に共有できるため。

＜その他 6件＞

- ・私共自治会では通常月2回(小中学校便りも含める)、必要に応じてもう1回の回覧を配布しています。(但し、市の方から各区長へ配布する市の通信欄は別です。)
- ・町内会の高齢化で負担に感じている方が増えてきた。
- ・支障がある場合は班長さん、総務と相談して現行どおりと考えています。
- ・現状を理解してもらう為、自治会だよりの月1回の発行は実施している。
- ・各区長、班長にまかせている。
- ・回覧の依頼には、それぞれの思いがあると思われるので、現行通りの回覧を実施している。

【7-(1)】 141件

コロナ禍における自治会活動で、どのようなことを課題に感じたり苦労したりしましたか。

<会議・行事の中止 78件>

- ・高齢者の集い、子供お楽しみ会、元気アップサロンなど多人数行事は中止となっている。
- ・全体役員会議、全班長(37班)会議は開催していない。
- ・総会が開けない。(書面決議2年)
- ・会員が集合する行事ができない。(ラジオ体操、焼肉パーティー、花見、観楓会)
- ・町内会の行事(ラジオ体操、お楽しみ会等)は中止。人の集まる行事はしないようにしている。
- ・役員会が開けず、会長が決めたり進めたりすること。(相談するのはLINEができる役員のみ。他は電話になるため手間がかかる。)
- ・総会や役員会が開けず、活動計画がしっかり立てられない。昨年と同様の活動ということで文書を流した。
- ・会合、あるいは行事等をかなり減らす事に苦労した。
- ・飲食を伴う交流行事を中止せざるを得なかった。
- ・会議やイベント行事は密を避けるため、中止にしたり役員のみで行う事が多かった。
- ・この2年に亘るコロナ禍で、自治会の活動が大きく制約され、特に室内で開催を予定していた行事はことごとく中止、あるいは延期に追い込まれました。大変残念な思いをしています。
- ・感染対策で会議、行事ができない。
- ・令和2年～3年と殆どの行事が中止。実施出来たのはラジオ体操、ゴミ拾いです。
- ・密を避けるために総会が開けなかった。
- ・役員会が開催できず、各役員に書面にて連絡している。
- ・行事が全て中止となり、役員会の回数が減少している。
- ・行事ができない。
- ・イベントの開催ができない。特に室内でイベント。
- ・自粛が解けるだろうと通常の計画を立てたが、3密や飲食を避けられないものは実施できず、非常に残念である。ある適度実施できるようになっても、以前のように参加者が戻るのか心配である。
- ・総会や役員会が開けず、活動計画が立てられない。
- ・自治会行動を中止している。
- ・役員会の中止。
- ・総会や役員会が開けず、活動計画が立てられない。
- ・総会や役員会が開けず、活動計画が立てられない。
- ・自治会内行事の中止又は延期。(花火大会、ラジオ体操など)
- ・総会や役員会が開けず、活動計画が立てられない。
- ・役員会(月1回が原則)、班長会議(月4回)、総会、すべて中止。
- ・新年会、夏祭り、体育祭、高齢者障がい者交流会等、すべて中止。
- ・ほとんどの行事を中止している。このため事業費が使用されていないため、自治会費の徴収を中止した。
- ・親睦会を開催できない。
- ・私共は、コロナ禍でも総会、役員会は会員の意思確認のため、苦情等が市に出されても行ってありますが、やはり一部活動は中止も止むを得ないものとして、中止案内等も行っている。
- ・密をさけるため定期総会の開催を断念し、書面決議としたこと。
- ・自治会活動が計画通りに進められない。各月の役員会も状況判断し中止。
- ・イベントが開催できない。
- ・密を避けるために総会や役員会が開けなかった。
- ・密をさけるために総会や役員会が開けなかった。
- ・ほぼ2年1回もない。
- ・会議が開けない…会館がせまいので、パーティー等を手作りして少人数の理事会にて対処している。
- ・室内イベントが出来ない…高齢者等のサークル活動は中止。愛ふれ等の活動も中止。(高齢者クラブ活動が休止された)
- ・緊急事態宣言下で総会や役員会、各種会議が開けない。
- ・行事がほとんどできない。
- ・密を避けるため総会や役員会が開けなかった。例年実施している主要行事をほとんど自粛した。
- ・役員のほとんどがパソコンやメールに不慣れのため、会議も自粛せざるを得なかった。
- ・全て中止又は縮小した。
- ・予定の班長会議は3回中、2回は実施場所(住区会館)閉館のため中止。「会議中止の連絡」や「自治会費の集金について」は全班長宅(16戸)に「お知らせ」文書を回付し対応。
- ・緊急事態宣言中は役員会も中止し、一般参加の行事は全て中止して最低限必要と思われた町内清掃、会館草刈などは役員中心に最低限の人数で行った。
- ・集会行事(ジンギス汗、新年会、区の親睦会)は中止し、役員会のみ開催し、会員の顔が見えない。

- ・会議が減ったこと。
- ・対面式の役員会議を開けず協議不足。
- ・各種行事を中止したことによる、会員等の不満。
- ・例のとおりです。昨年度、今年度と役員会、総会等は中止としております。
- ・従来、「絆」を深めるための飲食を伴ったイベントや意見交換会を行っていたものが全くできなかった。それにより執行経費が余ったことで、次年度分の会費を減額した。(未執行イベント:区班長会議、花いっぱい運動慰労会、研修旅行、敬老会、女性部講習会、新年会、定時総会)
- ・コロナ禍で役員会の開催もできず、活動に支障を生じている。
- ・行事が全て中止となり、自治会内のつながりが希薄している。
- ・総会、棟幹事、班長会議は中止。書面を配布し決裁。役員会は感染防止策をとりながら開催。
- ・行事は中止。防災訓練はパンフ配布、交通安全指導は行った。
- ・行事が出来ないので会員さんとのコミュニケーションが取れない。
- ・2021年度は自治会活動は全て中止。※役員会は開催
- ・福祉センターが使用できなく、会議が開けなかった。
- ・年度初めの計画がほとんど中止となった。
- ・密を避けるため総会や役員会が開けず、役員間の意思疎通が難しい。
- ・総会や役員会が開けず、活動計画が立てられない。
- ・密を避けるために総会や役員会が開けず、自治会活動の計画がなかなか立てられない。
- ・密を避けるために総会や役員会が開けず、自治会活動の計画がなかなか立てられない。どこで線引きするか苦労する。
- ・総会や役員会が開けない時があり、自治会活動が停滞している。
- ・密を避けるため総会や役員会が開けず、また、各予定事業も実施できない。
- ・密を避けるため人が集まる自治会活動(夏祭り、新年会等)が行えませんでした。
- ・自治会行事が例年より少ない。
- ・例年行われていた行事ができない。
- ・コロナ禍のため、総会をはじめ役員会、主な事業などが軒並み中止に追い込まれ、この2年大変苦労した。自治会活動の根源である会員同士の接触、交流が思うにまかせず“仮死状態”になった。この中で「出来る限り前を向いて、でも出来るだけ慎重に」というスタンスを取りながら、とにかく会員の健康を優先するというのを第一に対応してきた判断に間違いはなかったと思う。
- ・例の通り。現在10月時点でも役員会は2回分流れており、事業計画や立案、実行をしていく時間を確保するのに苦労しています。
- ・クリスマス会などの冬期間の室内行事は開催が出来なくなる。(例年の参加者数:約650名)
- ・総会の開催が今後の課題。
- ・イベント会議が開けず活動がなかなかできない。
- ・コロナで活動や行事が減り、安堵している方ばかりです。
- ・総会は書面展開で実施するも役員、班長会議はR3年度は一度も実施できていない。又行事も実施していないのでこれが当たり前(何もしないのが)と思う気持ちがコロナ収束後の活動に影響が心配です。更に、中止や延期は簡単ですが再開はそれなりにエネルギーが必要となります。
- ・会議等の開催ができず、自治会活動への見直しや行事代替措置が取れなかった
- ・役員会を開けるが恒例行事実行できない。

＜コミュニケーション 12件＞

- ・役員同士の働きかけがない。
- ・年間行事の大半を2年間にわたり中止でした。花壇整備、敬老事業、雪明り事業のみの活動で、今年は自治会費半期分(3,000円)のみの徴収です。活動が制限されており、存在そのものが空しく思われがちでした。毎月の役員会開催も出来ず、コミュニケーション不足が大半です。三役のみの活動でした。連合会も活動がなく、情報を知る手段が減り四苦八苦です。(金銭面でない)
- ・必要な事をアンケートで行うことがあったが、会員と直接顔を合わせることができないため、コミュニケーション不足を感じた。
- ・昨年度はコロナの影響で役員会が度々休止となった。また開催されたとしても特定の人しか出席できない事が複数回あり、役員会での意思決定のあり方にゆがみが生じ、自治会活動が停滞した。
- ・飲食ができないためコミュニケーションや情報共有が不足。
- ・2年連続で総会を書面表決の形で開催したため、会員の質問や意見を直接聴くことができず、一方通行になりがちな文書による意見と回答のやり取りのみとなった。また、日常的にあいさつと会話を交わす機会のほか、行事を通じた会員間の交流の機会も制約されている。さらに幼児や小中学生などを対象としたイベントも開催できず、世代間の交流と地域の活気を感じる場を確保することが困難になった。
- ・顔を見て話せない。
- ・高齢者や子供の活動が休止状態の為、交流の場が持てない。
- ・計画した事業が実行できず、相互の健康を確認したり、交流親睦が深めにくい。

- ・総会をはじめ、役員会を開催することが難しく、また、みんなで一緒になって行事に取り組むことが出来なく班長を含めた絆をつくることが大変でした。
- ・各宣言や措置等の対象期間内は総会や役員会を開けない。予算の執行が計画と大きく変わり変更の検討が必要となった。対面行事が開けないので、交流が減って弊害がでている。活動面では、①新規移住者の人が解らない(役員改選の担い手問題にも波及)②自治会役員は活動状況を直接見てもらう機会がなくなった(活動理解促進×)
- ・自治会の行事が中止になることで、人間関係の希薄化が懸念される

<場所がない 12件>

- ・地区センター休館のため、役員会や自治会行事の関係者打ち合わせができず苦勞した。
- ・これらは地区センターの使用により実施しているため、センターが休館になると、自治会活動が大きく制限される。
- ・まん延防止時は、窓の開閉、体温測定、消毒しながら役員会を実施。緊急事態時は、会場が無いため、中止。
- ・会館が使用できず、また面と面を合わせる会が中止でいかんともしがたかった。
- ・例の通りです。出来れば大麻地区で1か所でも役員会が開ける会館が必要では。
- ・当然ながら、行事催し事は、皆無でしたので、サークルへの迷惑、会員間のコミュニケーション不足発生、会場の提供ができず、残念な結果になってしまった。
- ・集会所が利用停止になっている為、自治会活動の計画を立てる為、小委員会形式で事務局長宅に於いて計画を立て活動の運用をしている。
- ・会場の確保。
- ・役員会を開くにあたり、会館が使用できなくなり中止、又は延期にして、なんとか開催はできました。
- ・会場がなく、集会が開けず、話し合いが持てない。
- ・自治会館がないため、役員会議(少人数)でも遠方の会議室を借りることになり苦勞している。
- ・(女性部より)市の色々な行事がことごとく中止されました。当初予定されている行事、イベント、理事会の中止を知らせる郵便物を出す宛名書き、電話連絡など活動の場、公民館、活動センターも閉鎖されて集会する場所は、自治会から離れている喫茶店、レストランなど使用していました。交通費、飲食代も自分払いで、大変な出費でした。

<活動の制限 7件>

- ・会議の時間短縮を図り行っているが、コロナ前のような仕事がなかなかできない。
- ・計画した事業がなかなか実施できない。
- ・役員の集まりも限定される。三役の集まりもままならず、当自治会は役員が全員高齢のため、参加話し合いが出来ずにいる。
- ・飲食を伴う活動への不安と自粛。
- ・活動を制限している。
- ・恒例の敬老会での会食を感染リスク回避のため取りやめた。
- ・自治会の集会的活動が実施できない。ノウハウの継承が出来るか不安。

<余剰金 5件>

- ・自治会夏祭り(70万円余りの予算)は2年中止し、全戸にごみ袋を配布している。
- ・役員会は通常通り開催している。総会も参加人数限定で開催した。経費の支出が減っているため、その処理について検討が必要だった。(余剰金)
- ・行事の中止によって年間の予算に対して、収支が黒字になった場合、会員から一時的にも会員の会費の減額の検討が意見として出ている。会費を一時的に減額すると戻る時期に会員に違和感が出るのかな。
- ・予算計上した事業が開催出来ないため、自治会費の取扱いに苦勞した。(一部返却すべきかどうか)
- ・ほぼ活動できない中での会費徴収にクレームが予想されます。当自治会ではR4年度より還元する方向で検討中です。

<感染防止対策 5件>

- ・大会議室を借りて役員会をする。
- ・密を避けるため、会議の時間の短縮や人と人との距離をとっての会議のあり方。
- ・役員会は開催。その他総会、新年会、研修、旅行等密を避け安全を優先。(ラジオ体操は期間を短縮して行った、コロナ禍運動不足の解消の為)
- ・密の範囲を保つことと、全員マスク着用は当然であり、消毒液の使用、部屋の換気等は効果的に実行性のあるものとしたり、やれる事はたくさんあります。イベント「秋のいもほり！収穫祭」も無事実行しましたし、各種役員会も予定通り行っています。
- ・感染の不安が強く、会議の参加を自粛する。

<会員の理解 4件>

- ・総会については役員改選等実施の必要性があったため一部の批判はあったものの最善の対策を講じて強行実施した。
- ・連日のコロナ情報報道に市民のコロナの感染対策、意識が高まる中で「コロナ禍でも自治会活動をなんとか…」「通年イベントを消化しなければ…」という空気感を感じています。企業は社員とその家族の生活がかかっており必死です。もちろん必要以上の過剰反応は不要ですが、一般の市民感覚とのギャップに不思議な思いをしています。
- ・各会員に理解をいただくため、自治会だよりを多めに発行しました。
- ・6～8月にかけて自治会内でクレーム的な問題が起きましたが、役員が集まる機会、会場がなく苦勞しました。会員にアンケート方式で対応しましたが、10月になってやっと結論が出ましたが、対応が遅かった感で残りました。

<自治会館 3件>

- ・当自治会の会館がないため、間借りして会議等をしておりますが、空気の換気が不十分で、コロナ感染予防の対策がとれないために、青空会議又は中止をしております。
- ・緊急事態宣言中公共施設が閉鎖され、当自治会館に活動場所を求めるケースがあった。
- ・当自治会館は、市からの補助、サークル使用料、会員の利用を戴き、運営管理をしており、コロナ禍においては、大変苦勞しております。(固定経費、リース物件有り)

<見通しが立たない 3件>

- ・宣言や宣言解除が急すぎて、計画が立てられない。
- ・密を避けるために総会や役員会が開けず、自治会活動の計画がなかなか立てられない。すこしづつ様子が分かってきたにもかかわらず、最初に決定した措置を何度も繰り返す施策は受け入れられたとは思えない。もっときめの細かい対応が必要と思われる。
- ・先が見えない。

<特に苦勞はない 3件>

- ・特に苦勞はしていない。三役会だけは開催している。総会及び各事業などは昨年から中止にしている。会員も理解を示している。
- ・私、就任早々の新型コロナ感染症拡大防止でありますので、こののちの活動を如何にと考える事が重要課題でしたが役員一同の協力で今日がありますので、特に苦勞はありません。定例役員会を毎月行っておりますが、緊急事態宣言が発動された場合は中止しておりますが、開催された役員会では年間スケジュールが決まっておりますのでコロナ禍を注視しながら3ヶ月後または半年後の実施か中止かを決めております。場合によっては急遽実施計画にあたる時もあり、中止になるときもあります。(三役並びに区長会で協議します。)現況では活動状況が80%前後の活動中止でありますので新たな計画を立てる事は難しいです。次の質問にも相当しますが、ネットワークの時代ですので、PC、スマホでのメール、LINEなどの活用が不可欠となり、これらを利用しながら行ってます。
- ・総会は中止し、書面表決とし、役員会は月に一度開催していたが、必要の都度開き、その他は書面連絡している。特に支障はきたしていない。

<情報収集 2件>

- ・今年度は一切活動なく、役員だけでの会議も年3回程で高齢者への情報がつかみにくい。
- ・死亡通知が的確になされないことがしばしばある。

<地域福祉 2件>

- ・計画していた事業が緊急事態宣言などで密防止のため多くが中止せざるを得ず、閉じこもり生活の独居老人などへの声かけ(姿が見えない時の訪問)などに苦勞。
- ・高齢者等の安否確認に苦勞する。

<対面できない 1件>

- ・役員会等会合が開けないので役員さんの顔が分からない。

<その他 4件>

- ・役員等には書面で報告、連絡を取っています。
- ・会合は開けないが「みんなちゃんと繋がっている」ということを知ってもらうため、決算書類を全戸配布し、3,000円の商品券をあわせて配布した。今年度は5,000円の食事券にする予定。
- ・自治会費を半額にした。
- ・自治会そのものの意義が問われた

【7-(2)】 94件

(1)の課題や苦労をどのように解決しましたか。

<書面・電話等で連絡 28件>

- ・全役員、班長に議事を配付して諸課題等を周知している。
- ・一斉清掃、交通安全旗の掲揚は文書の回覧と電話の連絡で行った。
- ・各自電話等で、連絡等を取っています。
- ・電話等で頻繁に連絡し合った。
- ・役員会の議決が必要な案件について、班長回覧板による文書での書面決議を行った。
- ・防災訓練を電話だけで行った。(安否確認)
- ・電話やメールで連絡する。
- ・書面での説明などを多くしている。
- ・文書により決議し、正副会長が業務行動を実施した。(例 敬老祝いの配布)
- ・必要に応じて三役会で検討し文書を回覧している。
- ・ひたすら回覧を多くし、情報を流している。
- ・総会は書面にて処理。
- ・総会や役員会を文書による開催とした。
- ・役員に文書回覧。
- ・2度の理事会及び班長会議の中止による各部行事の伝達については「自治会会報(2度)」によりタイムスケジュール等を詳細に示し徹底し、現状全ての行事において支障なく進んでいる。
- ・2月、次期役員の役決め会議で、感染状況により会議は書面で行うことにした。4～9月の班長会議は書面で行う。緊急事態宣言解除の10月は対面で班長会議の予定。
- ・接触を避けるため「自治会だより」は回覧せず、広報に綴じ込み全戸配布。緊急性、重要性の低い回覧物はできるだけ纏める。回覧でのイベント参加募集に希望者は主催者の連絡先を必ずメモし、事前に確認することを自治会だよりで注意喚起。
- ・書面による役員会議の開催、協議実施。
- ・行事中止までの経過や理由を記載した文書の回覧等。
- ・必要な役員と、電話、文書の送付等で解決しました。
- ・文書、ショートメール、電話などで意思疎通を図っている。
- ・会合は文書開催(総会、部長会等)、少人数分散開催(班長会等)とした。
- ・会議は書面配付。事業は中止。
- ・総会は書面会議、評決とし、役員会は2～3回程度、あとは正副会長と担当役員が電話などによる持ち回り会議で決め「だより」で会員に徹底した。
- ・会合やイベントを出来ない点を補うため、それまで年2回程度だった「だより」を令和2年度から6回発行に増やした。
- ・役員内ではご高齢の方もおり、ネットワーク上での連絡ができていません。全体連絡も電話上で行っています。スマートフォン、PC、タブレットを使用できる方への連絡は即座にできるのですが。
- ・紙面で審査している。
- ・総会や役員会は書面開催で実施。役員間の事前の書類の確認や打ち合わせはメールを活用。なお、グループウェア等は個人の機材、会の予算、使う人等企业でないので無理。

<ネットワークの利用 9件>

- ・周知文書を自宅に届けたり、ネットワーク上のやり取りをし活動した。
- ・特定の役員間でのLINEでの連携。
- ・自治会館にインターネット回線を導入、パソコンなど必要な備品を購入して、役員が自宅からリモートで役員会に参加できるようにした。自治会館に集まるのは少数の役員に限られているので、緊急事態宣言中でも役員会を開催できた。また役員会の資料は事前にEメールで配信して、各役員が事前に自分の考えをまとめられる時間をつくった。また役員会で配る資料が減ったため、紙の使用量を大幅削減できた。
- ・オンライン導入し、密を回避させることで、役員会や打ち合わせを開催出来るようにした。※他自治会と共同で対応。
- ・毎年恒例の夏祭りの代替イベントとして、オンライン(Youtube配信)を活用した秋の大抽選会を実施した。※令和3年9月実施
- ・ネットワークの活用、電話戦術で対応。
- ・開館になるのを待った。役員間のLINEでやり取りした。
- ・役員に対しては、SNS、グループウェアを活用している。(相互連絡が可能となった)
- ・時期を選んで活動、参加者を限定し規模を縮小して開催。

<人数を減らす 8件>

- ・班長会議は3回に分けて(14:00～、15:00～、16:00～)、主要役員出席で開催した。
- ・少人数で集まる。

-
- ・役員会は3役会議で代行させてもらうなどした。
 - ・三役での決定。
 - ・少人数での食事会をやっている。
 - ・区長会議は密を避けるため2グループに分けて開催した。(役員負担は2倍だが)
 - ・必要に応じて役員を絞り込んで役員会を開催している。
 - ・会長が決断を下す。
-

<解決していない 8件>

-
- ・インターネットを使って会議をしようと思ったが、スマホを持っていなかったり、ズームの使い方がわからなかったりして、実現できませんでした。
 - ・解決は何も出来ていません。人の集まりが制限されたこの2年間ですので、なかなか大変です。
 - ・解決はしていない。
 - ・現時点で解決方法はありません。
 - ・現役員は1年目ばかりなので、計画の途上です。解決できる段階ではありません。
 - ・現在も解決していない。
 - ・まだ解決されていない。
 - ・解決していません。
-

<景品等の配付 6件>

-
- ・商品券を配布しコロナ見舞い&会費還元とした。
 - ・誕生日プレゼントを配布している。
 - ・行事は今なら何ができるか考えて実行した。(盆踊りは中止したが、盆踊りの曲や太鼓が響く中、子どもたちに花火をプレゼント。集まったのラジオ体操は中止したが、家でラジオ体操した方にお菓子プレゼント。文化祭は展示部門のみ開催予定。)
 - ・各家庭に昨年、今年度と有料ゴミ袋を配布しています。
 - ・サークル活動は施設を使用するものは中止。(緊急事態宣言中)ラジオ体操は自宅で行った子供に参加賞を与えた。
 - ・敬老会対象者へは記念品の贈呈のみとした。
-

<会議の充実 4件>

-
- ・役員会にその都度図り、意見を求めて実行した。
 - ・役員会で十分議論したうえで対応する。
 - ・1度の会議を充実して行ったこと。
 - ・役員間の意思疎通を図り年間計画を進めている。
-

<屋外活動 4件>

-
- ・屋外活動(花壇作り、清掃活動、交通見守り等)のみ感染対策をして実施した。
 - ・子供達のイベントは、ラジオ体操(夏休み)のみ実施した。
 - ・コロナ禍であることを役員、会員に理解してもらえるよう努め、会議の軽減、大規模イベント(夏祭り)の中止をしてきた。このような状況の中でも、環境整備(ゴミ拾い)、花壇整備、夏休みのラジオ体操など屋外の活動については、感染防止に心がけ実施している。
 - ・コロナ禍である為、室内での行事は地区センター等閉鎖されて取り組むことが出来なかったが、外での行事を取り組みました。(花壇活動、ラジオ体操、パークゴルフ、子供アート他)
-

<会議・行事の中止 3件>

-
- ・コロナが終了するまで室内のイベントを中止している。この問題はとてもむずかしい。
 - ・特になく、凡ゆることを中止せざるを得ない。
 - ・中止としました。
-

<備品購入 2件>

-
- ・自治会館内に手作りのクリアボードを設置した。
 - ・コロナ対策の補助金を活用し、自治会独自の支出も加え、感染防止対策をした。(飛沫感染防止アクリル板50セット、大型空気清浄機2台、空気汚染センサー1台)これらの効果で、5月以降は会議が出来るようになった。
-

<会議数の削減 2件>

-
- ・感染者数の推移を見計らいながら必要最小限の役員会開催とし、計画事業の進捗を計った。
 - ・三役だけで集まり、話し合ったり、電話で話したり、役員だけ集まった時は行事などは早めに決めて密を避けて役員会の回数をへらしました。
-

<密を避ける 2件>

- ・自前の自治会館では密となるので住区会館を使用。
- ・上記、定期総会については会場を最大限に広く使い、マイク使用により議長は壇上より議事進行し、参加者全員マスク上にフェイスシールドを着用し万全を喫した。

<なにもしていない 2件>

- ・特に解決策を講じていない。
- ・具体的な対応はなし

<情報収集 1件>

- ・各役員から情報を徴集。

<情報提供 1件>

- ・多くの会員参加を募る行事は避けざるを得ない中で、情報共有と課題協議のため月1回役員会を開催しているほか、防災に関する意識を高める目的で出前講座の開催に取り組んだ。また、会員と接する機会が少ないため、江別市自治会連絡協議会ホームページを活用し、自治会の活動状況に関する情報の提供に努めている。

<声かけ 1件>

- ・隣近所の健常者による声かけと、情報収集などに知恵を絞る。

<行事の縮小 1件>

- ・各行事については縮小しながら行っている。

<時間短縮 1件>

- ・役員会のみ、事前に資料を作成し、短時間で行うようにした。

<施設の休館 1件>

- ・会館は道や市の施設に準じて臨時閉館した。

<飲食禁止 1件>

- ・今年度中は、飲食を伴う活動はしないことを決議し、それ以外の活動については、三密を避け、マスク着用で活動することを条件に会館を開放している。感染防止策を徹底し、自己責任で活動する団体には使用を認めてきた。

<理解を求める 1件>

- ・関係者皆さんに、理解をしてもらう以外、方法はなかった。

<市の対応に合わせる 1件>

- ・北海道、江別市の対応に合わせての対応策をとりました。

<その他 7件>

- ・このようなコロナ禍にあって、自治会の行事等が制限されることはやむを得ない。
- ・コロナ禍が収まった時点で何らかの集まりを持ちたいと考える。
- ・役員会等で
- ・高齢者クラブは廃部した。
- ・社協のプログラムの一部で今年度に限って、例外的に規定を緩和されたので、これを利用して密を避けて行事を行うことができた。
- ・4-(4)の通り。
- ・毎週月曜日に外部の子育て支援サークルに自治会館を提供して、自治会の該当する方々に参加を呼びかけている。

【7-(3)】 57件

上記以外にコロナ禍における活動で工夫した点、新たに取り組まれた点がありますか。

<物品の配付 11件>

- ・自治会費は集金している為、行事中止の分(わずか)自治会協力粗品としてマスク、消毒液を配布。
- ・子供たちのイベントとして、夏まつり…中止としたが、子どもたちにお菓子、花火等を配布、ハロウィン…お菓子を配布する。
- ・会員全戸に不織布マスク、手指消毒液体洗剤を配布した。防犯同様防疫にも努力したい。

- ・密になる事業は実施出来ないため、例年実施している子供花火大会は、希望者に対して花火セットを配布することとし、家庭で楽しんでもらった。
- ・事業の中止により、繰越金が増えたため、全会員家庭に市指定ゴミ袋を配布し還元した。
- ・当自治会最大イベントである恒例の「夏祭りジンギスカンの集い」は昨年も中止していること、また自治会費の半額以上を拠出する行事であることから今年は工夫に工夫を重ね「ご家庭で【自粛(自祝)】を！」として全戸にオードブル(2,000円相当)を公園で理事会メンバー総出により「密と食中毒」を避けるため2日間に分散して行った。
- ・感染拡大初めの頃マスク入手困難な時期にマスクを入手して全戸に10枚ずつ配布。
- ・行事を中止したので、ゴミ袋を全戸に配布して還元した。
- ・子供夏まつりが中止になったので、代替として花火セットを小学6年生まで配布した。
- ・恒例の焼肉パーティー、パークゴルフなど会員が楽しみにしていた事業の代わりに、コロナ発生の初期には入手が難しかったマスクを自治会として一括購入して、全戸に配ったり、防災の時期には市の防災あんしんマップのほか、防災ハンドブック、緊急救急手当ハンドブックを一括購入、緊急時連絡先カードなども作って一つの袋に入れた「防災グッズ」を全戸に配布し、啓発に役立てた。
- ・自治会費より、お見舞い品等を配布しました。

<密を避ける 7件>

- ・常時マスクの着用、人と人との間を離すこと。
- ・3密にならない状況を作り、いたし方ない場合は、ソーシャルディスタンスをとり活動した。
- ・特にありませんが、拡大防止では基本行動を重視しながら、当自治会は一区から十区までありますので例えば二つ区順に時間割をし往来を避け、一方通行にしたりなどそのイベント状況を考慮して行ってます。今まで半日で終了するのが一日掛かりますが役員も交代しながら工夫しております。その状況に応じ知恵を絞ろうと思います。
- ・3密を避け、換気、消毒など、基本的な予防策を取るのみ。
- ・会議中は窓を開放するなど、換気に努めた。会館入口に手指消毒用アルコールを配備した。会議参加者にはマスク着用を求めた。
- ・3密の回避、消毒等
- ・飲食を伴う比較的大規模の行事を見直し、飲食を伴わない中小規模の鑑賞や個人宅向けの行事に見直して実施。問題は、対面が減る事と間口が狭まること。

<屋外活動 4件>

- ・外でできる活動については行いました。
- ・屋外で3密を避けられる活動は、極力実施した。屋内のものでも3密を避け、飲食は持ち帰り弁当にし、会話や声を出さないようにし、短時間で切り上げるようにして、少しでも外出する機会を図っている。
- ・室内で行事を行えないため、郊外(中央緑地帯)での散策を行った。
- ・屋外での活動は今後開始する。

<会議・行事の中止 4件>

- ・連合町内会は延期としている。
- ・会館内を使用するイベント、活動は全て中止とした。
- ・感染防止のために会員参加の行事を中止。
- ・会議の数は極力減らし、役員間でメーリングリストを使って問題提起、解決に役立てている。

<地域福祉 4件>

- ・単身高齢者へのワクチン接種予約フォロー。
- ・ひとり住まいの高齢者に対する声かけ、訪問など民生委員を中心に実施。
- ・見守り会(M-net会)を立上げ、高齢者の見守り活動を行った。インターホン、パンフレット、文書配布、訪問は自粛。
- ・福祉会議等開き、安否確認等した。又、小、中学生にプレゼント等を考えている。(コロナ等でストレスが溜まっているので)

<書面・電話等で連絡 3件>

- ・役員会や班長会議の中止では、協議や報告事項を文書により周知を図った。
- ・総会を書類配布で行った。
- ・2019年～2020年 コロナウイルスが終息していない為、感染防止の取組みとし、集会所も利用停止の為定期総会議案書に於ける提案事項の書面による同意書を配布し、代議員に書面により求める方式と決定。幹事会も開かれずお知らせに付いては、幹事さんには、書面を発行し承認を頂いている。

<情報提供 3件>

- ・新型コロナ感染防止の会員への呼びかけ。ゴミ問題の苦情等は「自治会だより」を発行し、マナーを訴えた。
- ・コロナ禍で行事のほとんどが中止となる中で、自治会からの情報発信や会員のコミュニケーションをとる目的で、令和2年6月より毎月「自治会だより」を発行しています。またそれを自治会ホームページに載せていつでも見られるようにしています。
- ・早目に情報を提供し、理解して下さる様行っています。

<会費減額 2件>

- ・会費を安くした。
- ・実施できなかった行事に関する未執行予算の対応については、次年度の自治会費減額の措置とすることを決めた。

<物品購入 2件>

- ・市の支援金で会館の感染対策を行った。
- ・解除後の対応として、以下の取組みを準備しました。サークル(特に子供の塾の感染防止策):テーブル、机間のアクリル板仕切り設置、サークル(大人、体操、カラオケ、マージャン他):密を避ける、当たり前(基本的な防止策)の事を徹底して行う、呼び掛け。

<ネットワークの利用 2件>

- ・夏まつりに代るイベントとして他自治会と連携して、「秋の大抽選会」を開催。両自治会の会員が自動的に全世帯参加となるイベントで、会員に代わって役員が抽選する様子をYoutubeでライブ配信した。また抽選で当選した人の自宅に役員が直接、景品を届けに行き、会員と交流した。
- ・役員間でのメール、グループLINEを活用した連携。

<特になし 2件>

- ・コロナ禍ではこれといった取り組みはしてません。
- ・特になし。江別市からの情報や指示が不足している。市長の発言がない。

<危機対策 1件>

- ・防災訓練を電話だけで行った。(安否確認)

<外出自粛 1件>

- ・外出をなるべく避ける。

<施設の休館 1件>

- ・本年6月1日～7月12日の間、自治会館を閉館した。

<規約改正 1件>

- ・緊急条項が規約になかったため、業務の執行が円滑にできないことから、次総会で規約の改定を行う予定。

<活動の軽減 1件>

- ・自治会花壇の花を多年草とし、活動を軽減した。

<環境美化 1件>

- ・ゴミステーションの整備へ予算を増額した。

<意思決定 1件>

- ・出来ない役員会に代わり会長、副会長による打ち合わせを頻繁に行い、そこで決めた事はタイムリーに会員に知らせています。(回覧は最低限として)

<その他 6件>

- ・クラスターが発生すると困るので、話が進まなかった。
- ・子供たちを集めてゲーム大会でもやろうと思ったが、担当役員が会員に文句を言われたりすると困ると言って実現できなかった。
- ・花壇整備や清掃などには会員が積極的に参加してくれるのでやりやすいが、実際にコロナで亡くなった会員もいて大変やりづらい。
- ・コロナがこわいので、今でもきびしい。

・一般会員様の交流の場が確保できず、代替事業が今年度の主な活動となっています。自治会活動も今後はニューノーマルな形を目指していきたいです。

・(女性部より)野幌公民館で少し落ち着きましたので、消毒、換気はもとより、参加者の記名の実施、飲食はせず、お土産として持ち帰っていただきました。ここへきて、やっと11月13日に女性協まつりは実施されることと思います。

【9-(1)】 49件

自治会と行政とのあり方や関係について、ご意見ご要望があればお聞かせください。

<協力体制の強化 8件>

・市民や地域住人の安全、安心、活力ある生活をサポートする意味では、行政と自治会のあり方については、本来より深くかかわる必要があると思います。

・自治会と行政は平常時からしっかり連携する必要がある、特に自治会は行政の下部組織ではなく、最先端の組織という認識で対応願いたい。

・自治会の会議(定例など)に行政の方も参加してほしいという声があります。以前には参加していたこともあったということです。

・今後も協力体制を築いていきたい。

・様々な形での上意下達を受け入れられるだけの足腰は弱くなると思われます。時間が掛かりますが、共に歩む姿勢に変わることが求められていると思います。

・市職員、公務員の自治会加入と自治会活動への積極的な参加。

・自治会運営に於いての駆け込み寺のような行政の立ち位置を確立して頂きたい。

・単なる感想ですが、自治会が市への不満の受け皿になる事があり、その逆もあります。責任もできる事も違うのですが、何かと連携や相談ができる関係が必要かと思います。

<情報提供 6件>

・自治会の良い取り組み、教訓、市が会長に周知すべき事例などは、可能な限り知らせてほしい。

・自治会本来の目的などについて会員に理解してもらう。基本的に身近な問題(例えばゴミステーションの設置、ゴミの出し方など)に関して広報していただきたい。理解していない住民が多い。

・行政は一層適切な情報の提供、意見の聴き取り、結果のフィードバックに努めてほしい。

・自治会と市の接点の役割を担う、市の退職者を紹介してほしい。

・自治会で要望したことがどの様に行政に反映されたか報告がほしい。例えば、通学路の安全点検で指摘させていただいたことが、その後、どのように改善されるのか、報告がほしい。

・正副会長ぐらいには、会員世帯の正確な情報(家族構成、年齢など)を開示してほしい。管理徹底は当然の条件として。

<雪 6件>

・自治会排雪において大麻地区は令和4年度から20%の大幅値上げが見込まれております。当自治会において排雪費の負担は現状でも会費収入の55%を占めており、値上げによって70%近くに達し、自治会財政の多大な圧迫要因となります。つきましては、議会答弁において市は自治会排雪について積極的に相談対応とのことですので、ご相談の折にはよろしくお願いいたします。

・市の除雪に関する雪の捨て場の件。

・自治会で取り組んでいる共同排雪への関与のあり方について、排雪費の値上げ等に関しては厳しい態度で望んでほしい。

・4月から会長になったばかりでよくわかりません。冬に向けて自治会排雪が問題になってきそうです。どうしても不平等感があるからです。自治会排雪がなくなることを望みます。(すなわち住民負担なしで排雪をしていただきたい。)

・昨年突如、除排雪三者懇談会について「参考 江別市土木事務所より収受」江別環境整備事業協同組合より除排雪費値上げの要望がありましたが、それも令和3年からお願いできないものかとは非常識極まりない発言でショック大です。今年度も江別市建設部土木事務所所長名で文書による段階的、長期的見直しの打診がありました。要望、見直しについては自治会総意のもと役員会、総会での手続きが要です。一度値上げすることになれば段階的何度も行われることは必定、市と自治会の負担割合、自治会補助金増等の見直し案を考慮に環境組合と自治会が納得できる案であればと思いますので、再度立案計画していただきたい。それでなくともここ10月からはいろいろと物価の値上げがあり、自治会員(市民)は敏感になっています。当自治会としては安易に賛同とはいきません。今後は役員会で協議の上、会員の皆様の賛否をといますが、それ相当の時間がかかると思います。

・行政が進める協働のまちづくりの視点からの意見:昨年初、江別環境整備事業協同組合から自治会排雪負担金の引き上げに関する提起があったが、自治会排雪事業における市の関わり・主体性が弱いと感じた。生活道路の排雪事業に対する市の役割と自治会の役割について改めて議論する必要があると考える。

<意見交換 3件>

- ・市長との対話集会は、非常に良い企画であり継続を望む。
- ・各課との意見交換の場が複数回あると助かります。
- ・連絡協議会の位置づけが曖昧。理事、監事以外の会長との意見交換が無い。

<手続き簡素化 2件>

- ・「春」に自治会側が行政にお願い事をする「申請」が多数あります。この申請をもっと合理的にできないか検討をお願いしたい。申請の負担が軽くなれば間違いなく、自治会役員(主に会長)の負担軽減につながります。
- ・現役世代にとっては、手続き等の簡素化は重要です。高齢化により、現役世代への負担が増える傾向もあり、検討をお願いしたい。

<危機対策 2件>

- ・防災への具体的な取り組み方について、共通理解と研修、訓練等の充実化。
- ・自治体が積極的に防災や避難活動を企画推進して欲しい。自治会協力を惜しみません。

<地域要望 2件>

- ・毎年自治会として市長へ「要望書」を提出し、丁寧に対応いただき、多くの要望が実現しています。引き続き、同様の対応を要望します。
- ・地区連を通じて要望している。

<自治会回覧 2件>

- ・事業、行事をする場合、地域をしばって参加等を取りまとめすべきであり、全ての回覧はいかがなものか。
- ・広報に自治会のエリア情報コーナーがあれば…。住区のイベントは回覧板で伝達しています。回覧板は隣に回すと時間とともに内容を忘れてしまいます。私を含め高齢になるほど顕著です。決して回覧は高齢者に寄り添った伝達手段ではないと考えます。広報「えべつ」は、とても充実していて、各種イベント案内の必要事項が掲載されています。バーコードでホームページに誘導もしてくれます。参加しようとする元気な高齢者には連絡の電話番号があれば行動し、仲間どうしで示し合わせて参加します。主催者側は住区エリア限定情報と考えますが、オープンにすることで、他の自治会の参考となり活性化に繋がります。回覧は印刷の手間と経費、そして回覧の手間を考えると、手元に残る「広報」を活用することがベストと考えています。

<自治会館 2件>

- ・自治会館の維持について真剣に親身に考えてほしい。
- ・全体的に現状、大変良い関係と思い現状に満足しています。但し、自前の自治会館を保有、管理している一部の自治会に対する厚い補助を検討してください。保有自治会が会員会費から管理費を捻出しているのは公平の観点からも問題と思います。

<集合住宅への対応 2件>

- ・よく自治会は、行政のこま使いと揶揄されるが、自治の基本は住民意思の集約であると考えます。自治会は、行政より身近に住民と接しているが、時代によりその要望内容が変化します。その変化に、確実に対応する自治会組織の維持は、現在多くはボランティアとして活動しているが限界も近い、組織の維持には財源が必要であるが地域の住民減少や、不在居住者がアパート住民が自治会の財源を搾取する存在となっており、その対策が必要。
- ・自治会の財政状況にはかなりの格差がある上、集合住宅等の多いところに関しては、加入率向上策は、市や不動産管理会社との連携が必要である。対応を求めたい。また、自治会所管部局以外では、自治会を下請けのように見なしての業務依頼が多く感じられる。特にゴミステーションの設置は、非加入世帯を含めた利用者の問題であるが自治会が、その役割を強いられていると感じる。

<市の支援 1件>

- ・単位自治会、自治連に対してどのような支援ができるのか、行政として積極的に提案してほしい。

<現場目線 1件>

- ・どうも行政からの要望ばかりで、もっと現場のことを見てほしい。

<負担の解消 1件>

・葬儀を町内会に頼っていた時代が終り、自主組織である自治会を「不用」と思う人が増えるのは避けられない時代になりました。自治会崩壊を避けるためには、加入者の負担感、不公平感を減らすことが急務です。行政として防犯灯や仲通りの排雪を「不要」と考えるなら仕方ありませんが、この金銭負担が不公平感を助長し、退会に拍車をかける未来は真近だと思います。新たな仕組みが必要です。

<空き家 1件>

・8の質問と関連するのだが、当自治会も年々高齢化が進み、最近では長期入院、施設入居、転居する会員が増えている。自治会としても家族、親族などを通じて事後の対応に力を入れているのだが、プライバシー、法の壁に阻まれて限界がある。その結果、長年不在、空家になるケースも多く、美化、防犯、防災面が放置できず、行政による対策の強化を望みたい。

<その他 10件>

・まだ半年しか会長を務めていないので、よくわかりません。
・江別市土木事務所の協力で地域の道路改修が進行しました。今後もよろしくお願いします。
・行政も自治会活動が停滞することで、協働のまちづくりが進まなくなります。会員の皆さんにこの事を理解して頂く事がむずかしい。
・近所にイベント用施設ができたのは良かった。
・日頃より大変お世話になっております。
・各種補助金の申請や上部自治会協議会への会費等納入についてわかりやすく対応してくれて助かります。こまかな事でも問合せするかも知れませんがよろしくお願いします。
・江北地区4自治会で組織する江北地区協議会では、毎年要請活動とともに年度当初にはタウンミーティング等行い交流を深めてきましたが、昨今のコロナ対応でこの2年は実施できませんでした。この状況が改善された後には、再びタウンミーティングを行い、意見交換させていただきたいと思います。
・マンション住民の取決めで自治会役員は1年任期となっています。このため年度により自治会活動に温度差が生ずることも有り(特に年度始めの事業立上り時)ますので、よろしくお願いします。
・5年後、10年後を見据えた、ICTを活用した次世代の自治会運営を考える時期にきたと思います。
・主に石狩振興局との話し合いとなりますが、他の自治会同様高齢化と担い手不足です。当管理公社も財源不足で過去の様に室内の改装、草刈りなどやってもらえません。役員決めにくじ引きで決めているところもある様です。

【9-(2)】 33件

江別市自治会連絡協議会に対して望むことはありますか？

<特になし 6件>

・現状の取組み(コロナ前)程度で良いと考える。
・主に農村地区自治会として、特にありません。
・特にありませんが、日ごろの活動に感謝申し上げます。
・いままで通りで良いと思います。
・別にありません。いまのままでいいと思います。
・昨年の書面会議のフォーマットは大変助かりました。今後も自治会運営の統括的な役割を期待します。

<運営方法 5件>

・江別地区53、野幌地区47、大麻地区63、合計163の各自治会を束ねる江別市自連協の役割は大きなものがあると思います。しかし、その中で具体的にどのような役割、目的をこの組織で果たしていくことができるかどうかは難しいことも多くあると思います。当組織が実質市の行政を円滑に運営するためのものだと思いますので、その運営にはより工夫が必要だと思います。
・引き続き市民にとって共通の問題に取り組んでほしい。(ex.除排雪、運動場、公園、公共施設の利用等)
・自治会及び自治連合会が一定額を超える高額の決済額、繰越金、基金等で運用する場合、不定期に公認の監査を受けるなど緊張感が必要だと思います。疑念からではなく自治会が高額な資金を持たないという基本的な考えからです。ちなみに当自治会では自治会排雪が値上げになったら、町内会費を上げるか検討中です。
・私は今年から始めて自治会長をしています。コロナの関係もあり、書面会議で総会等が行われました。特に問題もないと思いますので、今後も書面会議で行うことを望みます。
・各自治会の地域性、規模が大きく異なるため、統一した対応が困難。

<情報提供 5件>

・傘下の単位自治会における自治会活動の新しい取組みや、それぞれ抱える課題の解決事例など情報提供があれば参考になります。
・各地区連、自連協で確認決定された内容を各単会に周知してほしい。協議された内容も含めて。

- ・他の自治会のことで、様子を知りたい場合の情報を公開してほしい。例えば、役員手当の支給状況、コロナで予定していた行事が中止となったことへの対応などについて。
- ・永年自治会活動にたずさわってきた方々に深く感謝します。皆様が苦勞して築いてきた活動に対して縮小だのスリム化だの相談するのはとてもおこがましいのですが、人材不足の小さな自治会がこれからの時代も存続するための知恵をマニュアルの中でご教示いただきたいです。例えば小さな自治会の合併例、防災と見守りに特化した存続、会長選で人間関係を悪化させない秘訣、自治会の規模や地区連の有無によるメリット、デメリットなど、経験不足の会長、役員でも判断を誤らないよう、豊富な経験からの本音のアドバイスをいただきたいです。
- ・地区連を含めて、役員会での決定事項や議事録の単位自治会への連絡をお願いしたい。地区連や自治連での決定が、単位自治会の意見が反映されていない部分を感じる。

<組織の簡素化 3件>

- ・上部団体の簡素化、屋上屋を重ねる実体を簡素化してほしい。単位自治会>野幌地区>市自連協(野幌地区などは不要)
- ・単位自治会と江別市自治会連絡協議会の中に組織が多すぎると思います。地勢的な事もあるのでしょうが役員選出や祭典のために便宜上設けられてきた経緯もあるとは想像します。人口動態を考えると、今後これが重荷になる時が来るのではとさえ思います。どこが検討するかは分かりませんが。
- ・3地区連の活動から、自連協の活動への一本化で、共通意識を共有する時期になってきたと思います。

<環境整備 2件>

- ・仕事をしている現役の役員が参加しやすい組織にして頂きたい。また、リモート会議システムの導入など今後も続くコロナ禍に対応した対策を速やかに打ち出して頂きたい。
- ・ホームページを活用させていただいています。自治会メールアドレスは現在会長自腹でやっていますので、メルアド作成も自連協等でやっていただけるとありがたいです。また、役員連絡に使えるメール連絡網サービスや、メールを使えない方もいますのでSMS配信サービスなどが自連協のシステムでできると助かります。

<危機対策 2件>

- ・災害発生時の各自治会としての対応や避難方法の具体策の確立。
- ・協議会は、市の自治会の統括的な存在であるべきで、今回の様なコロナ禍に於いては、迅速な対応が必要であったが、自治会運営や自治会館運営などでの運営助言が遅く、各自治会でも混乱を招いた。これから協議会においても危機管理の対応を行う部署を設けて、今後の有事に備え、情報を速やかに発信すべきではないか。

<市への意見 2件>

- ・市の下請機関ではないので、もう少し意見を言うべき。
- ・もっともっと建設的な意見を提言し、住民サイドに立って行政との連携強化をしていただきたい。

<雪 1件>

- ・排雪に関して、現状における問題点や問題意識の集約とその解決。例えば、江別市全体(各自治会)排雪費用設定の統一化、自治会と業者間のルール決めや契約書の取り交わしなど。

<加入促進 1件>

- ・アパート等に入居される住民に対して、自治会への加入促進を考えてほしい。(札幌、千歳の管理会社では、家賃、駐車場、共益費等と同じように自治会費が見積書の中に印刷されております。)

<事業の軽減 1件>

- ・イベントや事業の軽減を図ってもいいのでは。

<会費の軽減 1件>

- ・個別自治会からの負担金が抑制されることを望みます。

<その他 4件>

- ・役員の中に暴言を吐く人がいるので困る。
- ・内海会長に大変期待しております。
- ・自連から5月に退会届を提出しましたが、未だに認めて頂いていません。年会費3万以上支払ってまでのメリットはどこにもありません。日本赤十字や被災地支援に使っても良いと思う位です。
- ・市自連協の事務局は、しっかりした市の職員が担っていますが、単位自治会を含め他の連合は慣れていない役員(任期あり)が兼務することもあり、苦勞しています。

【9-(3)】 64件

全体を通して、自由に意見をご記載ください。

<加入促進 9件>

- ・堤防造成の為、7～8戸が転居し、又、新築などでこられた方は、自治会に加入されない方も多い。アパート入居の方は、ほとんど加入されません。自治会の役員も兼任しながら行っています。
- ・若年者の自治会の役員の加入促進。
- ・各個人が自治会に入るメリット又は入らないデメリットをもと多くしてほしい。
- ・古い話で恐縮ですが、これも上記同様に平成31年1月12日(土)P18北海道新聞記事、「市と市自連協は江別不動産業協会と自治会加入促進について連携協定を結んだ。」と記されているが、全く協定の内容は知らされず、その後加入したアパート(マンション)は一社ありますが、ただ会費を振込んで来るだけで、会費等値上げについても、入居者に説明できない！とのことであり何のための協定なのか非常に疑問である。
- ・個人情報保護法の浸透により、より家族的面が失われ、また高度成長でひところより豊かになっている為、親睦(近所付き合い)が失われている。また格差も広がり貧困な人も居り、本当に助けたい人は会費の面で自治会に入会しないジレンマがある。(会員加入の促進についてはマンション関係の不動産業者は近年江別市人口増加に伴い、他地区札幌などの業者が多い為、市が支援して欲しい。
- ・市全体として新規転入者が増加傾向にあるのは非常に喜ばしいことと思われる。市としても、従来以上に自治会の意義をPRし、自治会加入を促進してほしい。
- ・市として課題は認識されていると思うが、市の職員自体の加入状況はどうなのか。
- ・アパート等の賃貸集合住宅が多いため、加入率の低下傾向が進んでいる。賃貸契約時の自治会案内のみではなく、管理会社への自治会からのアプローチ方法で苦戦している。これは、加入増や自治会排雪負担の問題のみではなく、災害時における対応にも影響するため、急務であるが、自治会は一切の情報を有していない。
- ・管理会社の件は、居住者に自治会費の徴収を行っているが、自治会未加入となっている事例があると聞く。自治会から取りに来ないとの言い訳があったとの話であるが、そもそも徴収している事実も窓口も自治会は把握できない。市が窓口となることを求む。

<情報提供 5件>

- ・住民に係る諸課題、自治会活動に役立つことなどについて、今後も年数回程度、会長対象又は専門部長等対応の交流会、研修会等を開催していただきたい。
- ・高齢化が進む中、世中デジタル化に移行していますが、年寄りにもあった情報も発信してほしい。又、子供達が安心出来る生活環境を整えてほしいです。
- ・このアンケート結果を各自治会に配布してもらえるとありがたい。
- ・コロナ感染対策における江別市からの情報をもっといただきたい。江別市の情報がテレビ、新聞等において少なく不安が増幅されたのかと思います。
- ・市の便利帳のような自治会の業務などの冊子、マニュアルがあれば活用したい。自治会によって業務内容が異なるが、基本となるベースを示して頂きたい。

<会長・役員等の業務 5件>

- ・会長は仕事をしている人では出来ないと思った。提出書類の届けがむずかしい。
- ・パソコンの出来ない人は役員ができない。
- ・年寄が世帯主で若い同居人がいるのに役員はことわられる。
- ・現在、1班7軒で毎年交替で班長をお願いしているが、高齢、体調不良等で引き受けていただけない方も多く、1部で「不公平では」との声が出ている。
- ・自治会の役員や班長にはなんとか引き受けて頂けますが、会長となるとそう簡単にはいきません。それは、単位自治会会長になる事で、他の連合や団体等の充て職となり、これまでとは違い時間やエネルギーを何倍も要するようになります。現職の若い方にはとても頼めません。

<なり手不足 5件>

- ・役員は毎年総入れ替えする。
- ・どこの自治会も役員を引受けてくれる人がいなく、自治会に対して苦情も言わないが協力もしないと言う人が多く、まだ充分活動出来るのに班長すらパスされる事が有ったりで苦労しています。仕方がないのじゃないかな。
- ・自治会役員は、当番制で班長の中から年度により4ブロックの区域割で会長、副会長②、総務部長等⑤の重要な役職を担っているのが現状で、いずれも任期が1年であり、特にコロナ禍で活動が思うようにいかず、自治会活動に支障をきたしている。
- ・町内全体が高齢者がふえていくばかりです。役員の方も高齢者がたくさんいます。次の役員をやってくれる方がいなければ、自治会の活動もできなくなり、解散となることもあるでしょう。老人が老人を見ることとなるでしょう。

・ボランティアで自治会役員をお願いすることに無理がある。(そもそもできる方が少ない。問題が起きたり、行事をするときなど役員以外の人の協力が非常に少ない)

<負担軽減 4件>

・このようなアンケートも結構負担なので、グーグルフォームのような形でスマホやPCから回答を選んだり記入したりできるようにしていただきたいです。

・現在、自治会と行政機関との窓口は、市民生活課、危機対策室、社会福祉協議会、消防等に分かれており、それぞれ個々に対応している。情報の一括管理を含め、一本化できないか。自治会の事務煩雑の軽減にも繋がると思うが。

・当自治会は数十年前から全ての役員を班輪番制で決めており、近年は班内でも輪番とする班が増え、「会長職は誰に当たってもおかしくない“お当番”」になりつつあります。近年は高齢世帯、単身赴任の留守家族、子育て共働き世帯が会員の大半を占め、自治会長や役員を引き受けられない世帯が増えており、班内での選出に苦慮したり、班によっては退会者が出たりしています。現在「会費は払うが一切参加しない世帯」も退会者にカウントすると加入率は94%。今後退会者が1割超えると、不公平感から一気に退会者が増え、自治会の存続が危ぶまれると心配しています。高齢化、災害増の時代に自治会を失いたくありませんが、「自治会」と聞くと安心感よりも負担感、不公平感が先に立ち、弱者から辞めていくようでは意味がありません。除排雪費と防犯灯費の負担方法の見直し(未加入者との公平性)と、自治会存続のためのミニマム化方策の提案をお願いします。

・いろいろな組織があり、加入金を毎年納めています。けっこうな額になりますので、市からの補助でやれるようにならないのだろうか。

<自治会の必要性 3件>

・何時の間にか、住民と市や自治会との間が年々希薄になり、世代交代とともに進んでいると思います。当面と長期に分けて考えなければならないと思います。長期の方が重要で、市民に自治の必要性を認識してもらう取り組みです。小、中、高生時代から植え付けなければ、根付かないと思います。30年後、50年後の世代交代を視野に、市は市民に「地域を担う市民」に何を期待するのかを明確にし、目標をもって対策を立て、実行に移すことが重要だと思います。

・住民は“ボランティア活動”には期待している。自治会活動の中心になる。

・人口減少、高齢化、企業の定年延長、定年退職後の再就職等自治会役員の担い手不足がいつそう深刻になり、将来的には自治会活動がゴミステーション、街路灯の管理、生活道路の除排雪業務等、最低限の活動をする自治組織になってしまうのではとも危惧されます。(自治会排雪も個人宅による業者との契約が主流になり自治会としては不要との声が上がる心配もあります。現状でも当自治会は50%強が個人契約です。)

<ICT化 3件>

・コロナ禍が続く中、日本ではネット活用が一気に進みました。当会でもリモートでの役員会やLINEを使った役員間の情報共有を日常的に行っています。自治会の中で盲点なのは、実は負担が重いのは最前線の班長であるということ。回覧を回したり、会費を集めたり、直接会員と向き合っているのも班長です。この班長の負担軽減につながるツールとして注目しているのが電子回覧板として活用できる自治会向けアプリです。災害時には緊急モードに切り替えて安否確認等を行うことも可能です。一時的ではなく、双方向で自治会内で情報共有ができるようになります。ICT社会の実現に向けて全国各地で様々な取り組みが行われていますが、当会は江別市とともに自治会向けアプリ導入の実証実験を行うことができまいかと考えています。江別市が掲載したい回覧情報をアプリで共有できる他、緊急時には避難等している市民の情報把握ができるようになる可能性もあります、実証実験を始められるなら、是非、お力をお貸しください。

・高齢者がタブレットに触れる機会を増やしてはいかがでしょうか。行政とより多くの市民がネットで繋がることは大切な目標と思われます。70歳代の半数とそれ以下の方はスマホの普及でネットに触れる機会が多いと思われます。私もそうですがスマホの小さな画面で情報を得るのはしんどくなっています。パソコンは便利なツールですが、トラブルが多くハードルが高すぎます。タブレットがより簡単にネットに繋ぐツールだと考えています。しかし「パソコン教室」はありますが「タブレット教室」は見かけません。「教室に行くまでもない」ということでしょうか…。各公共施設に数台のタブレットを設置し「江別市のホームページ」「天気予報」「ニュース」「脳トレ」に触れる機会を増やしなが、高齢者がネットに繋がる体験コーナーがあったらいいと思います。

・長期のコロナ禍で感じたのは、江別、野幌、大麻の三分割よりも、小学校を中心とした学区によるつながりが大切と感じました。現自連協の区分の変更は難しいと思われますが、ICTを活用したネット上の学区によるネットワークが出来ると、平時も災害時にも有効に活用できると思います。

<花苗・水やり 2件>

・毎年の花壇の花植、管理が大変な負担になっている。特に今年の猛暑で毎日の水やりや花の管理、1～2名の特定の方の大変な負担になっており、署名を集め市に廃止を要望してほしいと声が出ている。
・市歩道緑地帯花運動の参加者が確保出来ず、花壇ではなく草刈り作業に切換えつつある。

<活動自粛・制限 2件>

・コロナ禍において、自治会活動も制限されて、集会や、人と会う事、話をする事など出来なくなり、イベント等もことごとく中止せざるを得ない2年間となりました。高齢者クラブも活動を休止し、自治会として両手両足を取られたようになり、会員の「絆」が希薄になってゆく事が一番心配されます。早い終息を願うものですが、役員一同知恵を出しあって、この難関を乗り切ってまいりたいと考えます。
・当自治会は市の募集により入居が決まり、現在223世帯の内、単独世帯:113世帯、未加入世帯:16世帯、空家:22世帯、になっています。又高齢世帯は101世帯です。この状況では現在活動もきびしいです。早くコロナが終息して今迄の活動がしたいです。

<自治会館 2件>

・自治会館の本体の老朽化が進み、市からの半額補助制度があるが、それでも補修費をねん出するのに苦慮しているところ。
・自治会館を有している自治会については、現況の会館運営が厳しいことは共通であると聞く。一方で地区センターや各民間施設の地域利用が進む中、会館を有している自治会の負担感は、以前より大きくなっている。一方で市民活動センターや公民館の利用度は高いことを考えれば、自治会館へのあっせんをするなどの、間接的な財政支援も必要。

<交通安全 2件>

・※1公園通りの延長道路、3番通り⇔4番通りの道路の大型車の通行量が多くなり、高齢者、子どもの渡りに危険を感じる。
・※2上江道路の歩道の片側のみが除雪。他片側住民の歩行は車道を通っているため非常に危険を感じています。

<雪 2件>

・除排雪の料金は市が負担すべき。除雪は個々家、入口に配慮したものとする。(朝、除雪した雪が入口に残っている。車、人の出入りにかなりの負担がある)雪国の例年であり、要対策を願いたい。
・自治会排雪の値上げの問題も含めて、この厳しい財政状況や加入率の急激な減少下において、自治会の運営支援なく、今後の継続性に疑問を感じるところがある。

<人口減少・高齢化 2件>

・例として道路の補修等の申請の仕方(書き方も含む)について相談に乗ってほしい。各自治会と変わらず、年々老人が増加しているのが現状です。防災等の対策に支援しなければならない人が増加している。自治会としてどう対策するか難しい問題を抱えている。
・少子化のなかで札幌に隣接していることから市の人口減少に直近では歯止めが掛かっていますが一過性のことと思います。将来の人口減少を見越してコンパクトな、しかし魅力のある街作りを期待しています。

<公職 1件>

・7/29の江別自連協の第3回正副会長会議で「協議会役員公職一覧表」をいただきました。公職が全部で58あります。うち内海会長が13、私においても4つの公職を仰せつかりました。しかし、私はこの数は余りにも多いと思っています。市の行政上の都合及び長い間の慣習で、形式的組織が出来上がっていないのでしょうか。この役職を100%全うしようとしたら大変です。私の家には毎日のように市から関連資料が送付されてくるのですが、これらに対応する余裕はありません。この際、公職の在り方を徹底的に見直してみたいのかですか。市の仕事はよりシンプルにしたほうが良いと思います。

<募金 1件>

・自治会を通しての募金には抵抗感(負担)がある方が多い。

<市への申請 1件>

・コロナ感染拡大により、今春から申請書類の提出方法が拡大され、地区センターへの届けで済むようになったことは大いに助かりました。

<自治会回覧 1件>

・自治会を通じて住民に情報発信する体制を廃止してほしい。書類の回覧、募金も同様。特に市への転入届の際に、様々な書類の説明と掲示板ヶ所を案内して、以降は配布を行わない。

<危機対策 1件>

・行政と共通の認識(住民が望んでいることを把握)を持って対応したい。自治会と行政は常に連携して今後も行っていきたい。高齢化が進む中で災害対策など現実的な問題を把握して行政と取組んでいきたい。市の危機管理室体制の充実をお願いします。

<協力体制構築 1件>

・このような書面での意思確認も必要ですが、実際に現場の状況を確認して頂き、行政と自治会とが同じベクトルで進む構図が望ましいと感じます。

<空き家 1件>

・空家の更地が増え、雑草が伸び近隣の会員から苦情が出ている。一部行政に連絡し地主へ指導頂き解決した例もありました。

<市の支援 1件>

・美原地区のように農村地区においては、農業生産の場と生活の場は一体で不可分です。国内外の産地間競争下において生産基盤となる農地や水路、道路等の整備は喫緊の課題であり、そのため受益者負担はもとより行政の財力が欠かせません。江別市全体の経済において農業の果たす役割は小さいかもしれませんが、自然環境や農村景観、生態系の保全など、この地域を守る価値は大きいと思います。行政には道路や排水路などのインフラ整備を推進し住環境を整えるとともに、国営、道営等の土地改良事業に当たっては、財政面から積極的な推進をお願いしたいと思います。

<情報収集 1件>

・自治会会員名簿作成に当たり、個人情報の開示の解釈から現在、世帯主のフルネームからお願いしていることから始めている。

<その他 9件>

・市の市民生活課をはじめ各部門とも「●●自治会です」としての問い合わせ等々に、本当に親身に対応いただけており、感謝しています。

・今年度は、コロナで集まりができなかった。来年はできるといいな。

・令和2年9月10日(木)P16の北海道新聞記事 市長は「自治会から相談があればアドバイスしたい」と回答し、市自連協と連携してアンケートを行うとしているが、これが今般のアンケートなのでしょうか。

・まずは意見をいうまえに勉強しております。

・取り急ぎアンケートを纏めてみましたが、歯抜けがあるかもしれませんがお許しください。コロナ禍の現状、なかなか活動しにくくマー頑張ります。

・町内会で設置しているごみステーションに町内会に加入していない方のごみを入れることを拒否することが出来ますか？拒否した場合どのような問題が起こるか教えてください。

・長い。

・まだ私はコロナ関係もあり、関係機関行事には参加しておりませんが、引き継ぎ書を見ますと、会議終了後懇親会がありこの費用は自治会費での支払いが多いようです。市の助成金等が入っていますので、懇親会を行わないように、指導してほしい。

・最近緊急通報対象者が増えてきました。現在、4名会員となりました。従来、民生委員の方が自治会役員と連絡し合いながら行うものと思ってましたが、今は違うのでしょうか。一例、包括支援センターから1件、自治会で必要と判断して申請した1件と今年度2件ありました。自治会として収益事業を考えていきたいのでその時は相談に行きます。

※誤字・脱字についてはご了承願います。

また、個人や団体などが特定されるご意見については掲載しておりません。

調査票

自治会アンケート調査

○自治会名、回答者をご記入ください。

記入日：令和 年 月 日

自治会名		
回 答 者	役職・氏名	
	年齢	() 歳
	住所	
	電話番号	

※以降の質問では、選択肢の該当する項目に☑をご記入ください

1. 自治会の役員構成、組織構成についての質問です。

(1) 役員の年齢について教えてください。

ア 役員の平均年齢は何歳代ですか。

☐ 40代未満 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上

イ 役員の中で一番年齢が低い方は何歳代ですか。

☐ 40代未満 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上

ウ 役員の中で一番年齢が高い方は何歳代ですか。

☐ 40代未満 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80代以上

(2) 役員の男女比について教えてください。

ア 役員全体の中で女性は何人いらっしゃいますか。

() 人中、女性は () 人

イ 男性もしくは女性が必ず就く役職はありますか。

☐ ある ☐ ない

ウ ある場合、どのような役職か教えてください。

(3) 自治会内で高齢者（65歳以上）の割合はどのくらいですか。

☐ 10%以下 ☐ 11～20% ☐ 21～30% ☐ 31～40%

☐ 41～50% ☐ 50%以上 ☐ 把握していない

2. 自治会長が担う業務についての質問です。

(1) 会長が出席する会議やイベント等(自治会、地区連、学校など)について教えてください。

ア 月平均でどれくらいありますか。(令和2年4月以前)

☐1回 ☐2回 ☐3回 ☐4～5回 ☐6回以上 ☐わからない

イ 月平均でどれくらいありますか。(現在)

☐1回 ☐2回 ☐3回 ☐4～5回 ☐6回以上

(2) 自治会の会長職以外に、他団体等の役職数(市審議会委員や地区連理事など)はどの位ありますか?

☐1つ ☐2つ ☐3つ ☐4つ ☐5つ以上

(3) 自治会長の業務を行う上で、どのような点に負担を感じますか。(複数回答可)

☐会長職以外の役員に就任すること

☐後継者がおらず、引続き会長をしなければならないこと

☐自治会の事業やイベントに参加者がいないこと

☐特に負担を感じない

☐その他 []

(4) 会長の負担を軽減するために、どのようなことが必要だと感じますか。(複数回答可)

☐自治会長以外の役職を減らすこと

☐他自治会長との意見交換を図ること

☐市が負担軽減に向けて支援すること

☐その他 []

3. 自治会役員等の担い手についての質問です。

(1) 自治会役員等の担い手は不足していますか。

☐している(問(2)へ進む) ☐していない(問(4)へ進む)

(2) ((1)で「している」と答えた方にお聞きします。)担い手が不足しているのは、どの人材ですか。(複数回答可)

☐会長後継者 ☐会長以外の役員 ☐イベントなどでリーダーとして活動する人材

☐その他 []

(3) ((1)で「している」と答えた方にお聞きします。)担い手が不足しているために、自治会運営や活動に支障がありますか。

☐ある ☐多少はある ☐ない

☐その他 []

(4) 担い手不足を解決できる支援は、どのようなものがあると考えられますか。

[illegible]

(5) 担い手不足を解消するために取り組んでいることはありますか。

[illegible]

4. 自治会運営（活動）についての質問です。

(1) 自治会運営において、どのようなことが課題だと感じますか。(複数回答可)

- ☐担い手不足 ☐会員や役員の高齢化 ☐役員の負担増 ☐イベント参加者が少ない
☐イベント参加者が固定化 ☐経常的に事業会計が赤字である ☐未加入者の増加
☐住民が自治会に対して関心がない ☐ごみの問題 ☐空き家や空地の問題 ☐課題はない
☐その他

(2) 課題解決に向けて取り組んでいることや検討されていることは何ですか。(複数回答可)

- ☐組織のスリム化 ☐役員の負担軽減 ☐イベントや事業見直し ☐情報発信
☐ボランティアやサポート制の導入 ☐担い手やリーダーの育成 ☐特になし
☐その他

(3) 今後の活動において、推進したい又は強化したい活動は何ですか。(複数回答可)

- ☐防災活動 ☐環境美化活動 ☐児童の見守り活動 ☐高齢者の見守り活動
☐憩いの場や交流の場づくり ☐誰もが参加しやすい仕組みや組織づくり
☐その他

(4) 自治会運営において工夫していること、課題解決に向けた具体的な活動、事例があれば教えてください。

5. 自治会への加入促進についての質問です。

(1) 自治会加入促進に向けて、どのような活動を行っていますか。(複数回答可)

☐ 班長が転入者等に対し加入案内 ☐ アパート管理会社への依頼 ☐ 活動情報の発信

☐ 自治会行事やイベントなどの参加案内 ☐ 特に何もしていない

☐ その他 [

]

(2) 会費等の集金で工夫していることがあれば教えてください。

☐ 一度に半年分や一年分など、まとめて会費を集めている

☐ 銀行振込など、訪問以外の方法で集金している

☐ 外部の集金代行サービスを利用している

☐ 特にない

☐ その他 [

]

(3) 自治会加入促進に向けて、どのようなことに困っていますか。(複数回答可)

☐ 拒絶されたり、苦情を言われたりする ☐ 役員等が加入促進に行きたがらない

☐ 加入促進する役員がいらない ☐ 会員が会費を払わない ☐ 現職のため多忙 ☐ 特にない

☐ その他 [

]

(4) 自治会に未加入の方々が加入されない理由は何ですか。(複数回答可)

☐ 自治会活動に興味がない ☐ 自治会活動が億劫だ ☐ 加入の案内をしていない

☐ 会費が払えない ☐ 近隣住民とトラブルがあった

☐ その他 [

]

(5) 自治会加入促進に向けて、必要な支援は何ですか(複数回答可)

☐不動産業界との連携強化 ☐参考となる取組みの情報提供

☐加入を働きかける会員への支援 ☐特に必要はない

☐その他 [

6. 自治会回覧板についての質問です。

(1) 行政や各団体等(例:江別市、女性協、学校)による回覧依頼は、月に平均して何回程度ありますか。

☐1回 ☐2回 ☐3回 ☐4~5回 ☐6回以上()回

(2) 回覧板を回すことについて、どのような苦情がありますか。(複数回答可)

☐回覧回数が多い ☐回覧するのが面倒だ ☐回覧するのが負担だ ☐必要性を感じない

☐特にない ☐その他 [

(3) 回覧板を減らすためにどのような取り組みをしていますか。

また、代用となる手法はありますか。

ア 減らすための取り組みや代用となる手法について教えてください。

例) 公民館や住区会館にチラシ、パンフレット等を置き、回覧の代わりとする。

イ 取り組みをされていない場合、その理由を教えてください。

例) 高齢者に情報を届けるため、回覧板は減らさずに現行通りとしている。

(4) 市からの回覧依頼は、広報えべつに情報を掲載している場合もあり、廃止すべきとの意見もあります。回覧板がなくなった場合、自治会(会員)又は自治会活動に支障はありますか。

☐ある ☐ない ☐わからない ☐その他 [

7. コロナ禍における自治会活動についての質問です。

(1) コロナ禍における自治会活動で、どのようなことを課題に感じたり苦勞したりしましたか。

例) 密を避けるために総会や役員会が開けず、自治会活動の計画がなかなか立てられない。

(2) (1) の課題や苦勞をどのように解決しましたか。

例) グループウェアを活用し、ネットワーク上でやり取りし計画を立てられるようにした。

(3) 上記以外にコロナ禍における活動で工夫した点、新たに取り組まれた点がありますか。

8. 江別市への要望についての質問です。

(1) 市に望むことはありますか。(複数回答可)

☐自治会に対する補助金の増額 ☐担い手不足に対する解決・支援

☐会長など役職等の負担の軽減 ☐特にない

☐その他

{ }

9. その他についての質問です。

(1) 自治会と行政とのあり方や関係について、ご意見ご要望があればお聞かせください。

[illegible]

(2) 江別市自治会連絡協議会に対して望むことはありますか？

[illegible]

(3) 全体を通して、自由に意見をご記載ください。

[illegible]

以上でアンケートは終わりです。ご協力いただきありがとうございました。